

町民アンケート調査
集計結果報告書

平成30年1月

野木町

目 次

1. アンケート調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の方法	1
(3) 調査の内容	2
(4) 回収結果	2
(5) 集計方法等	2
2. 調査回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 家族構成	4
(4) 結婚	4
(5) 夫婦の仕事状況	5
(6) 職業	5
(7) 通勤・通学先	6
(8) 居住地区	6
(9) 居住年数	7
(10) 定住意向	7
3. 調査結果概要	10
4. 調査結果	13
(1) 現在進めている野木町の重点政策課題について	13
(2) 野木町の生活・活動環境について	31
(3) 高齢者福祉について	49
(4) 教育について	51
(5) 子育て支援について	53
(6) 防災について	57
(7) 公共交通について	64
(8) 観光について	68
(9) 健康づくりについて	70
(10) 読書のまちづくりについて	72
(11) 市町村合併について	73
(12) 自由意見	78
参考資料 アンケート票等一式	85

1. アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

本アンケート調査は、今後の野木町のまちづくりに、町民の意向や要望を活かしていくため、その基礎資料のひとつとして活用することを目的として実施した。

(2) 調査の方法

調査方法は、以下のとおりとした。

表1 アンケート調査の方法

調査時期	平成 29 年 11 月																		
調査方法	郵送による発送と回収 (小学五年生及び中学二年生については、学校を通じて配布・回収)																		
調査地区	野木町全域																		
調査対象	<p>調査対象者数は合計 3,000 人で、世代別内訳は以下のとおりである。</p> <table><tr><td>①0 歳全員（保護者あて）</td><td>: 166 人</td></tr><tr><td>②1 歳～5 歳（保護者あて）</td><td>: 95 人</td></tr><tr><td>③小学五年生（10～11 歳）</td><td>: 217 人</td></tr><tr><td>④中学二年生（13～14 歳）</td><td>: 194 人</td></tr><tr><td>⑤高校二年生（16～17 歳）</td><td>: 215 人</td></tr><tr><td>⑥20 歳～29 歳</td><td>: 237 人</td></tr><tr><td>⑦30 歳～59 歳</td><td>: 935 人</td></tr><tr><td>⑧60 歳～79 歳</td><td>: 763 人</td></tr><tr><td>⑨80 歳以上</td><td>: 178 人</td></tr></table> <p>※対象者数は野木町の人口構成比率による（一部を除く） ※20 歳以上については、5 歳毎に区分して対象者を抽出 ※0 歳～5 歳については、保護者等による回答で可 ※小中学生の回答については、分からない場合、保護者等に相談の上記入してもらうように説明 ※全世代において、病気・障がい等で記入できない場合は家族による回答でも可</p>	①0 歳全員（保護者あて）	: 166 人	②1 歳～5 歳（保護者あて）	: 95 人	③小学五年生（10～11 歳）	: 217 人	④中学二年生（13～14 歳）	: 194 人	⑤高校二年生（16～17 歳）	: 215 人	⑥20 歳～29 歳	: 237 人	⑦30 歳～59 歳	: 935 人	⑧60 歳～79 歳	: 763 人	⑨80 歳以上	: 178 人
①0 歳全員（保護者あて）	: 166 人																		
②1 歳～5 歳（保護者あて）	: 95 人																		
③小学五年生（10～11 歳）	: 217 人																		
④中学二年生（13～14 歳）	: 194 人																		
⑤高校二年生（16～17 歳）	: 215 人																		
⑥20 歳～29 歳	: 237 人																		
⑦30 歳～59 歳	: 935 人																		
⑧60 歳～79 歳	: 763 人																		
⑨80 歳以上	: 178 人																		

(3) 調査の内容

調査内容は、以下のとおりとした。なお、アンケート調査票等は参考資料に添付した。

表2 アンケート調査の内容

設問	問番号
I 現在進めている野木町の重点政策課題について	問1 ～問3
II 野木町の生活・活動環境について	問4
III 高齢者福祉について	問5 ～問7
IV 教育について	問8 ～問9
V 子育て支援について	問10 ～問14
VI 防災について	問15 ～問21
VII 公共交通について	問22 ～問25
VIII 観光について	問26 ～問27
IX 健康づくりについて	問28 ～問29
X 読書のまちづくりについて	問30
XI 市町村合併について	問31 ～問34
XII 回答されたあなた自身について	問35
自由意見	—

(4) 回収結果

回収結果は、以下のとおりである。

表3 アンケート調査の回収結果

配布数	計 3,000 件
回収数	計 1,381 件
回収率	46.03%

(5) 集計方法等

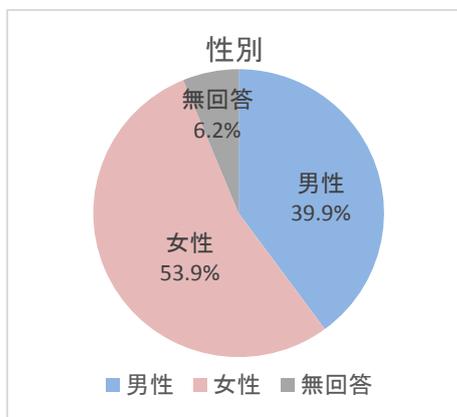
集計方法は、以下のとおりとした。

- ・回答比率は小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までの表示とした。
(そのため、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。)
- ・回答母数は N と表示した。

2. 調査回答者の属性

(1) 性別

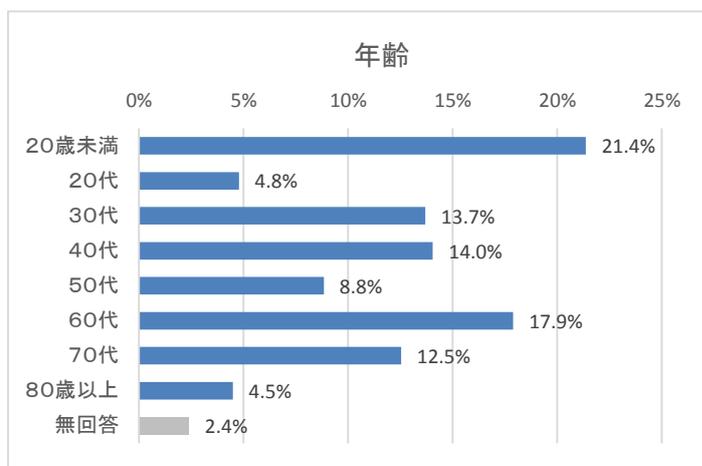
- 性別は、「男性」が39.9%、「女性」が53.9%となっている。



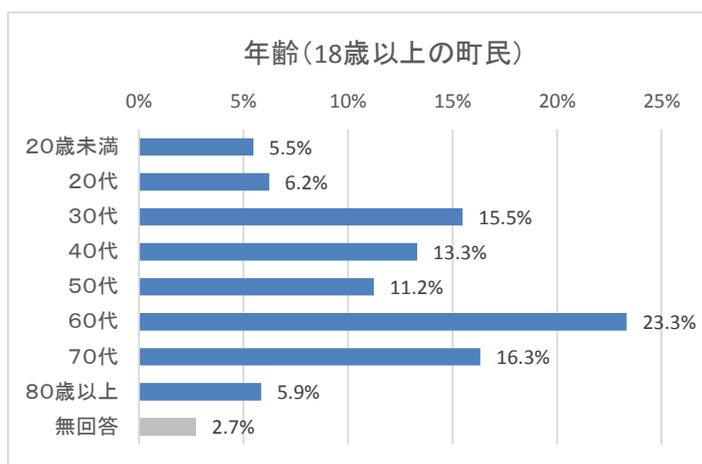
	回答比率	回答数
男性	39.9%	551
女性	53.9%	744
無回答	6.2%	86
合計	100.0%	1381

(2) 年齢

- 年齢は、小学五年生、中学二年生も対象としているため、「20歳未満」が21.4%と最も多く、次いで「60代」が17.9%となっている。なお、小学五年生、中学二年生を除いた18歳以上の町民については、「60代」が23.3%と最も多く、次いで「70代」が16.3%となっている。



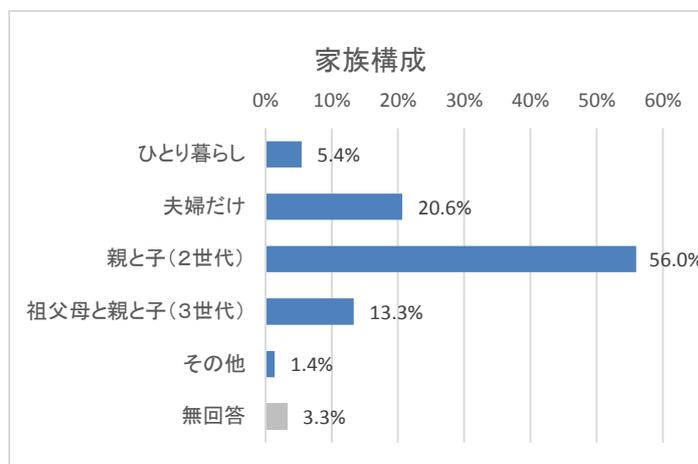
	回答比率	回答数
20歳未満	21.4%	295
20代	4.8%	66
30代	13.7%	189
40代	14.0%	194
50代	8.8%	122
60代	17.9%	247
70代	12.5%	173
80歳以上	4.5%	62
無回答	2.4%	33
合計	100.0%	1381



	回答比率	回答数
20歳未満	5.5%	58
20代	6.2%	66
30代	15.5%	164
40代	13.3%	141
50代	11.2%	119
60代	23.3%	247
70代	16.3%	173
80歳以上	5.9%	62
無回答	2.7%	29
合計	100.0%	1059

(3) 家族構成

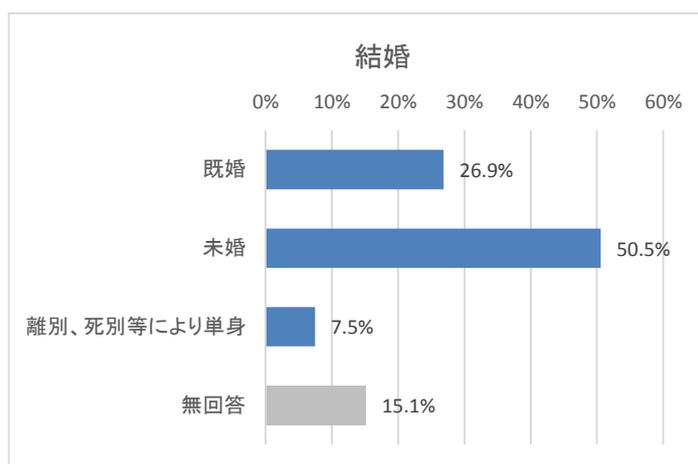
- ・家族構成は、「親と子（2世代）」が56.0%と最も多く、次いで「夫婦だけ」が20.6%となっている。



	回答比率	回答数
ひとり暮らし	5.4%	75
夫婦だけ	20.6%	285
親と子(2世代)	56.0%	773
祖父母と親と子(3世代)	13.3%	184
その他	1.4%	19
無回答	3.3%	45
合計	100.0%	1381

(4) 結婚

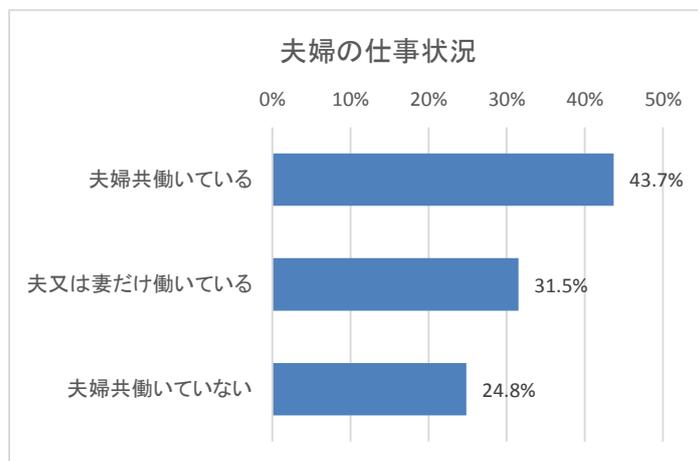
- ・「既婚」が26.9%、「未婚」が50.5%となっている。



	回答比率	回答数
既婚	26.9%	371
未婚	50.5%	698
離別、死別等により単身	7.5%	103
無回答	15.1%	209
合計	100.0%	1381

(5) 夫婦の仕事状況

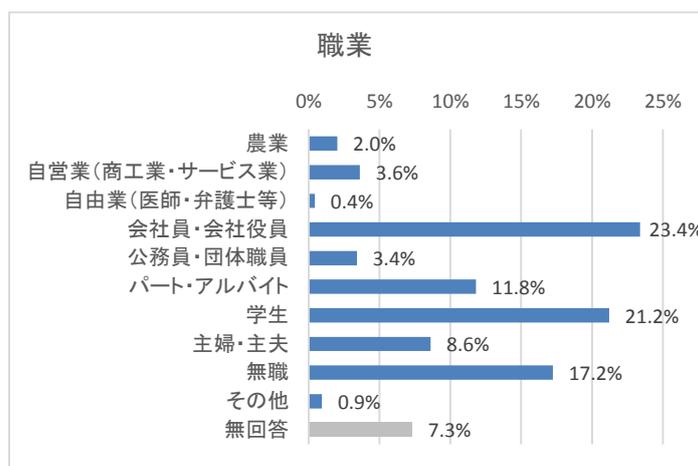
- ・夫婦の仕事状況は、「夫婦共働いている」が43.7%と最も多く、次いで「夫又は妻だけ働いている」が31.5%となっている。



	回答比率	回答数
夫婦共働いている	43.7%	294
夫又は妻だけ働いている	31.5%	212
夫婦共働いていない	24.8%	167
合計	100.0%	673

(6) 職業

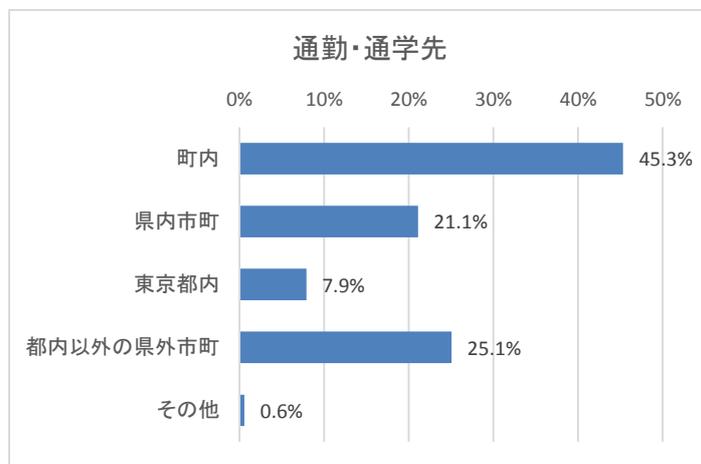
- ・職業は、「会社員・会社役員」が23.4%と最も多く、次いで「学生」が21.2%となっている。



	回答比率	回答数
農業	2.0%	28
自営業(商工業・サービス業)	3.6%	50
自由業(医師・弁護士等)	0.4%	6
会社員・会社役員	23.4%	323
公務員・団体職員	3.4%	47
パート・アルバイト	11.8%	163
学生	21.2%	293
主婦・主夫	8.6%	119
無職	17.2%	238
その他	0.9%	13
無回答	7.3%	101
合計	100.0%	1381

(7) 通勤・通学先

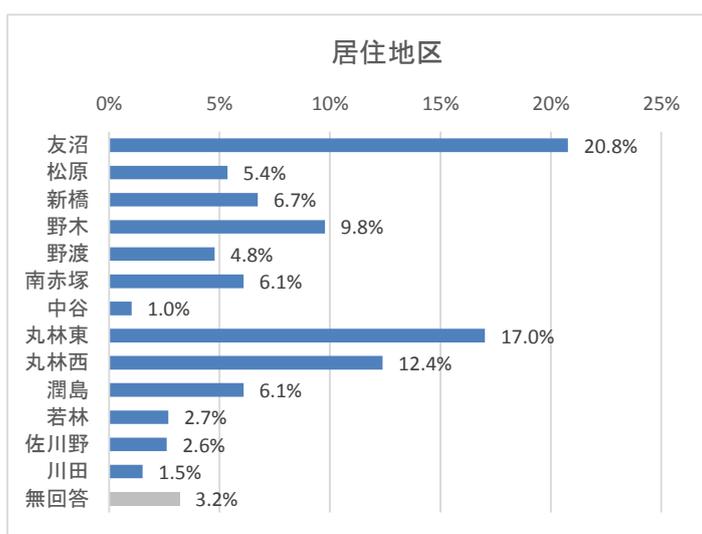
- ・通勤・通学先は、「町内」が 45.3%と最も多く、次いで「都内以外の県外市町」が 25.1%、「県内市町」が 21.1%となっている。



	回答比率	回答数
町内	45.3%	378
県内市町	21.1%	176
東京都内	7.9%	66
都内以外の県外市町	25.1%	209
その他	0.6%	5
合計	100.0%	834

(8) 居住地区

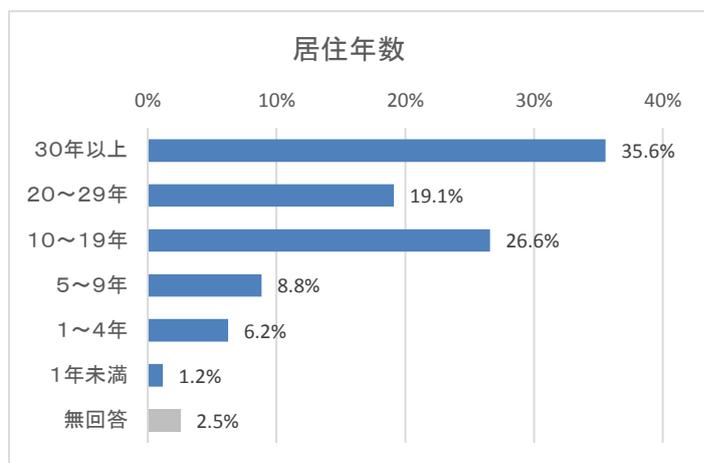
- ・居住地区は、「友沼」が 20.8%と最も多く、次いで「丸林東」が 16.9%と、概ね各地区の人口に応じた割合となっている。



	回答比率	回答数
友沼	20.8%	287
松原	5.4%	74
新橋	6.7%	93
野木	9.8%	135
野渡	4.8%	66
南赤塚	6.1%	84
中谷	1.0%	14
丸林東	17.0%	235
丸林西	12.4%	171
潤島	6.1%	84
若林	2.7%	37
佐川野	2.6%	36
川田	1.5%	21
無回答	3.2%	44
合計	100.0%	1381

(9) 居住年数

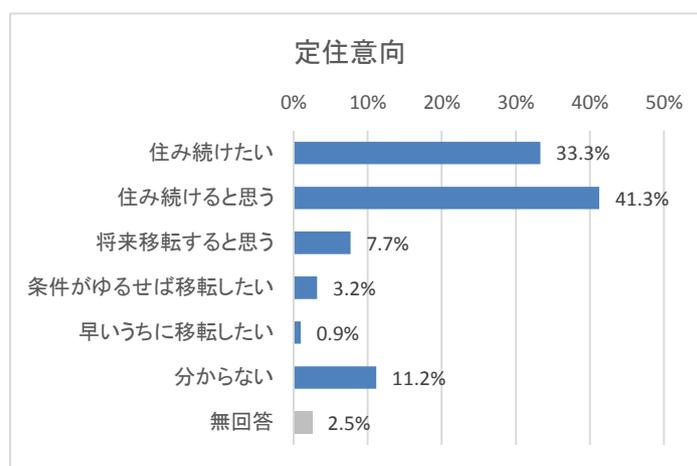
- ・居住年数は、「30年以上」が35.6%と最も多く、次いで「10～19年」が26.6%となっている。



	回答比率	回答数
30年以上	35.6%	491
20～29年	19.1%	264
10～19年	26.6%	367
5～9年	8.8%	122
1～4年	6.2%	86
1年未満	1.2%	16
無回答	2.5%	35
合計	100.0%	1381

(10) 定住意向

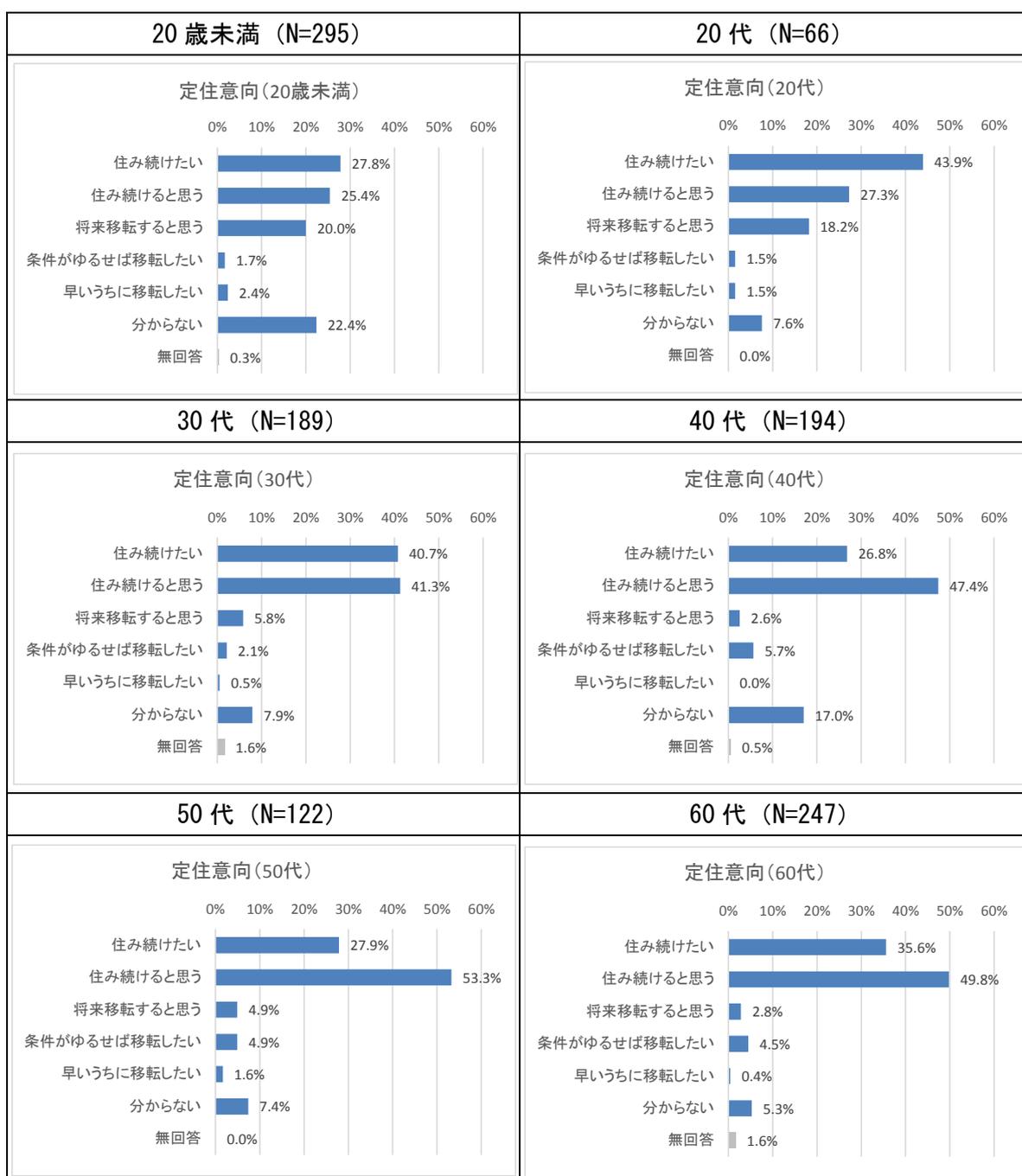
- ・定住意向は、「住み続けると思う」が41.3%と最も多く、次いで「住み続けたい」が33.3%と、計74.6%が将来的な定住意向を示している。一方で、将来的な移転意向は計11.8%に留まっている。

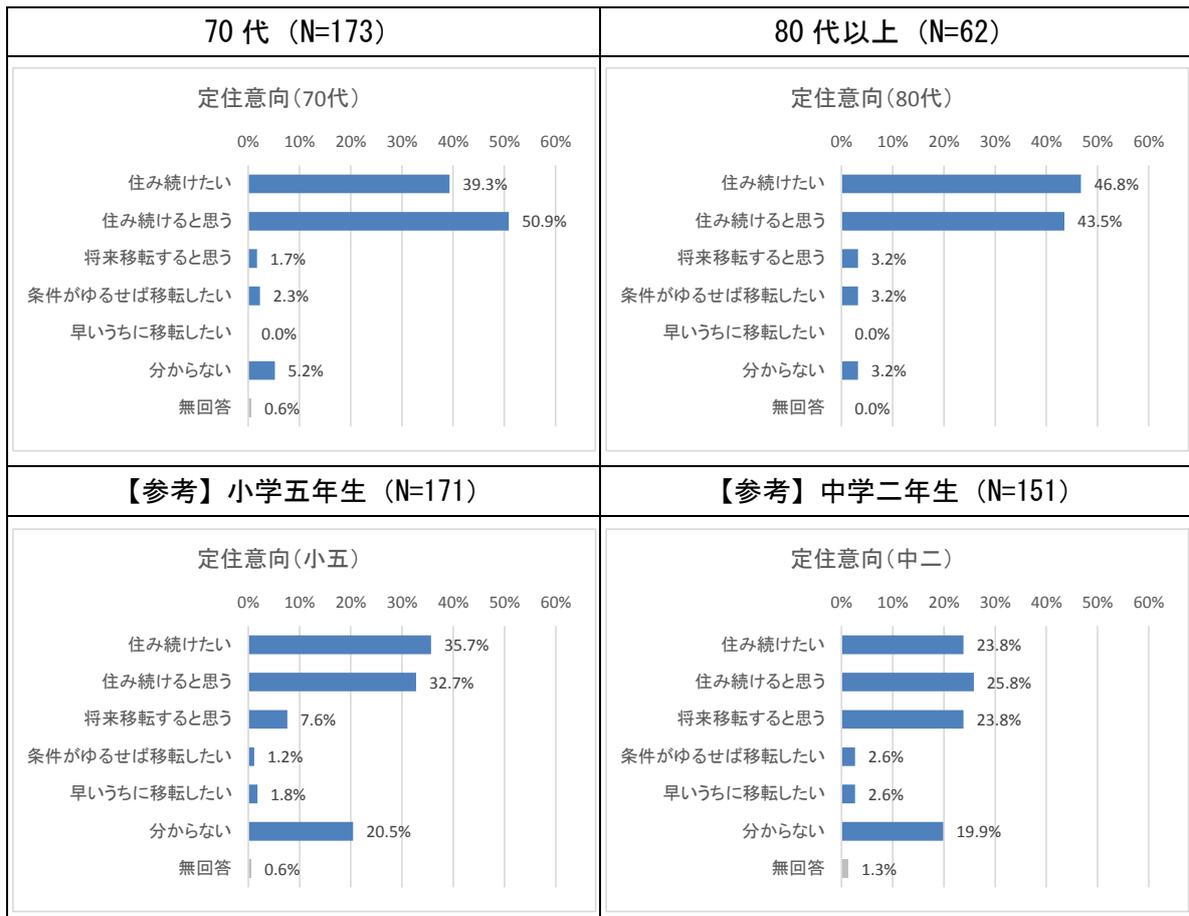


	回答比率	回答数
住み続けたい	33.3%	460
住み続けると思う	41.3%	570
将来移転すると思う	7.7%	106
条件がゆるせば移転したい	3.2%	44
早いうちに移転したい	0.9%	13
分からない	11.2%	154
無回答	2.5%	34
合計	100.0%	1381

<年齢別>

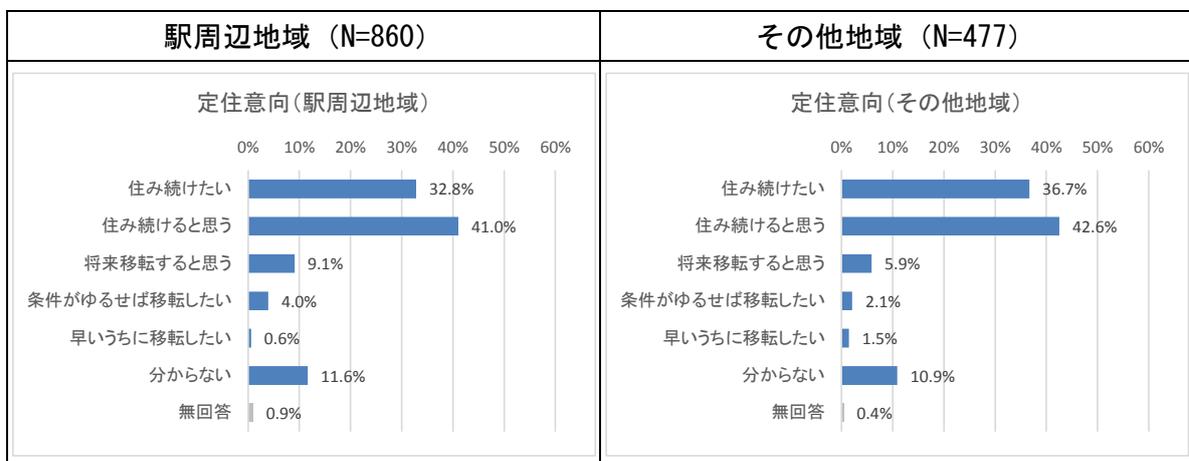
- ・「住み続けたい」、「住み続けると思う」は、20代未満が53.2%と少なく、特に中学2年生が49.6%と最も少なくなっている。一方、30代及び50代以上では80%以上、70代以上では90%以上となっている。
- ・「条件がゆるせば移転したい」、「早いうちに移転したい」は、40代、50代が5%以上と他の年代に比べて多くなっている。





<地域別>

・「住み続けたい」、「住み続けると思う」は、駅周辺地域の 73.8%より、その他地域が 79.3%と多くなっている。一方、「将来移転すると思う」は、駅周辺地域が 9.1%と、その他地域の 5.9%より多くなっている。また、「条件がゆるせば移転したい」、「早いうちに移転したい」は、駅周辺地域の 4.6%、その他地域が 3.6%となっている。



※友沼・松原・新橋・丸林東・丸林西の各地区を駅周辺地域、野木・野渡・南赤塚・中谷・潤島・若林・佐川野・川田の各地区をその他地域とした。

3. 調査結果概要

アンケート調査結果の概要は以下のとおりである。

(1) 町の重点政策課題

- ・「安全・安心のまちづくり」については、「防犯対策の強化」が重要と考える人が、子育て世代を中心に、幅広い年代で6割以上と最も多い。また、防災に関する施策が重要と考える人は高齢者に多い傾向である。
- ・「少子高齢化対策」については、「こども医療費の助成継続」が重要と考える人が、子育て世代を中心に4割程度と最も多い。次いで、高齢者を中心に「生活支援・介護予防施策の拡充」が重要と考える人が多い。
- ・「町の活性化策」については、「大型店舗等の誘致」が重要と考える人が、若年者を中心に4割程度と最も多い。次いで、高齢者を中心に「野木駅周辺の活性化」や「地域内雇用の創出・確保」、「町内への定住促進」が重要と考える人が多い。また、「イベントの拡充・充実による観光振興」が重要との回答率が、年少者で3割程度と他の世代に比べて高くなっている。
- ・地域別にみると、駅周辺地域では防災、防犯、子育て支援、その他地域では高齢者等福祉、道路整備が重要との回答が多い傾向である。

(2) 町の生活・活動環境

- ・「自然環境」の満足度（満足、まあ満足と回答した割合）が4割以上と最も高く、次いで「文化遺産の保存・活用」が高い。一方で、不満、多少不満との回答は、「商業施設」が4割以上と最も多く、次いで「町の観光」となっている。
- ・小学5年生、中学2年生を含む20歳未満が、すべての項目で他の年代より満足度が高くなっている。
- ・「防犯対策」が重要と考える人が2割以上と最も多く、次いで「子育て支援」が多い。
- ・子育て世代を中心に「子育て支援」、「防犯対策」、「商業施設」が重要と考える人が多い。

(3) 高齢者福祉

- ・「健康づくりの支援」、「趣味や生きがいづくりの支援」、「働く機会の確保」が施策として重要と考える人がそれぞれ4割以上と多い。

(4) 教育

- ・「公共施設の設備の充実」、「英語教育の充実」、「道徳教育の充実」、「ICT環境の整備」、が施策として重要と考える人がそれぞれ4割以上と多い。

(5) 子育て支援

- ・「幼稚園・保育園等施策の充実」が施策として重要と考える人が4割以上と最も多い。
- ・子育てに関する不安感や負担感については、「費用の増大」が6割以上と最も多い。
- ・子育て施設や支援事業の認知率は5割程度、利用率は2割以下であるが、今後利用したいとの回答も2割程度みられる。

(6) 防災

- ・災害備蓄品については、「水」、「食料」の備蓄率が4割程度で、「用意していない」が2割程度となっている。
- ・防災対策については、3割程度の人が「家具類の転倒防止」を行っている。
- ・町が取り組むべき防災施策は、「河川堤防等の整備」が5割程度と最も多い。
- ・「野木町防災だより」、「栃木県防災メール」とも認知率は半数以下、登録率は1割程度となっている。
- ・災害ボランティアの認知率は半数以下、登録率は2%程度となっている。

(7) 公共交通

- ・移動手段については、「自家用車」が6割以上と最も多い。
- ・町の公共交通に望む運用形態については、「町内循環バス」が5割以上と最も多い。
- ・町デマンド交通の改善点については、「運行本数の増便」が最も多い。

(8) 観光

- ・町内で好きな観光資源は、「渡良瀬遊水地」、「野木町煉瓦窯」、「ひまわり畑」がそれぞれ4割以上となっている。
- ・町内に望む観光施設等については、「道の駅」が3割以上と最も多く、次いで「アミューズメント施設」、「新たな温浴施設」となっている。

(9) 健康づくり

- ・町内に望む健康増進施設等は、「スポーツジム」が4割以上と最も多い。

(10) 読書のまちづくり

- ・図書館に関する施策については、「喫茶・交流スペースの整備」、「蔵書の充実」が4割以上と最も多い。

(11) 市町村合併

- ・「合併しない方が良い」が6割以上と、前回調査（平成26年）、前々回調査（平成24年）に比べて増加傾向となっている。
- ・「合併した方が良い」が1割以上と、前回調査（平成26年）、前々回調査（平成24年）に比べて減少傾向となっており、過去5年間で半減している。
- ・「合併した方が良い」との回答は、年齢が高くなるほど多くなる傾向であり、また、駅周辺地域の方が多い。
- ・合併先については、「小山市」が6割程度と最も多く、次いで「古河市」が3割程度となっている。
- ・合併のメリットについては、「財政規模の拡大」、「住民の利便性向上」の順に多い。
- ・合併のデメリットについては、「住民の声が届きにくくなる」、「役所が遠くなり、不便になる」の順に多い。

(12) 自由意見

- ・住宅地の街灯が少ない、防災無線が聞こえない、レストラン・カフェ等を増やしてほしい、家畜のにおいがひどい、スポーツ施設がほしい、道路の維持管理（雑草の手入れ等）をしっかりしてほしい、新4号国道や小山市とのアクセス強化をしてほしい、町内循環バスがほしい、堤防等を整備してほしいといった意見が見られた。

(13) 定住意向

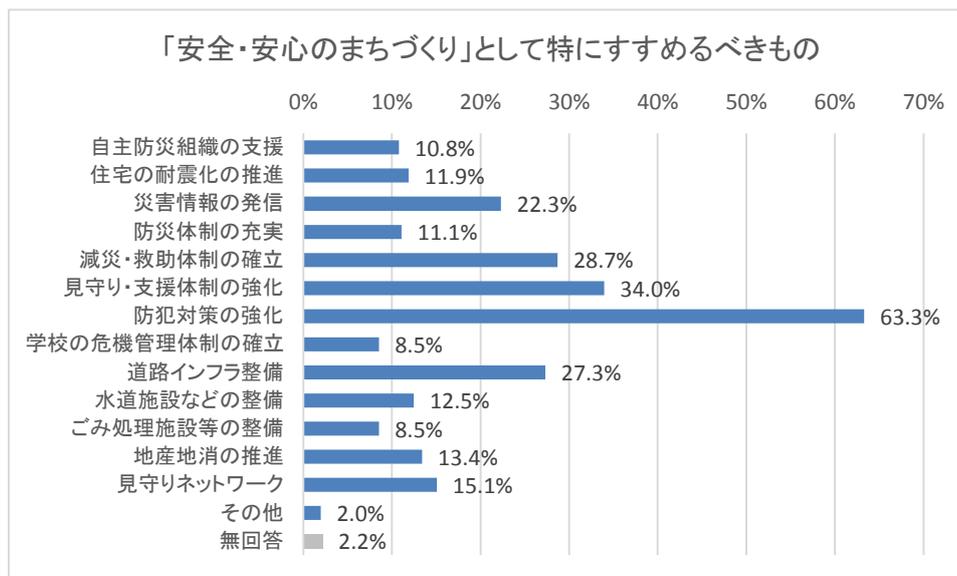
- ・「住み続けると思う」が4割以上、「住み続けたい」が3割以上と、計7割以上が将来的な定住意向を示している。特に高齢者の定住意向が高い。また、駅周辺地域の定住意向はその他地域に比べてやや低い。
- ・将来的な移転意向は1割程度に留まっている。

4. 調査結果

(1) 現在進めている野木町の重点政策課題について

【設問1】『安全・安心のまちづくり』について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。(〇は3つまで)

・「安全・安心のまちづくり」として特に進めるべきものとして、「防犯対策の強化」が63.3%と最も多く、次いで「見守り・支援体制の強化」が34.0%となっている。



	回答比率	回答数
自主防災組織の支援	10.8%	149
住宅の耐震化の推進	11.9%	164
災害情報の発信	22.3%	308
防災体制の充実	11.1%	153
減災・救助体制の確立	28.7%	396
見守り・支援体制の強化	34.0%	469
防犯対策の強化	63.3%	874
学校の危機管理体制の確立	8.5%	118
道路インフラ整備	27.3%	377
水道施設などの整備	12.5%	172
ごみ処理施設等の整備	8.5%	118
地産地消の推進	13.4%	185
見守りネットワーク	15.1%	208
その他	2.0%	27
無回答	2.2%	30

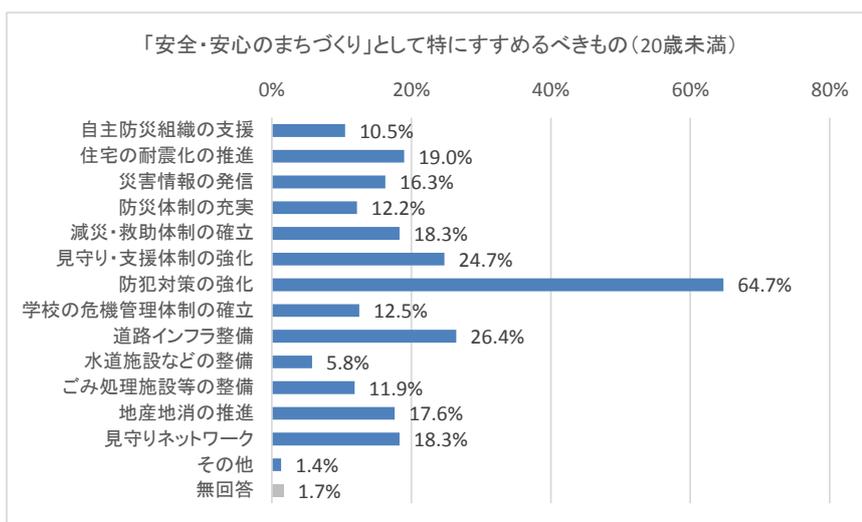
■その他の内容（主なもの）

電線の地中化（2件）

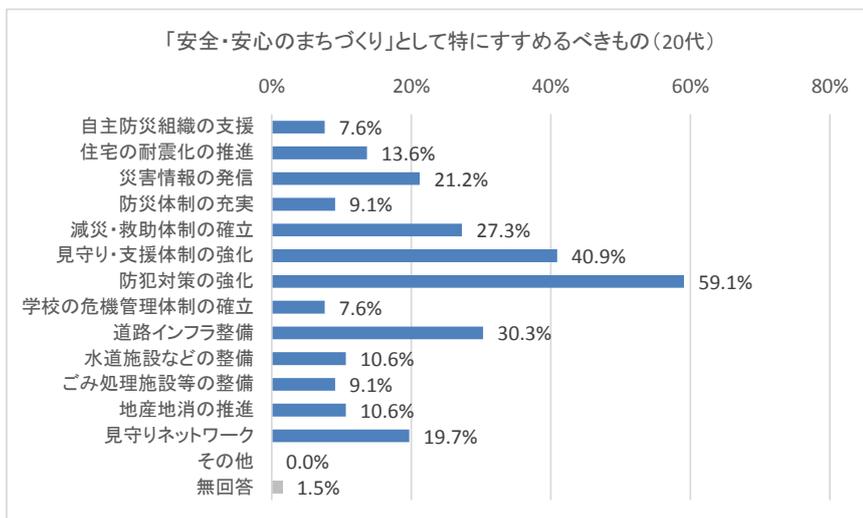
<年齢別>

- ・特に子育て世代と考えられる 30 代から 50 代において「防犯対策の強化」が 65%以上と多く、「道路インフラ整備」も 30%以上と他の世代に比べて多くなっている。
- ・「災害情報の発信」や「減災・救助体制の確立」は 50 代以上が多くなっている。
- ・年少者の傾向を見ると、小学 5 年生は「地産地消費の推進」、中学 2 年生は「住宅の耐震化の推進」が多い一方、80 代以上の高齢者は「見守り・支援体制の強化」が多くなっている。

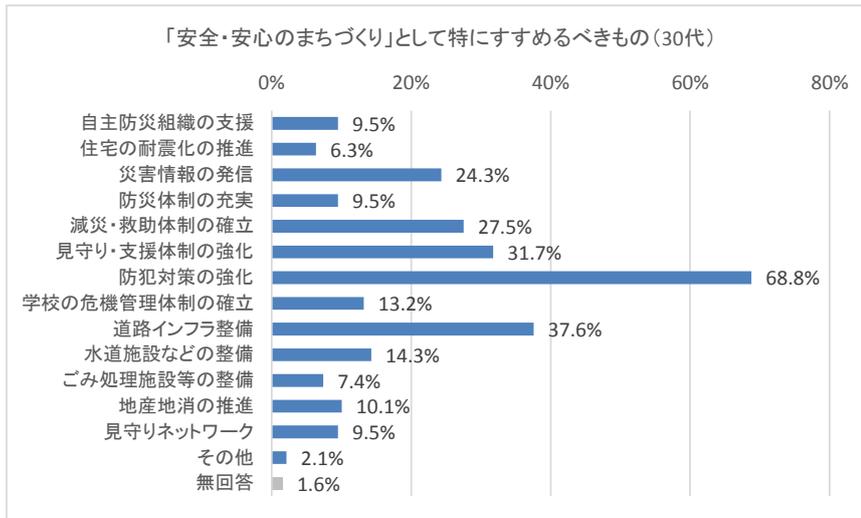
●20 歳未満 (N=295)



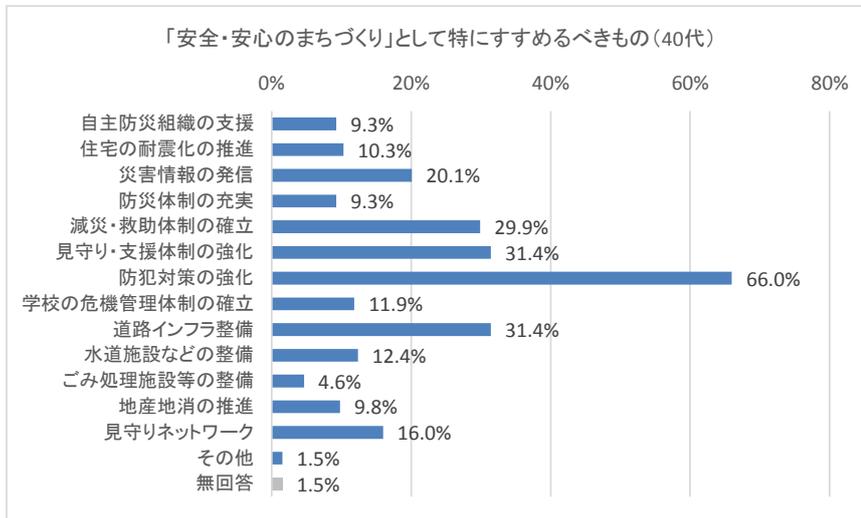
●20 代 (N=66)



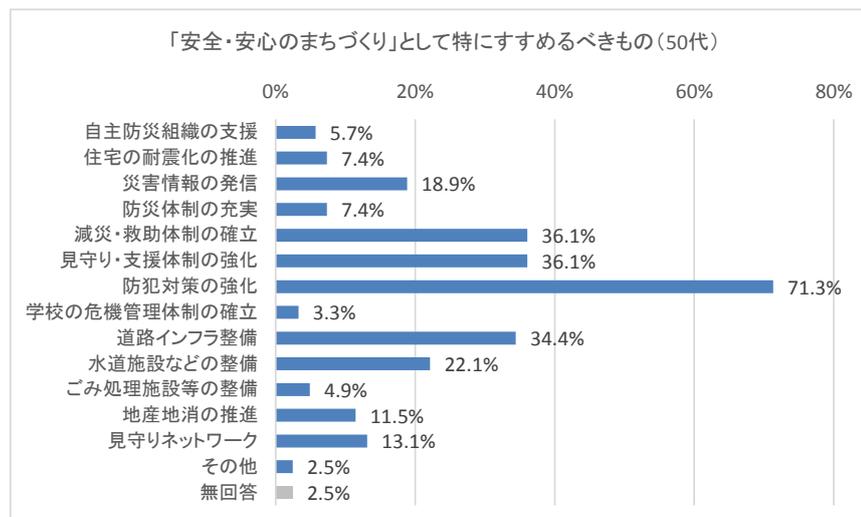
●30代 (N=189)



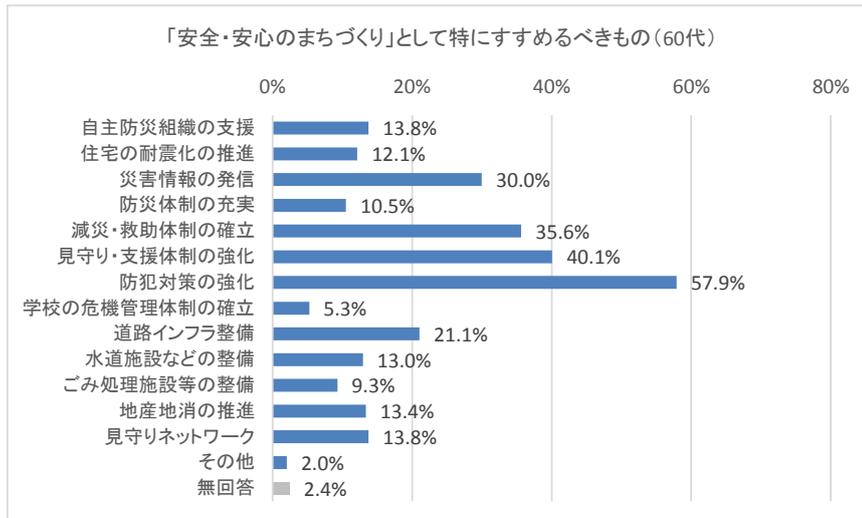
●40代 (N=194)



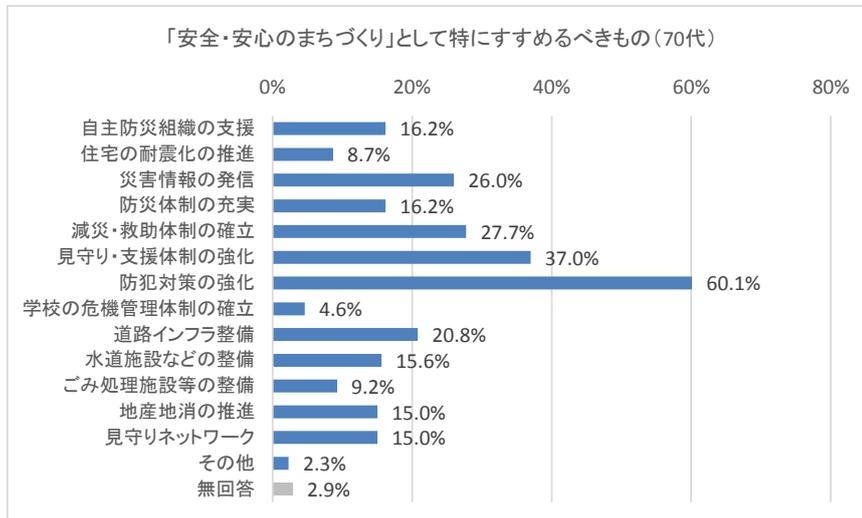
●50代 (N=122)



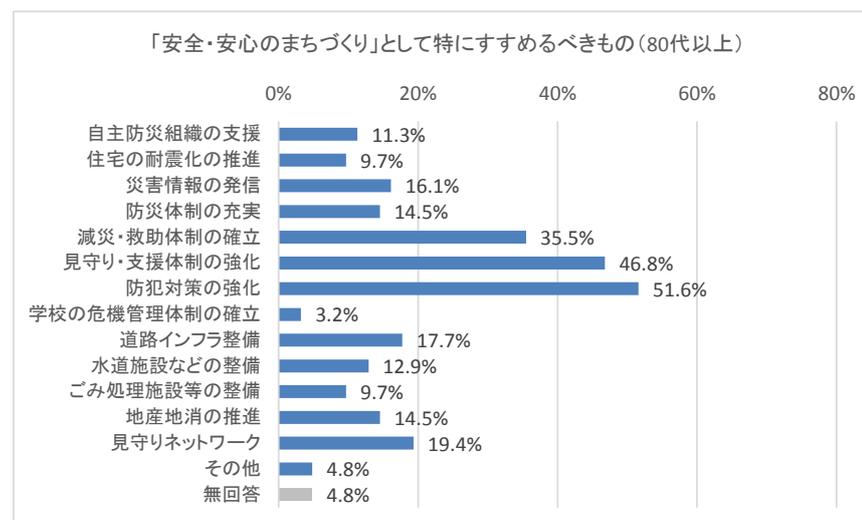
●60代 (N=247)



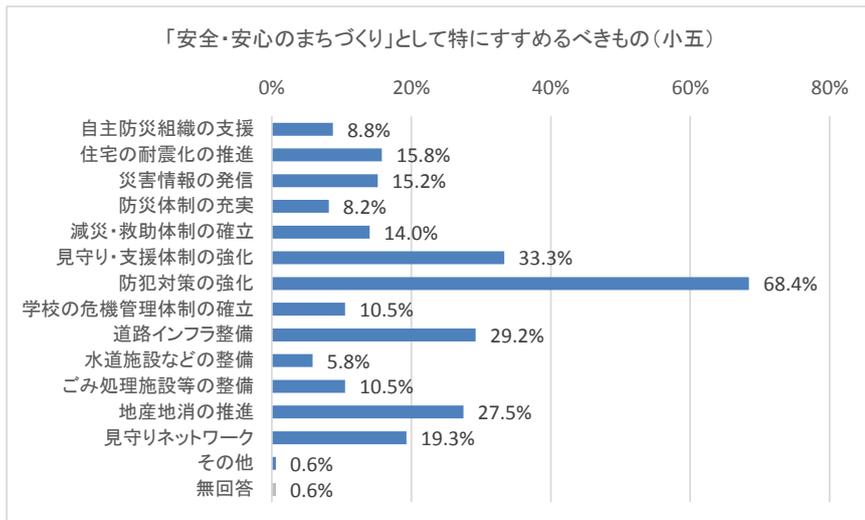
●70代 (N=173)



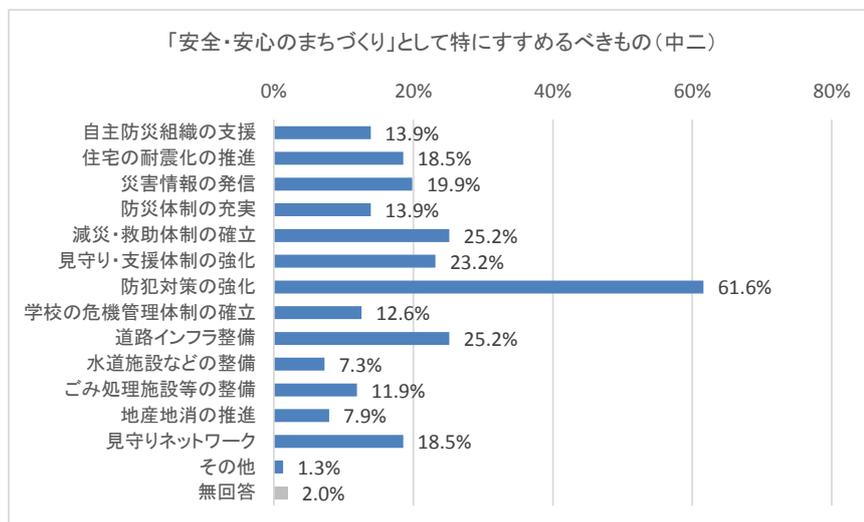
●80代以上 (N=62)



●【参考】小学五年生 (N=171)

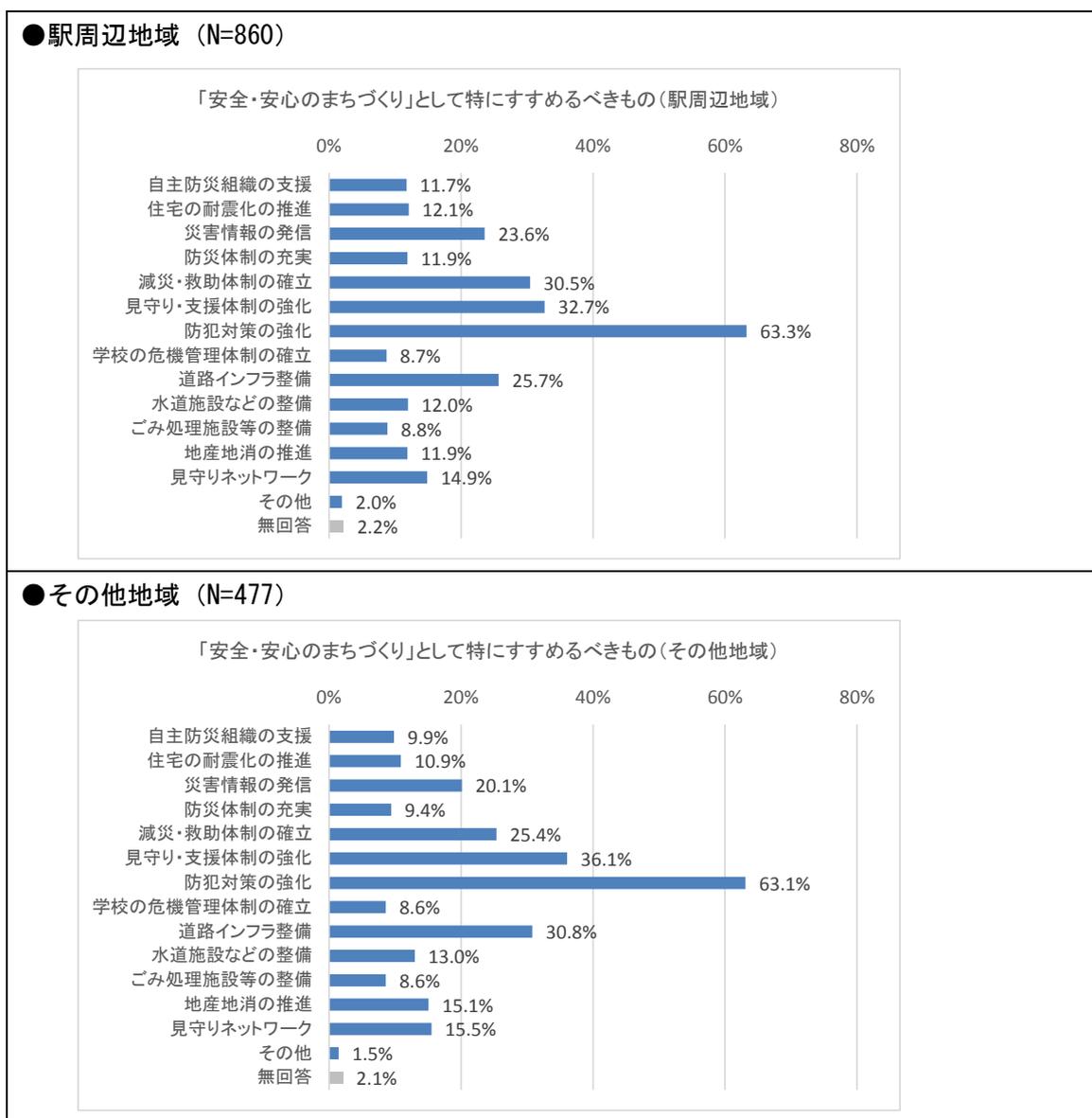


●【参考】中学二年生 (N=151)



<地域別>

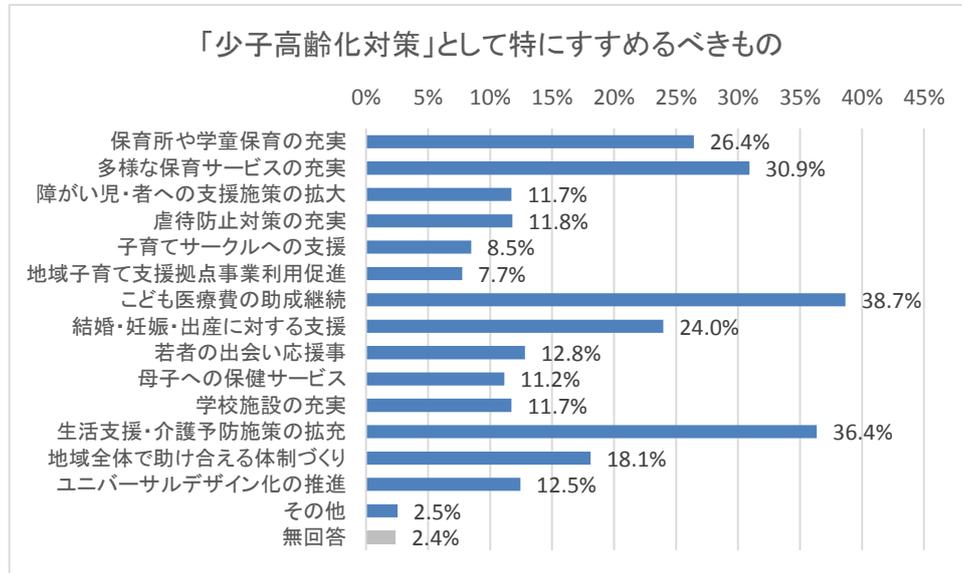
- ・ 駅周辺地域では、「減災・救助体制の確立」が多い一方、その他地域では、「見守り・支援体制の強化」、「道路インフラ整備」、「地産地消の推進」が多くなっている。



※友沼・松原・新橋・丸林東・丸林西の各地区を駅周辺地域、野木・野渡・南赤塚・中谷・潤島・若林・佐川野・川田の各地区をその他地域とした。

【設問2】『少子高齢化対策』について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。（〇は3つまで）

- ・「少子高齢化対策」として特に進めるべきものとして、「こども医療費の助成継続」が38.7%と最も多く、次いで「生活支援・介護予防施策の拡充」が36.4%となっている。



	回答比率	回答数
保育所や学童保育の充実	26.4%	365
多様な保育サービスの充実	30.9%	427
障がい児・者への支援施策の拡大	11.7%	162
虐待防止対策の充実	11.8%	163
子育てサークルへの支援	8.5%	117
地域子育て支援拠点事業利用促進	7.7%	107
こども医療費の助成継続	38.7%	534
結婚・妊娠・出産に対する支援	24.0%	331
若者の出会い応援	12.8%	177
母子への保健サービス	11.2%	154
学校施設の充実	11.7%	162
生活支援・介護予防施策の拡充	36.4%	502
地域全体で助け合える体制づくり	18.1%	250
ユニバーサルデザイン化の推進	12.5%	172
その他	2.5%	35
無回答	2.4%	33

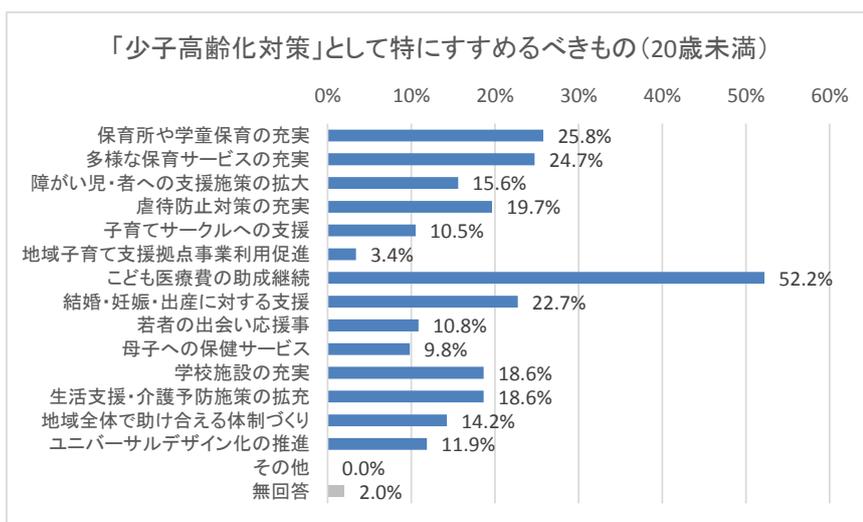
■その他の内容（主なもの）

子育て世帯への支援（2件）、運動施設の充実（2件）

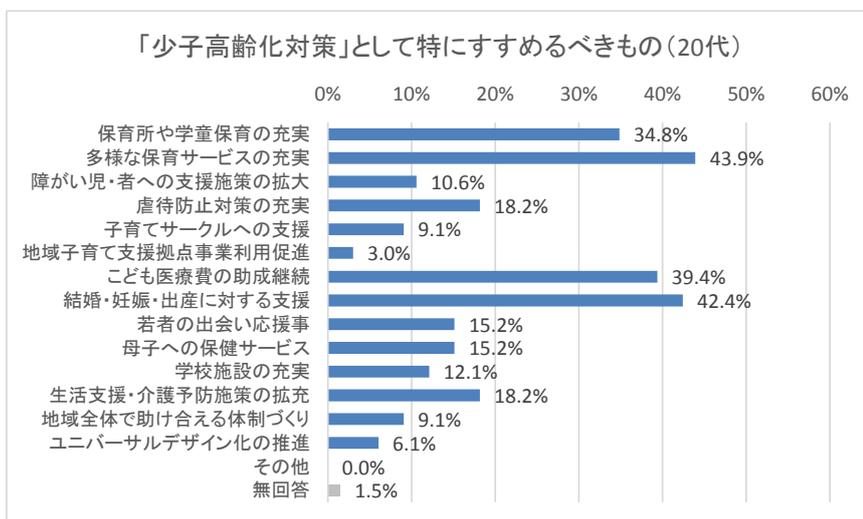
<年齢別>

- ・特に子育て世代と考えられる 30 代から 40 代や 20 代未満において「こども医療費の助成継続」が 50%以上と多くなっている。
- ・「保育所や学童保育の充実」や「多様な保育サービスの充実」は 20 代、30 代が他の世代に比べて多くなっているが、それ以外の世代でも比較的回答率が高い。
- ・一方、60 代以上の高齢者は「生活支援・介護予防施策の拡充」が 50%以上と多くなっている。
- ・年少者の傾向を見ると、「学校施設の充実」が多くなっている。

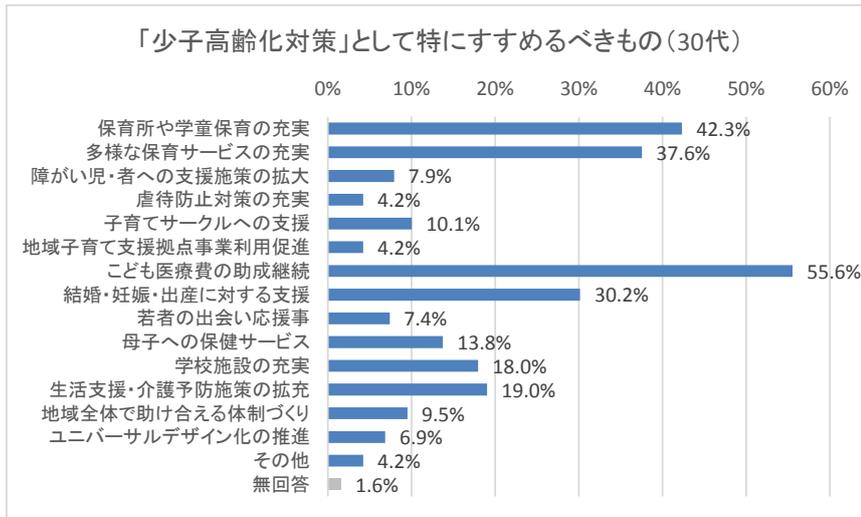
●20 歳未満 (N=295)



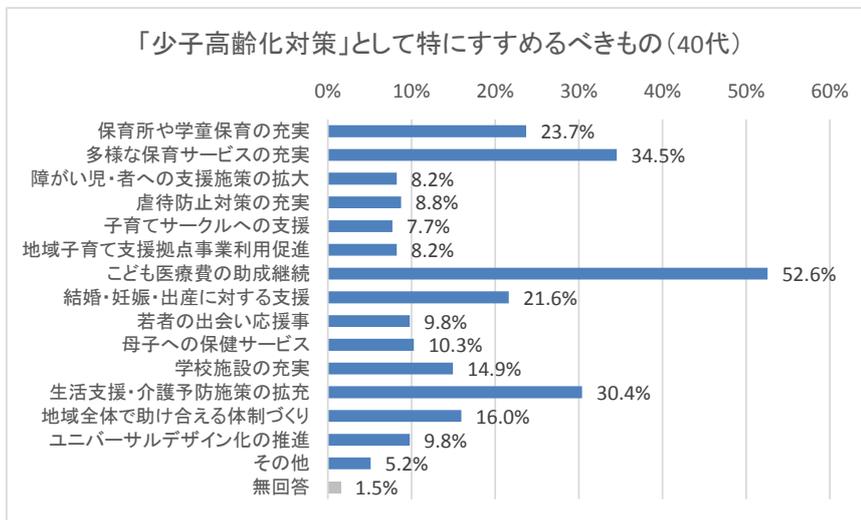
●20 代 (N=66)



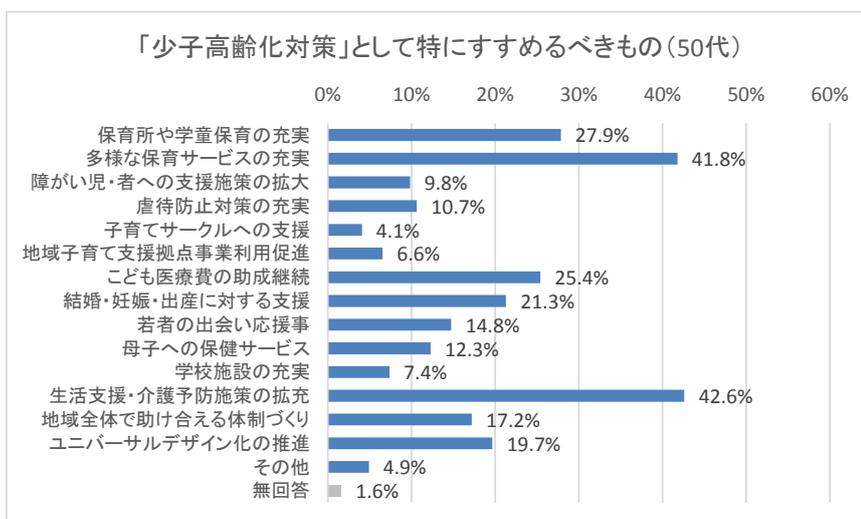
●30代 (N=189)



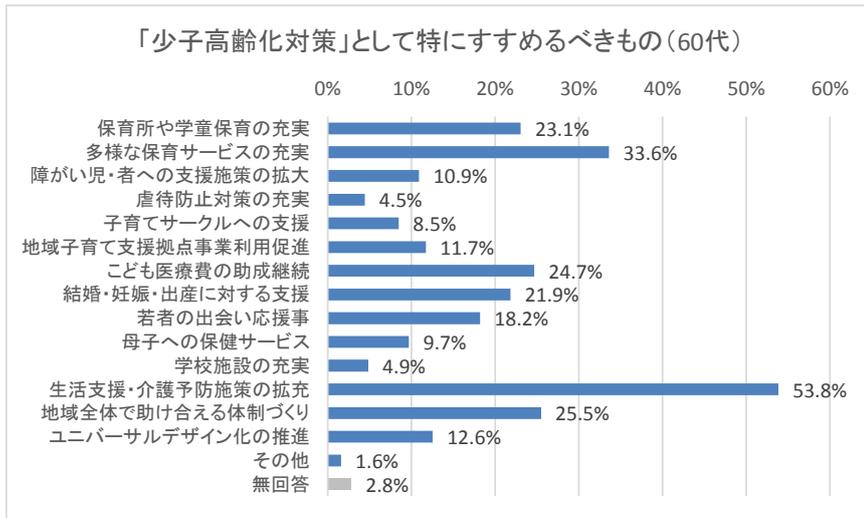
●40代 (N=194)



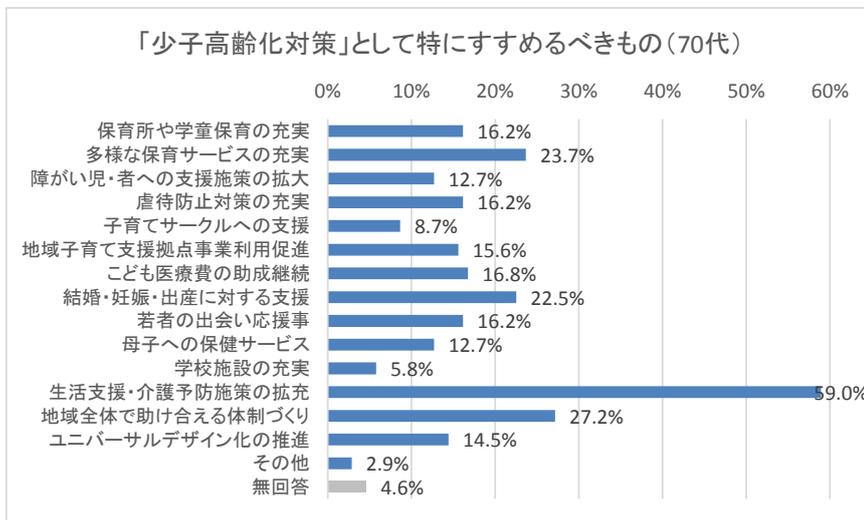
●50代 (N=122)



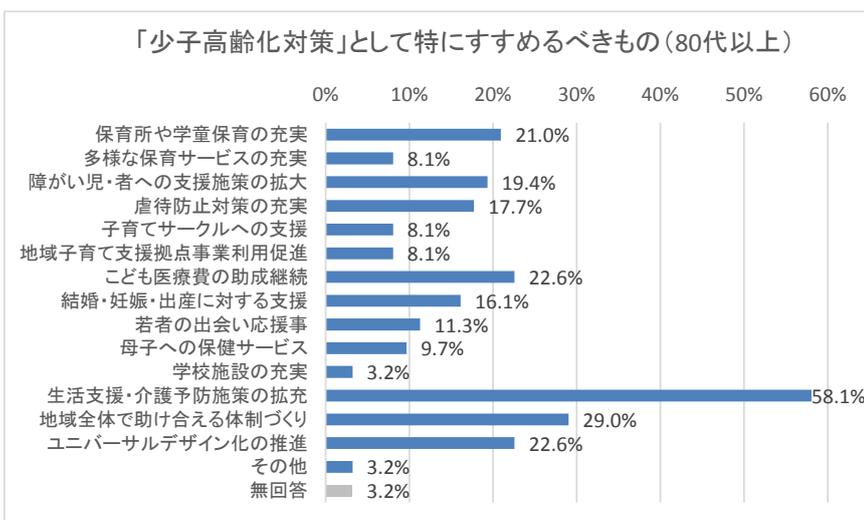
●60代 (N=247)



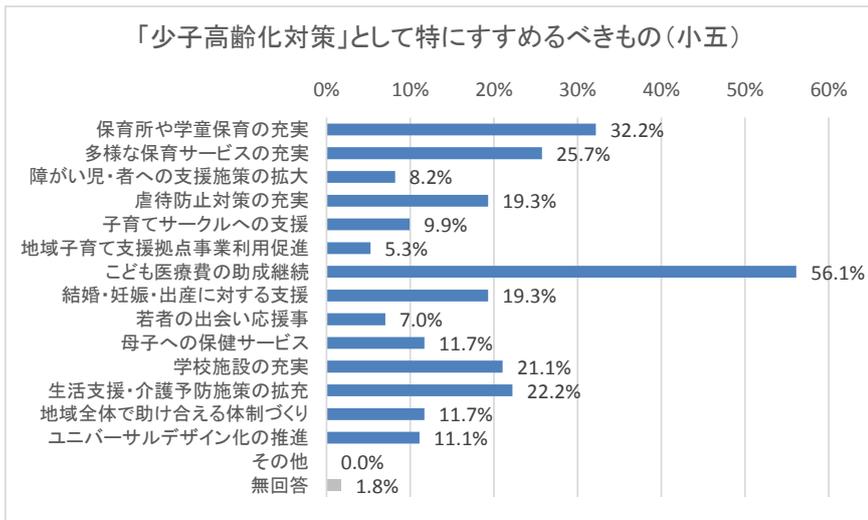
●70代 (N=173)



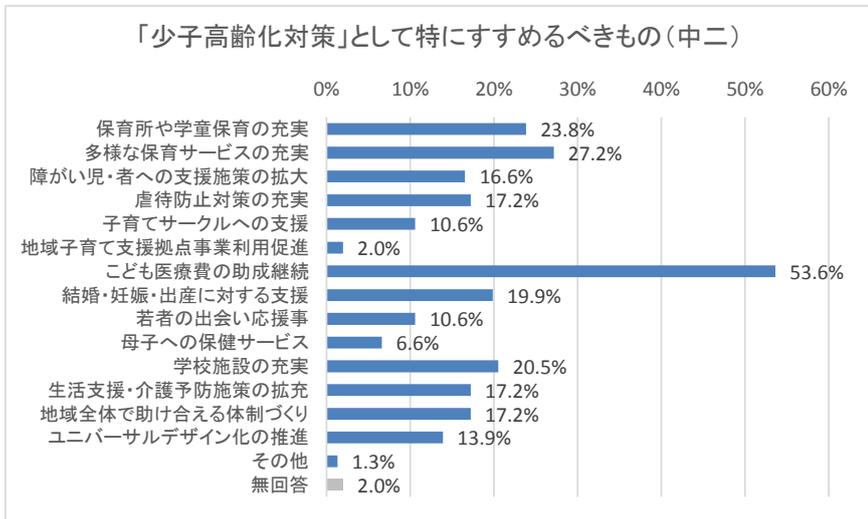
●80代以上 (N=62)



●【参考】小学五年生 (N=171)

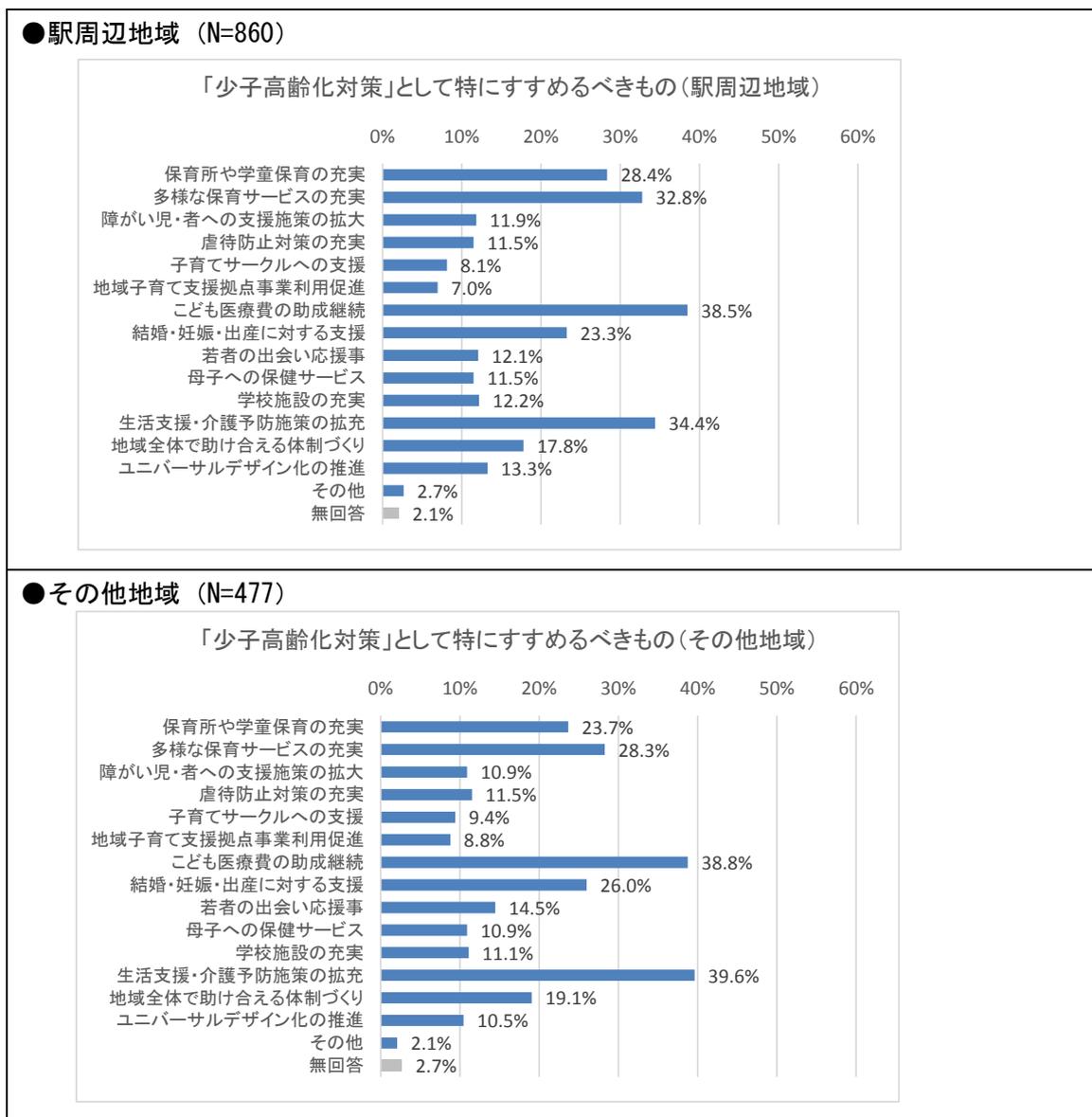


●【参考】中学二年生 (N=151)



<地域別>

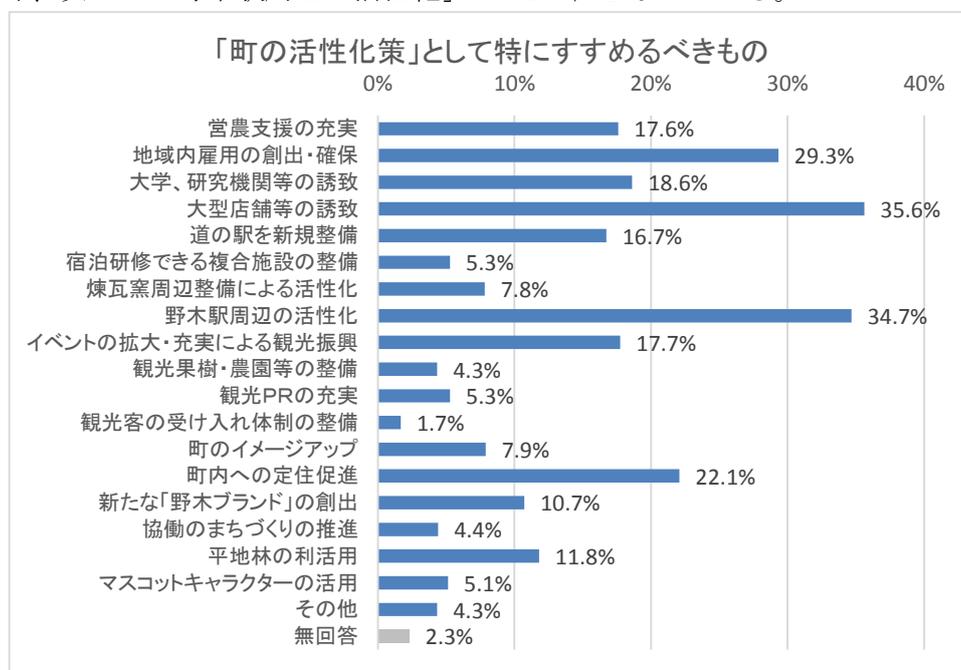
- ・ 駅周辺地域では、「保育所や学童保育の充実」、「多様な保育サービスの充実」が多い一方、その他地域では、「生活支援・介護予防施策の拡充」が多くなっている。



※友沼・松原・新橋・丸林東・丸林西の各地区を駅周辺地域、野木・野渡・南赤塚・中谷・潤島・若林・佐川野・川田の各地区をその他地域とした。

【設問3】『町の活性化策』について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。（〇は3つまで）

- ・「町の活性化策」として特に進めるべきものとして、「大型店舗等の誘致」が35.6%と最も多く、次いで「野木駅周辺の活性化」が34.7%となっている。



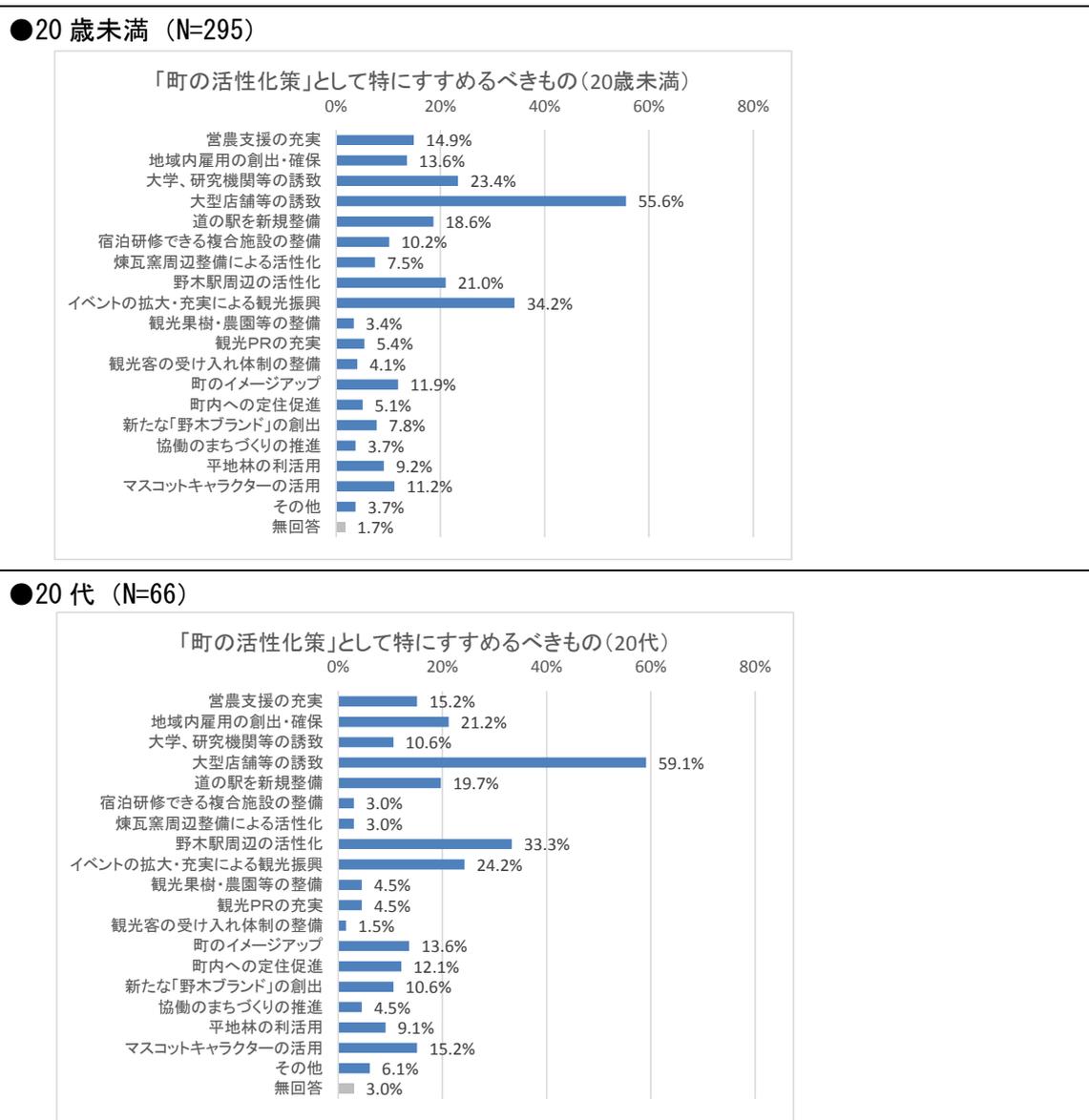
	回答比率	回答数
営農支援の充実	17.6%	243
地域内雇用の創出・確保	29.3%	405
大学、研究機関等の誘致	18.6%	257
大型店舗等の誘致	35.6%	492
道の駅を新規整備	16.7%	231
宿泊研修できる複合施設の整備	5.3%	73
煉瓦窯周辺整備による活性化	7.8%	108
野木駅周辺の活性化	34.7%	479
イベントの拡大・充実による観光振興	17.7%	245
観光果樹・農園等の整備	4.3%	60
観光PRの充実	5.3%	73
観光客の受け入れ体制の整備	1.7%	23
町のイメージアップ	7.9%	109
町内への定住促進	22.1%	305
新たな「野木ブランド」の創出	10.7%	148
協働のまちづくりの推進	4.4%	61
平地林の利活用	11.8%	163
マスコットキャラクターの活用	5.1%	71
その他	4.3%	60
無回答	2.3%	32

■その他の内容（主なもの）

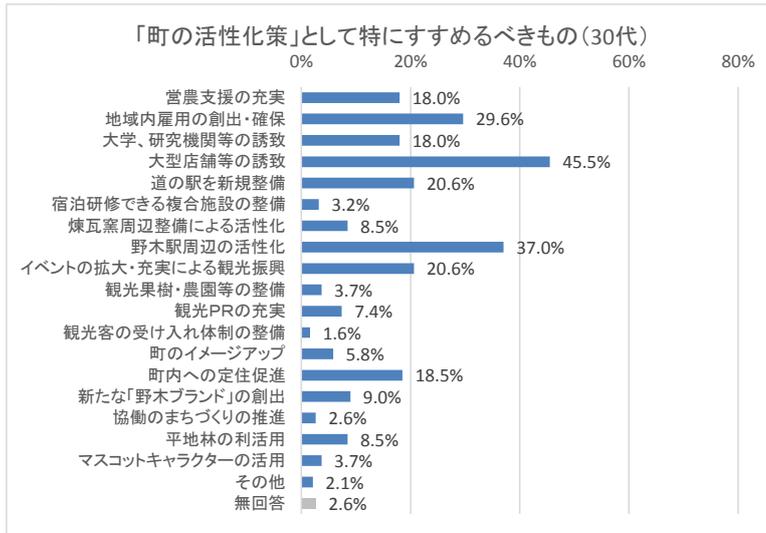
飲食店の誘致（6件）、バスの充実（3件）、公園の整備（2件）、
国道4号へのアクセス充実（2件）

<年齢別>

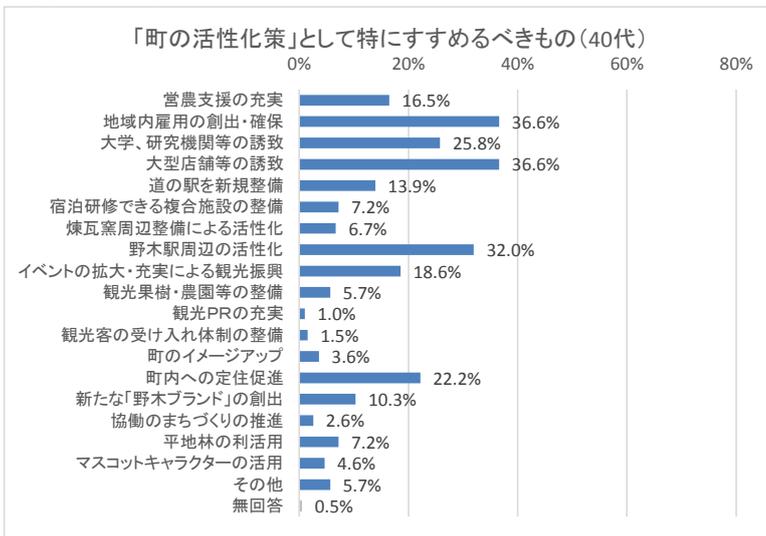
- ・20代以下の若年者において「大型店舗等の誘致」が50%以上と多くなっている一方、50代以上において「野木駅周辺の活性化」が40%以上、60代以上において「町内への定住促進」が30%以上と多くなっている。
- ・「地域内雇用の創出・確保」は40代から70代にかけて30%以上と多くなっている。
- ・年少者の傾向を見ると、「イベントの拡充・充実による観光振興」が30%程度と他の世代に比べて多くなっている。



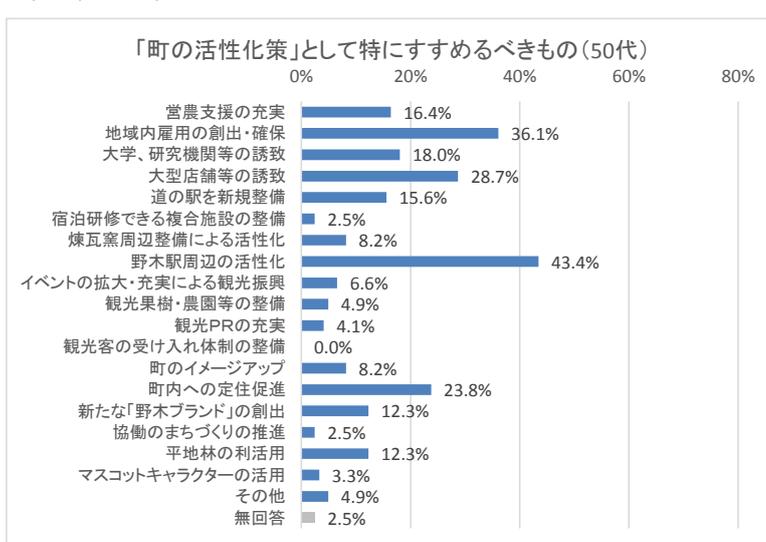
●30代 (N=189)



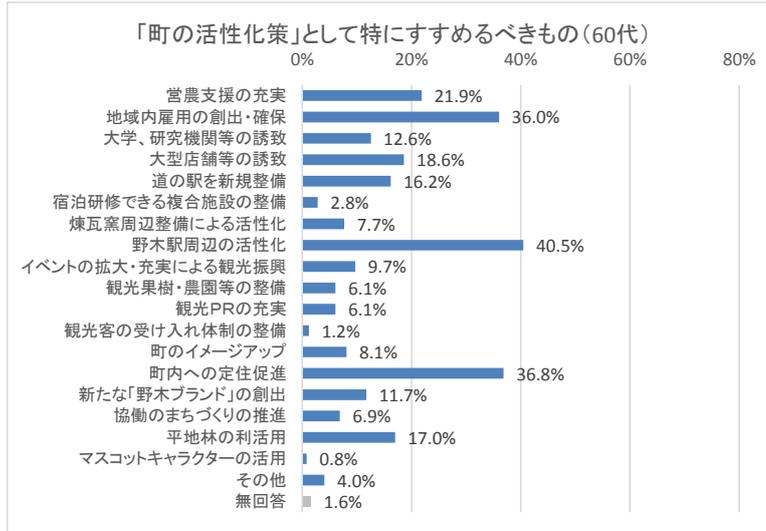
●40代 (N=194)



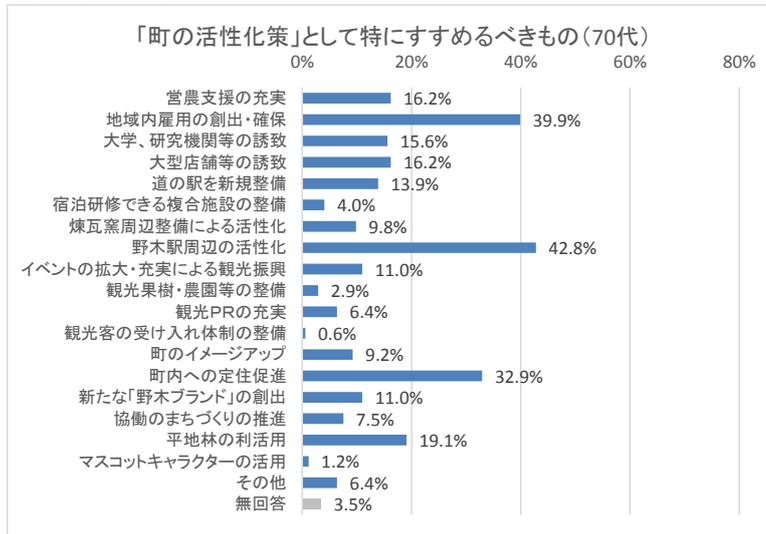
●50代 (N=122)



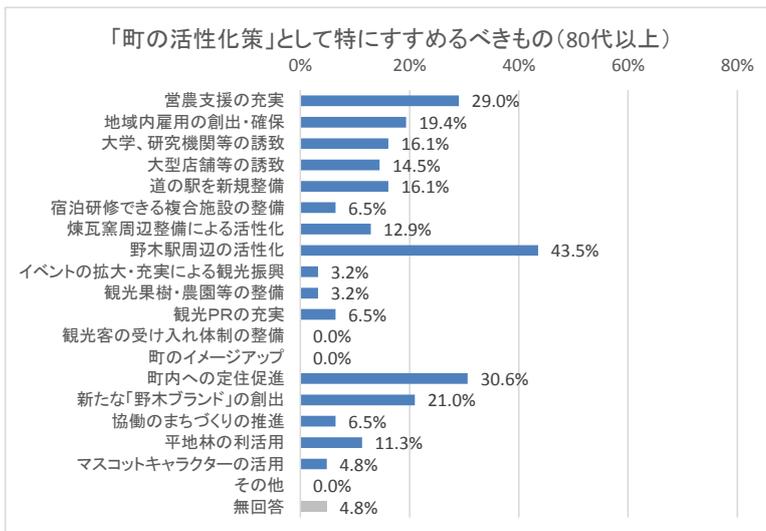
●60代 (N=247)



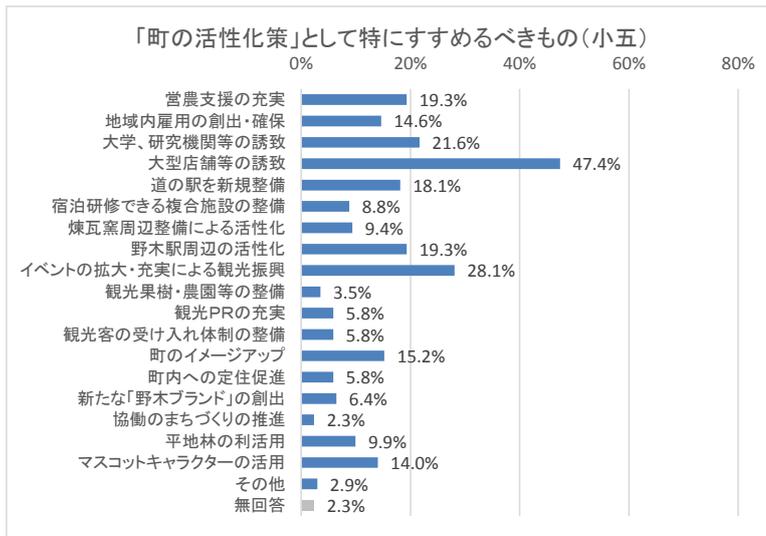
●70代 (N=173)



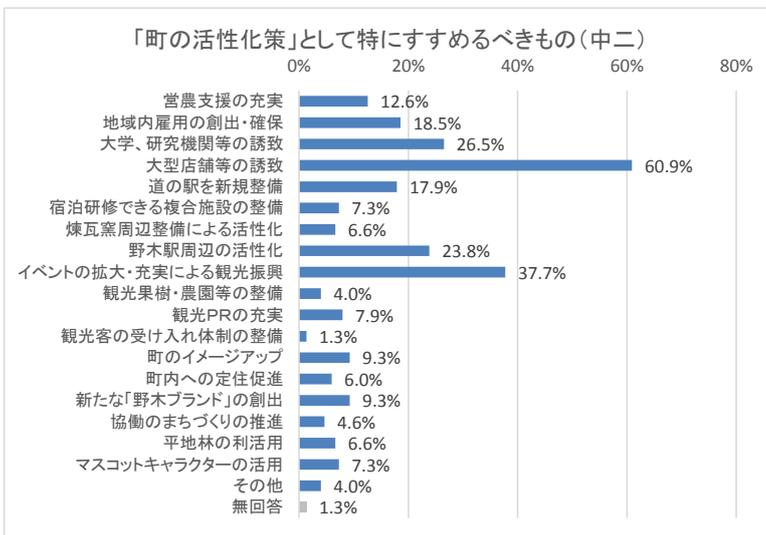
●80代以上 (N=62)



●【参考】小学五年生 (N=171)

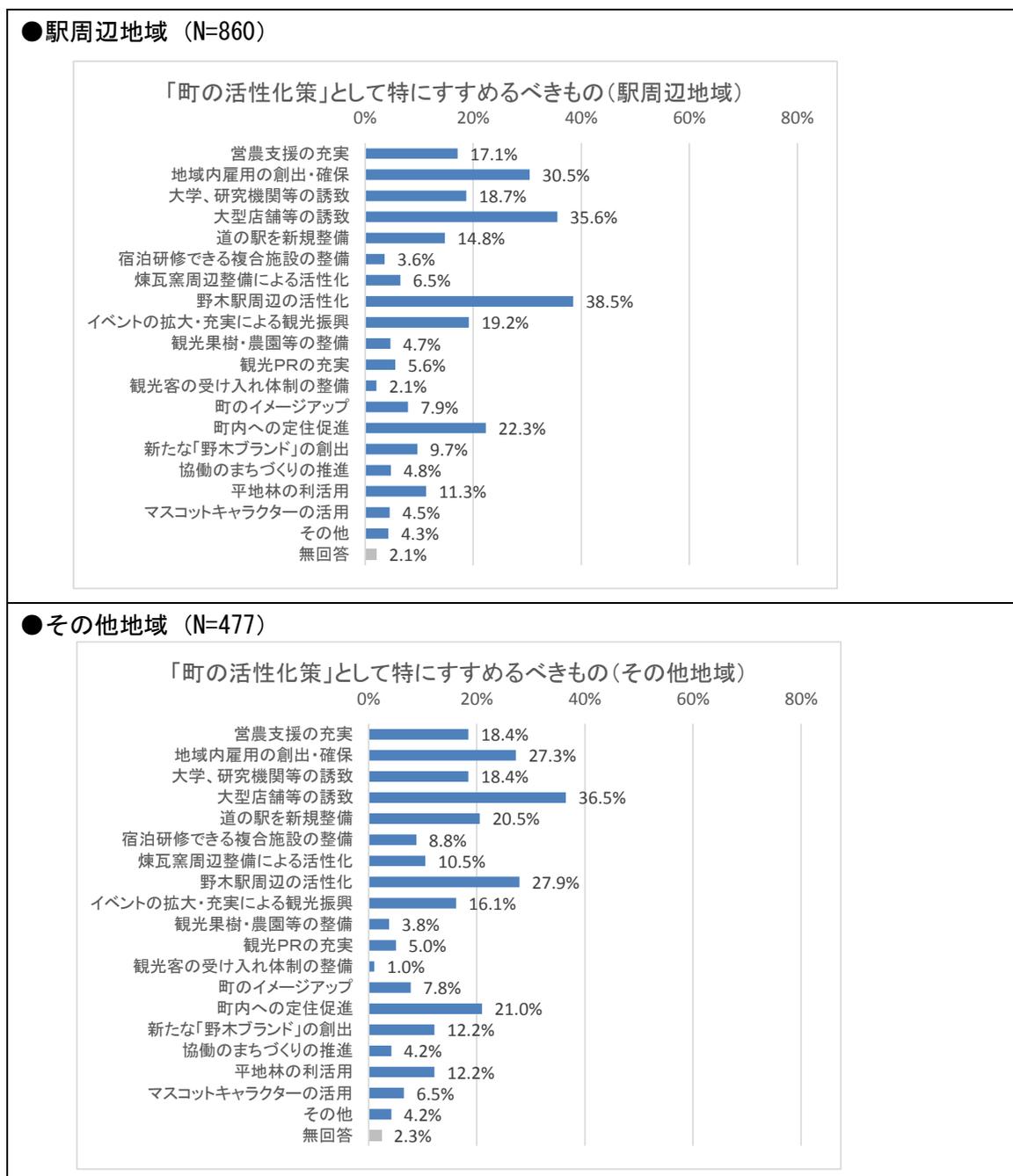


●【参考】中学二年生 (N=151)



<地域別>

- ・ 駅周辺地域では、「地域内雇用の創出・確保」、「野木駅周辺の活性化」が多い一方、その他地域では、「道の駅を新規整備」、「宿泊研修できる複合施設の整備」、「煉瓦窯周辺整備による活性化」が多くなっている。



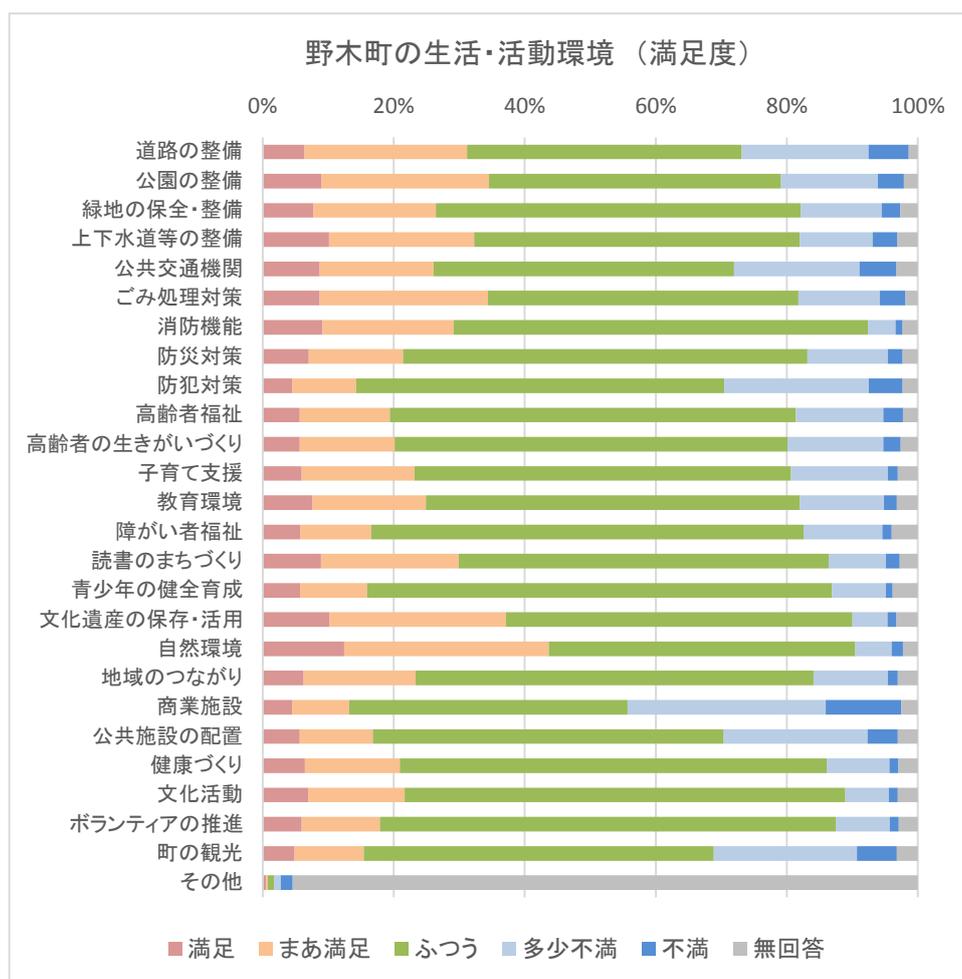
※友沼・松原・新橋・丸林東・丸林西の各地区を駅周辺地域、野木・野渡・南赤塚・中谷・潤島・若林・佐川野・川田の各地区をその他地域とした。

(2) 野木町の生活・活動環境について

【設問4】現在の野木町の生活・活動環境について、①～⑳の項目にお答えください。
 (該当する番号それぞれ1つに○印を付けてください)

【満足度】

- 野木町の生活・活動環境について、「自然環境」の満足度が43.7%（満足、まあ満足と回答した割合）と最も多く、次いで「文化遺産の保存・活用」が37.1%となっている。一方で、不満、多少不満との回答は、「商業施設」が41.8%と最も多く、次いで「町の観光」が28.0%となっている。



■その他の内容（主なもの）

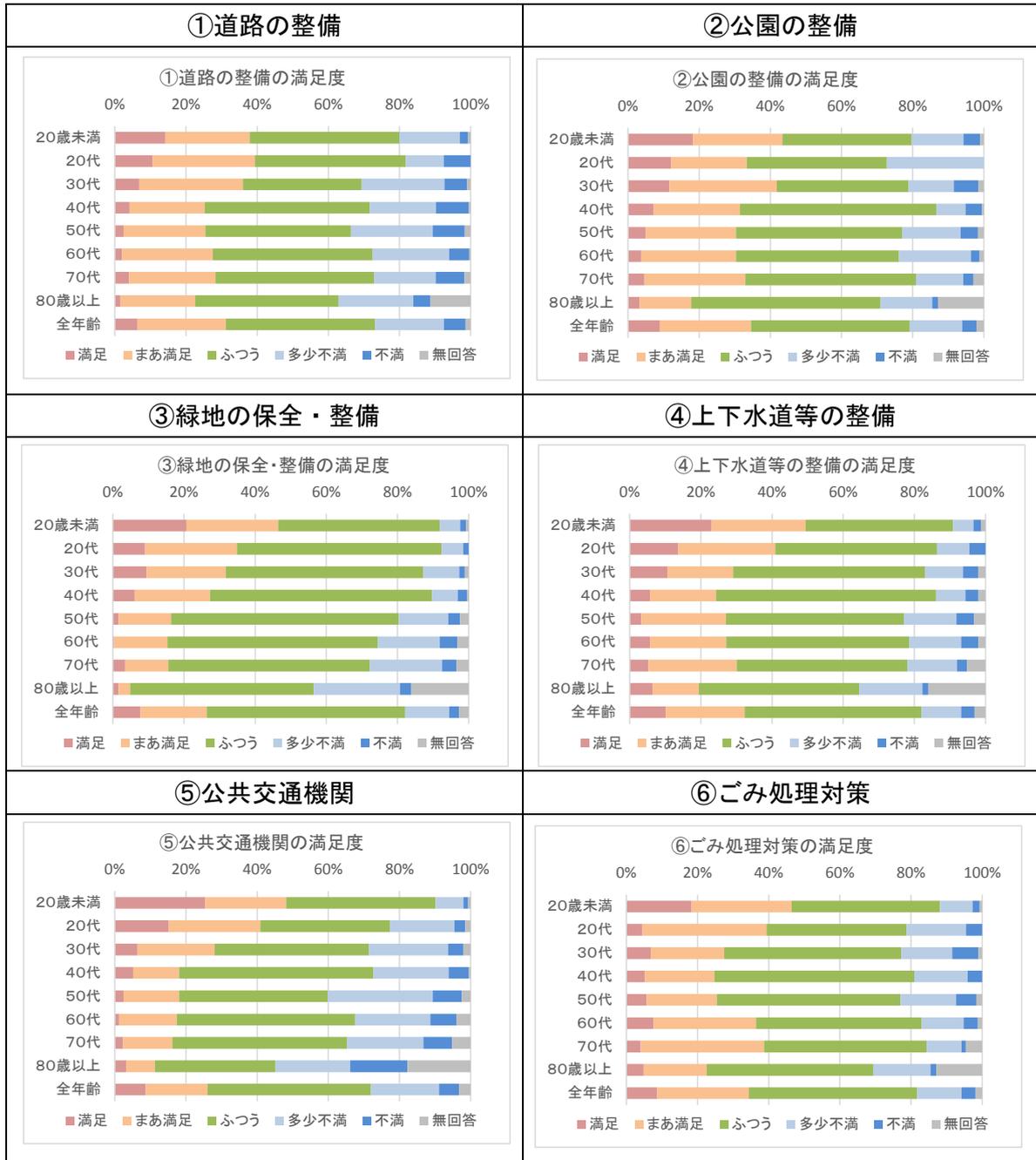
臭い対策（3件）、行政サービス2件

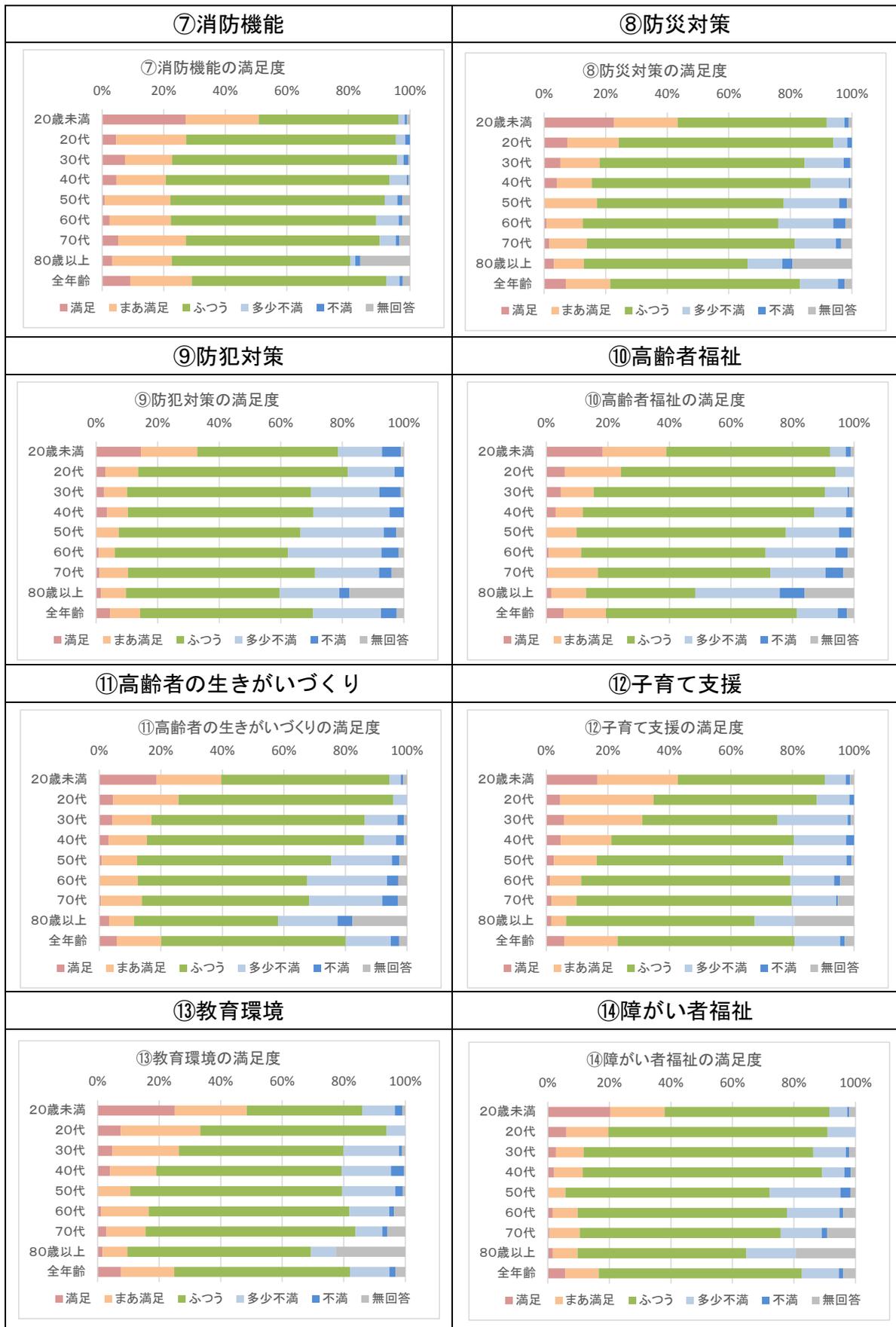
	回答比率					
	満足	まあ満足	ふつう	多少不満	不満	無回答
道路の整備	6.4%	24.8%	41.9%	19.3%	6.2%	1.4%
公園の整備	9.0%	25.6%	44.6%	14.8%	4.0%	2.1%
緑地の保全・整備	7.7%	18.7%	55.8%	12.3%	2.8%	2.7%
上下水道等の整備	10.1%	22.2%	49.7%	11.2%	3.8%	3.1%
公共交通機関	8.7%	17.4%	45.9%	19.1%	5.6%	3.3%
ごみ処理対策	8.7%	25.7%	47.4%	12.5%	3.9%	1.9%
消防機能	9.1%	20.0%	63.3%	4.2%	1.1%	2.3%
防災対策	7.0%	14.4%	61.7%	12.3%	2.2%	2.3%
防犯対策	4.5%	9.8%	56.2%	22.1%	5.1%	2.3%
高齢者福祉	5.6%	13.8%	62.0%	13.3%	3.0%	2.2%
高齢者の生きがいづくり	5.6%	14.5%	60.0%	14.6%	2.7%	2.6%
子育て支援	5.9%	17.2%	57.5%	14.8%	1.5%	3.0%
教育環境	7.6%	17.3%	57.1%	12.9%	2.0%	3.2%
障がい者福祉	5.7%	10.9%	66.0%	12.0%	1.4%	4.0%
読書のまちづくり	8.9%	21.0%	56.5%	8.8%	2.1%	2.8%
青少年の健全育成	5.7%	10.2%	71.0%	8.3%	1.0%	3.8%
文化遺産の保存・活用	10.2%	26.9%	52.9%	5.4%	1.4%	3.3%
自然環境	12.5%	31.2%	46.8%	5.6%	1.7%	2.2%
地域のつながり	6.2%	17.1%	60.8%	11.4%	1.5%	3.0%
商業施設	4.5%	8.7%	42.5%	30.3%	11.5%	2.5%
公共施設の配置	5.6%	11.2%	53.6%	21.9%	4.6%	3.0%
健康づくり	6.4%	14.5%	65.2%	9.6%	1.4%	3.0%
文化活動	7.0%	14.7%	67.3%	6.7%	1.4%	3.0%
ボランティアの推進	5.9%	11.9%	69.6%	8.3%	1.4%	2.9%
町の観光	4.9%	10.6%	53.4%	21.9%	6.1%	3.2%
その他	0.5%	0.2%	1.0%	1.0%	1.8%	95.4%

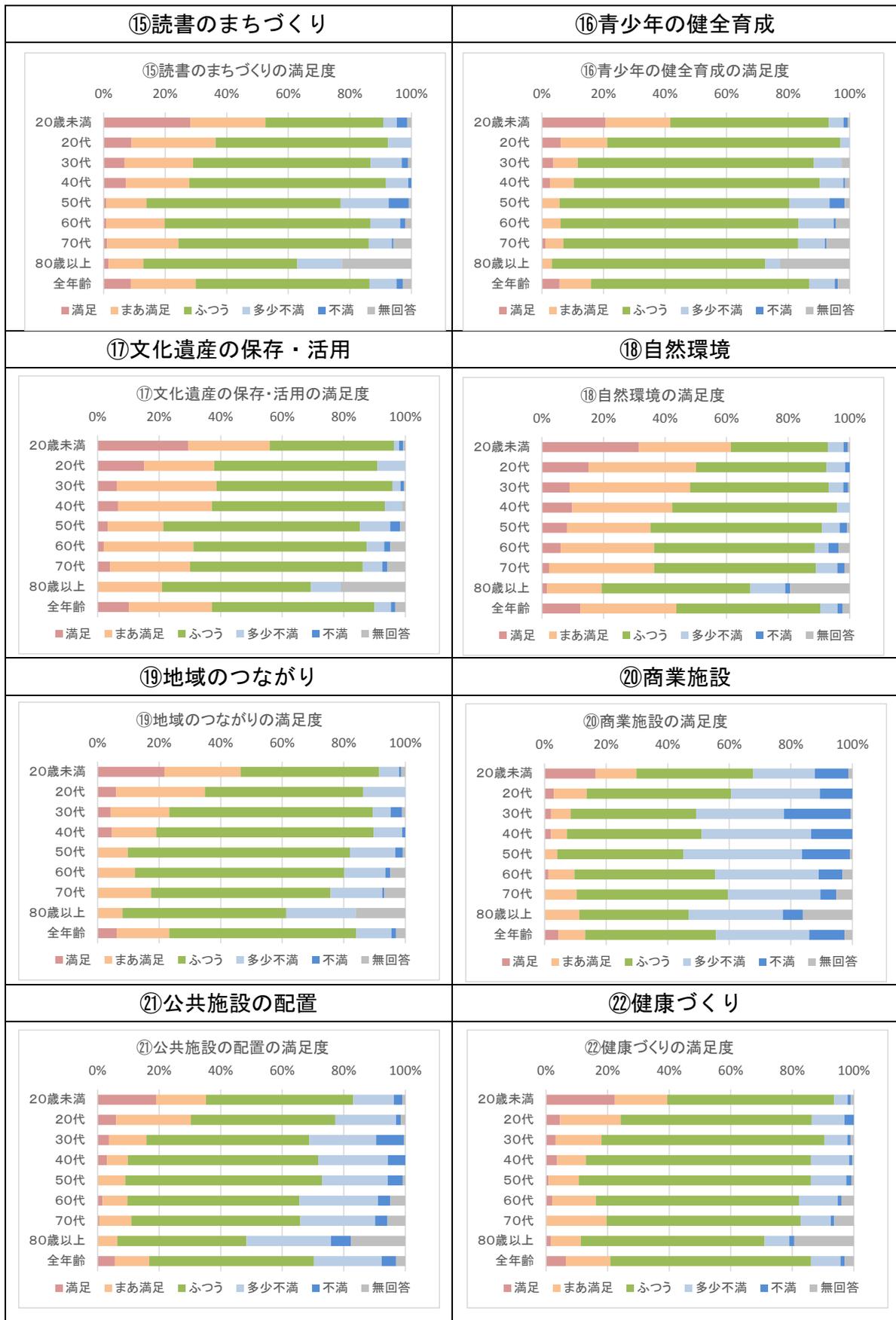
	回答数					
	満足	まあ満足	ふつう	多少不満	不満	無回答
道路の整備	88	343	579	267	85	19
公園の整備	124	353	616	204	55	29
緑地の保全・整備	107	258	770	170	39	37
上下水道等の整備	140	306	686	154	52	43
公共交通機関	120	240	634	264	78	45
ごみ処理対策	120	355	654	172	54	26
消防機能	126	276	874	58	15	32
防災対策	97	199	852	170	31	32
防犯対策	62	135	776	305	71	32
高齢者福祉	78	190	856	184	42	31
高齢者の生きがいづくり	78	200	828	202	37	36
子育て支援	82	238	794	204	21	42
教育環境	105	239	788	178	27	44
障がい者福祉	79	150	911	166	20	55
読書のまちづくり	123	290	780	121	29	38
青少年の健全育成	79	141	980	114	14	53
文化遺産の保存・活用	141	372	730	74	19	45
自然環境	172	431	646	77	24	31
地域のつながり	86	236	839	157	21	42
商業施設	62	120	587	418	159	35
公共施設の配置	78	154	740	303	64	42
健康づくり	89	200	900	132	19	41
文化活動	96	203	929	92	19	42
ボランティアの推進	82	165	961	114	19	40
町の観光	67	146	738	302	84	44
その他	7	3	14	14	25	1318

<年齢別>

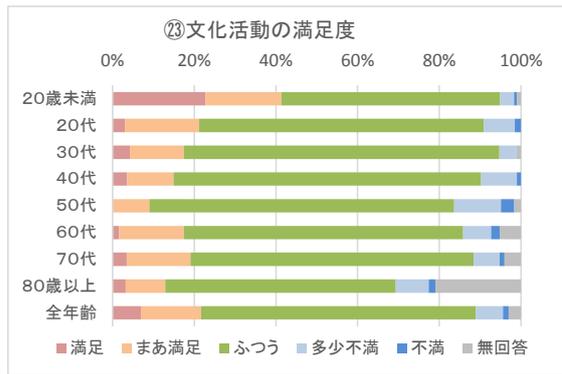
- ・小学5年生、中学2年生を含む20歳未満が、すべての項目で他の年代より満足度が高くなっている。
- ・「緑地の保全・整備」、「公共交通機関」、「町の観光」については、年齢が高くなるほど満足度が低下する傾向が見られる。



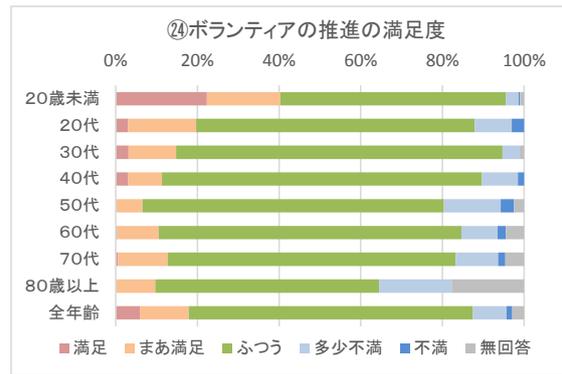




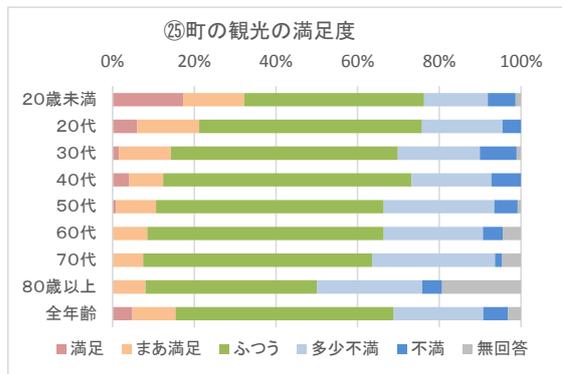
⑳文化活動



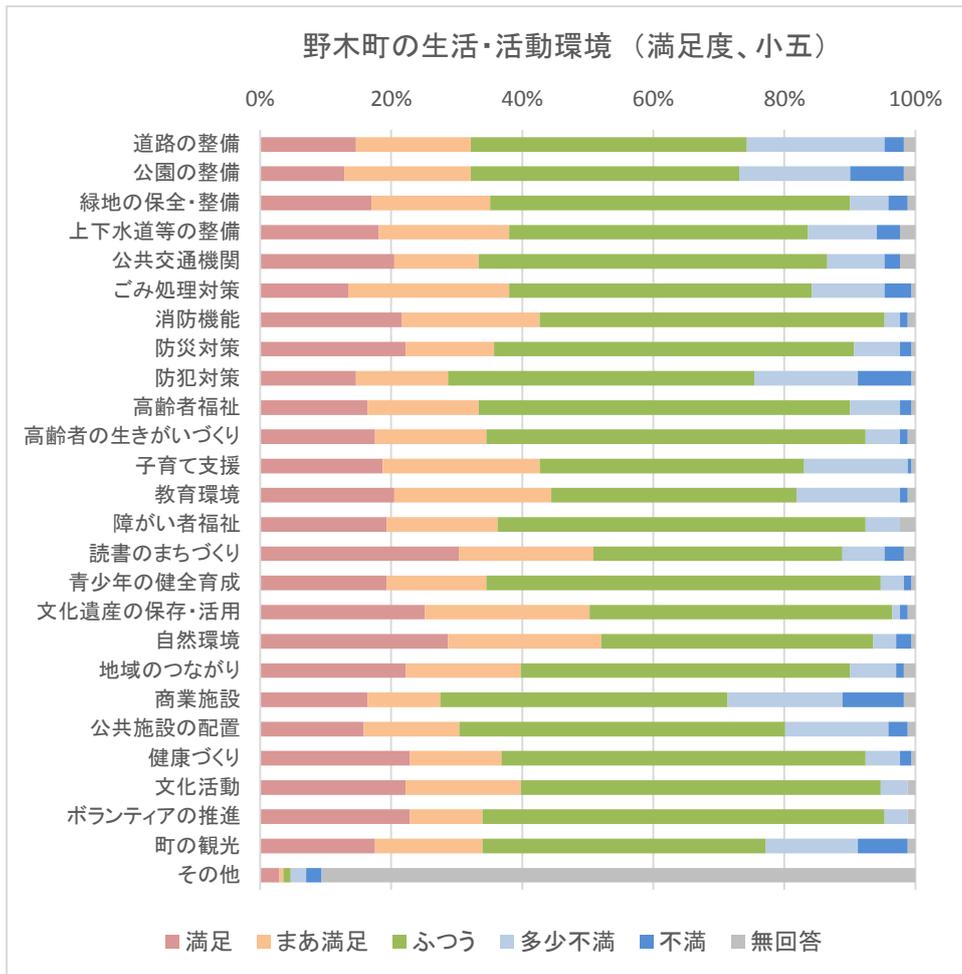
㉔ボランティアの推進



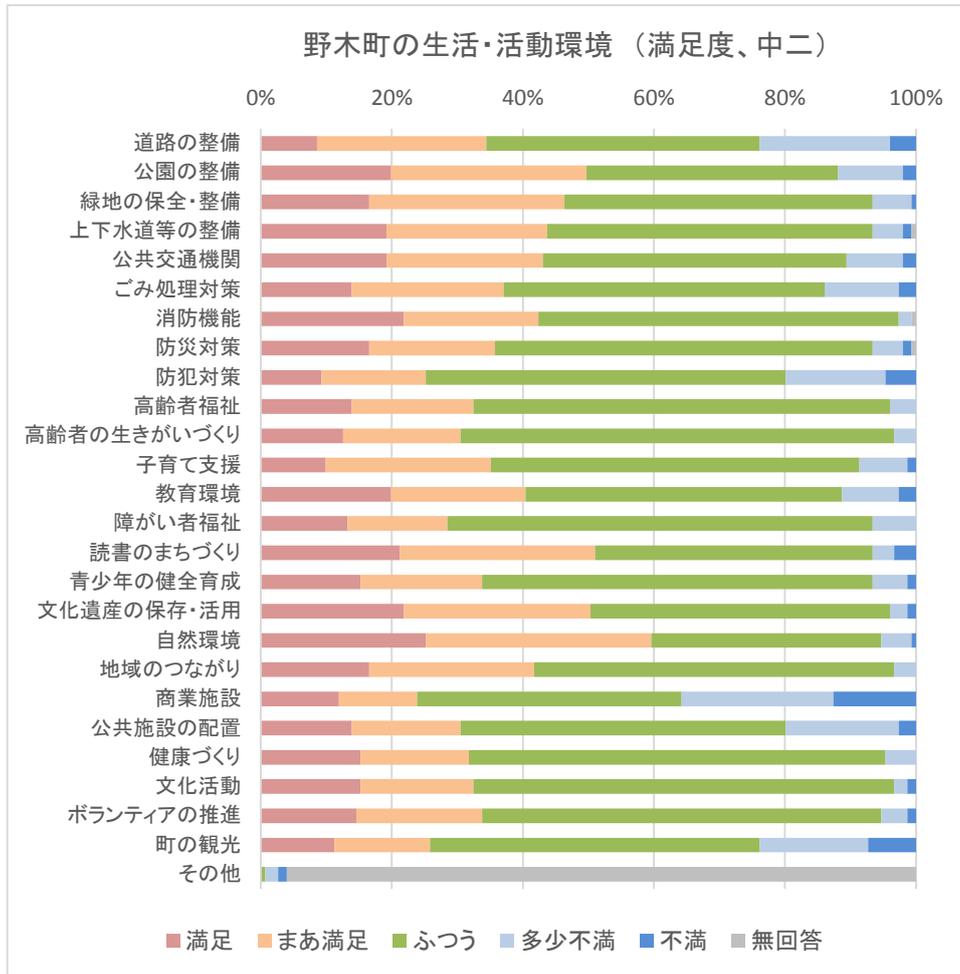
㉕町の観光



【参考】小学五年生 (N=171)

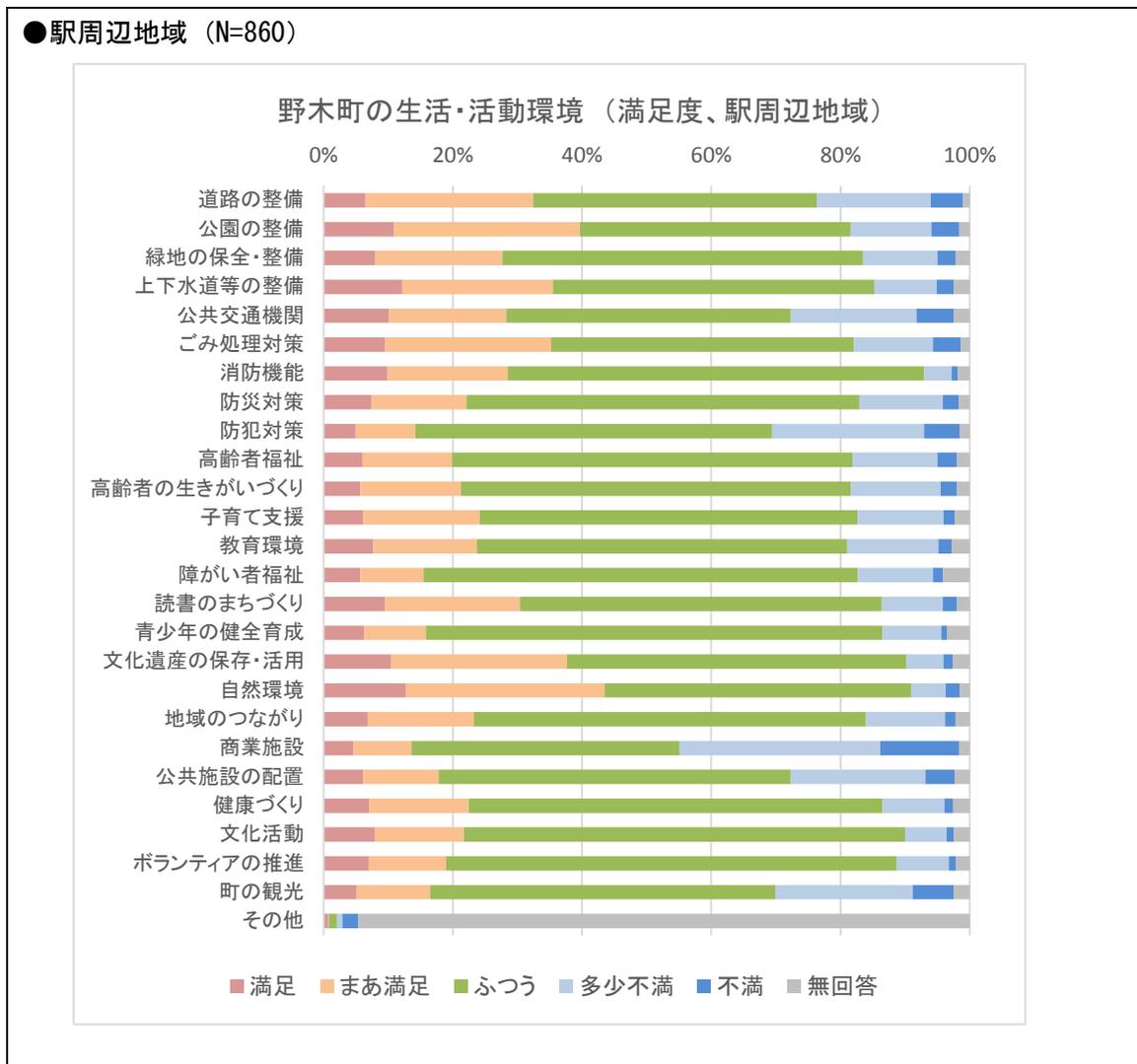


【参考】 中学二年生 (N=151)

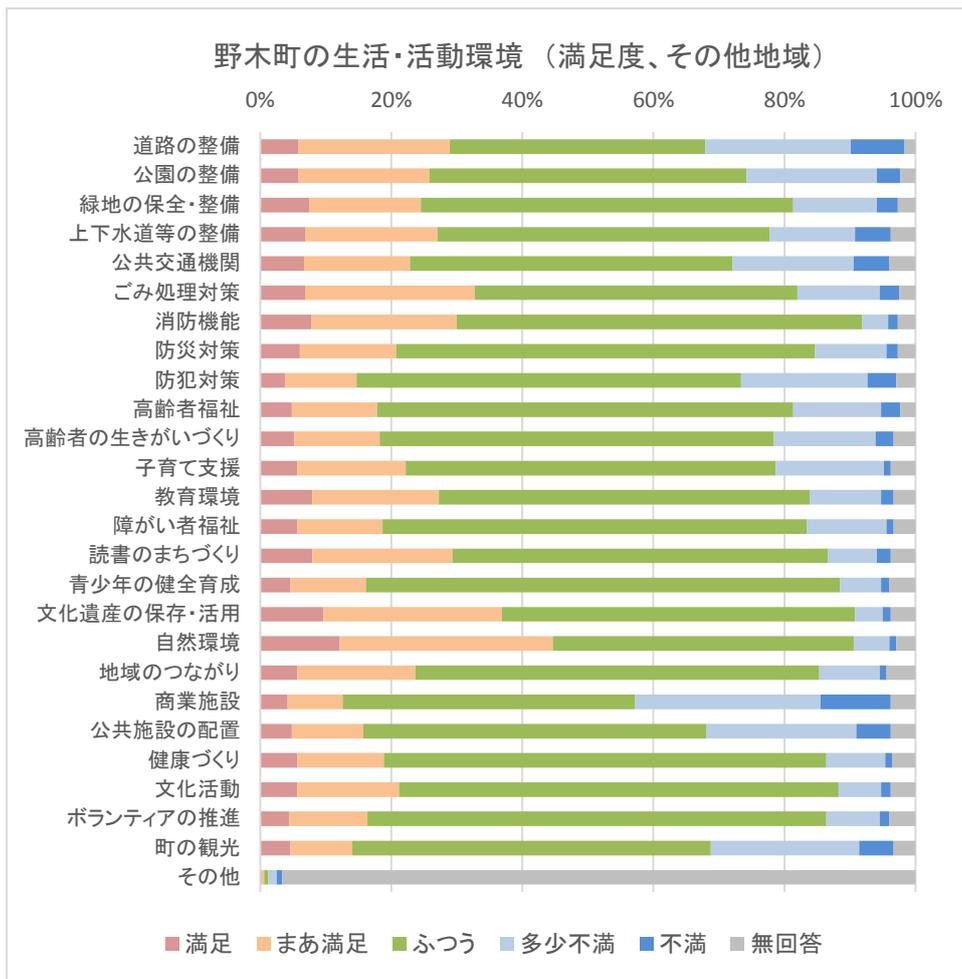


<地域別>

- ・ 駅周辺地域では、「公園の整備」、「上下水道の整備」を中心に、その他地域よりも満足度が高い傾向である。ただし、「教育環境」や「障がい者福祉」については、その他地域の方が満足度が高くなっている。



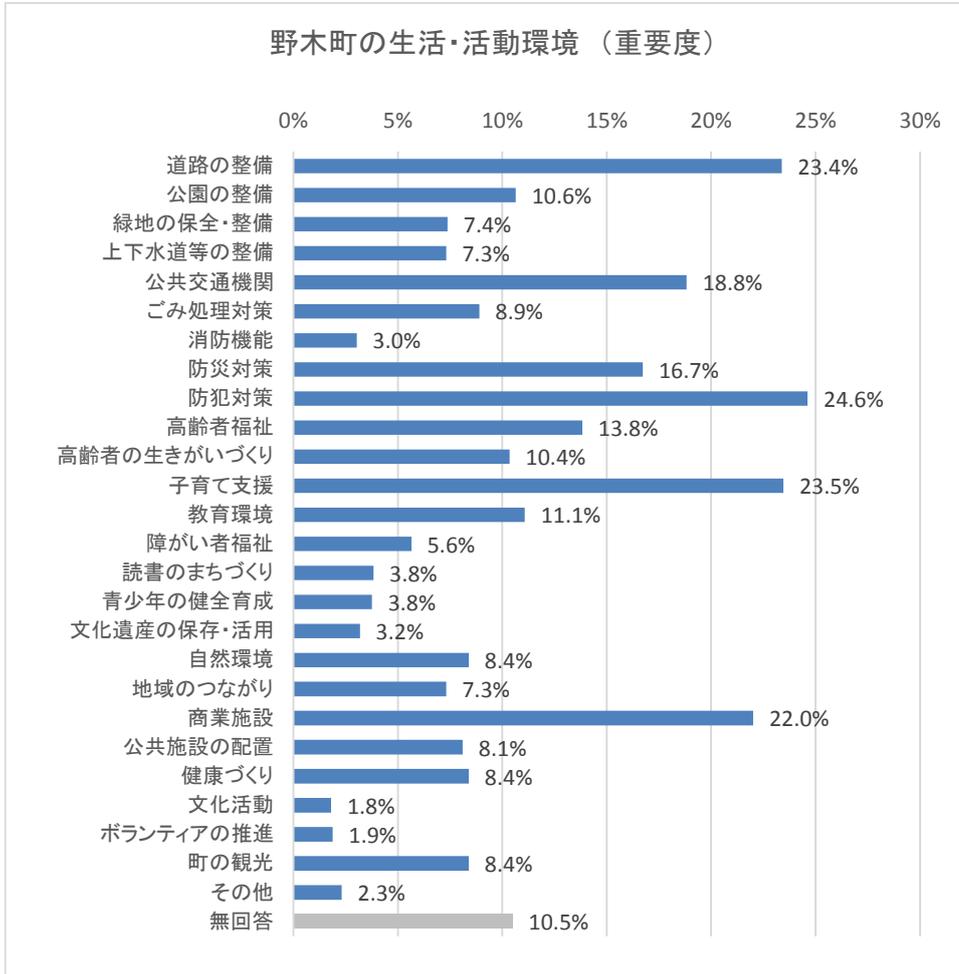
●その他地域 (N=477)



※友沼・松原・新橋・丸林東・丸林西の各地区を駅周辺地域、野木・野渡・南赤塚・中谷・潤島・若林・佐川野・川田の各地区をその他地域とした。

【重要度】

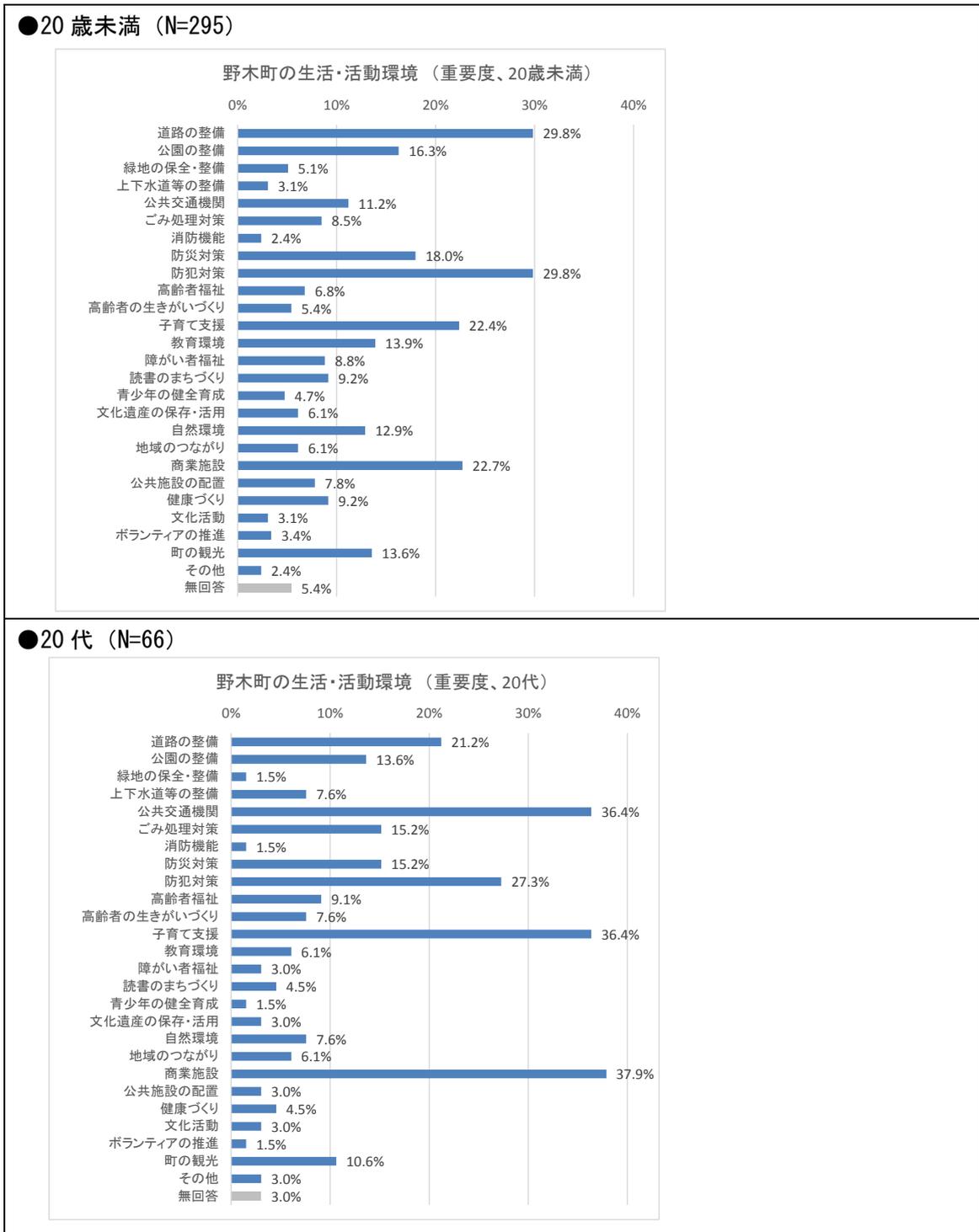
- ・野木町の生活・活動環境について、「防犯対策」の重要度が24.6%と最も多く、次いで「子育て支援」が23.5%となっている。



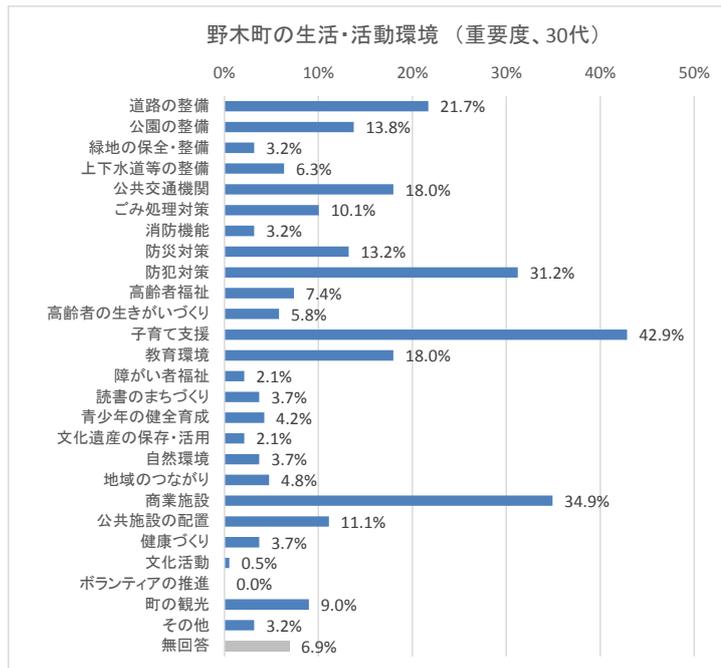
	回答比率	回答数
道路の整備	23.4%	323
公園の整備	10.6%	147
緑地の保全・整備	7.4%	102
上下水道等の整備	7.3%	101
公共交通機関	18.8%	260
ごみ処理対策	8.9%	123
消防機能	3.0%	42
防災対策	16.7%	231
防犯対策	24.6%	340
高齢者福祉	13.8%	191
高齢者の生きがいづくり	10.4%	143
子育て支援	23.5%	324
教育環境	11.1%	153
障がい者福祉	5.6%	78
読書のまちづくり	3.8%	53
青少年の健全育成	3.8%	52
文化遺産の保存・活用	3.2%	44
自然環境	8.4%	116
地域のつながり	7.3%	101
商業施設	22.0%	304
公共施設の配置	8.1%	112
健康づくり	8.4%	116
文化活動	1.8%	25
ボランティアの推進	1.9%	26
町の観光	8.4%	116
その他	2.3%	32
無回答	10.5%	145

<年齢別>

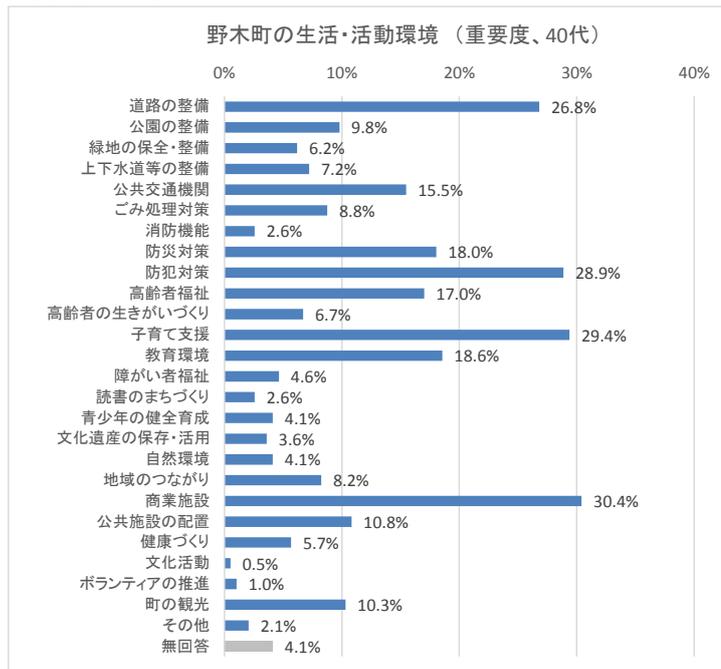
- ・子育て世代の30代を中心に「子育て支援」が40%以上と多く、40代以下において「防犯対策」が30%程度、20代から40代にかけて「商業施設」が30%以上と多くなっている。
- ・80代以上において「高齢者福祉」が20%以上と多くなっている。
- ・年少者の傾向を見ると、小学5年生が「防犯対策」、中学2年生が「商業施設」、「道路の整備」が多くなっている。



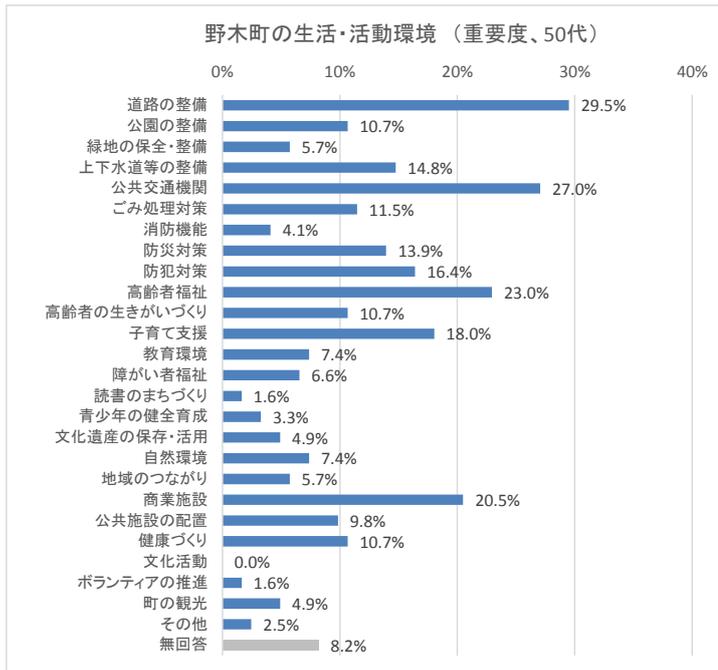
●30代 (N=189)



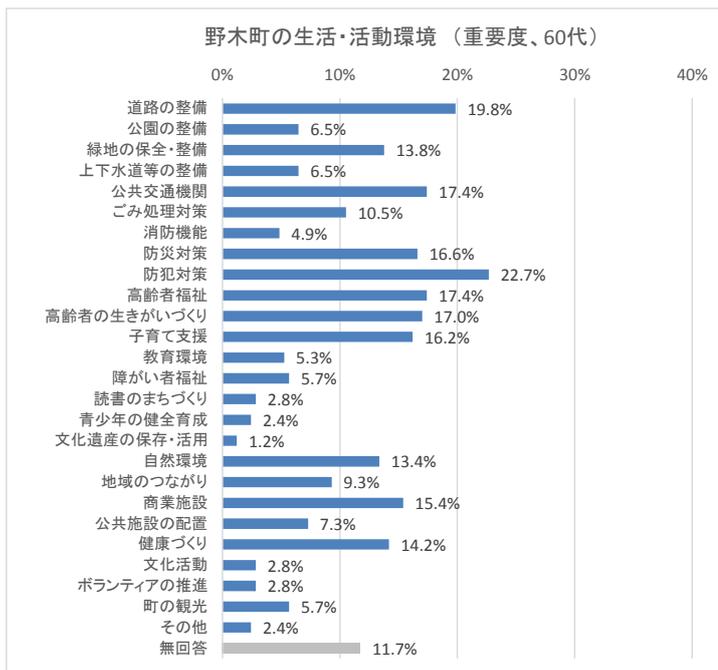
●40代 (N=194)



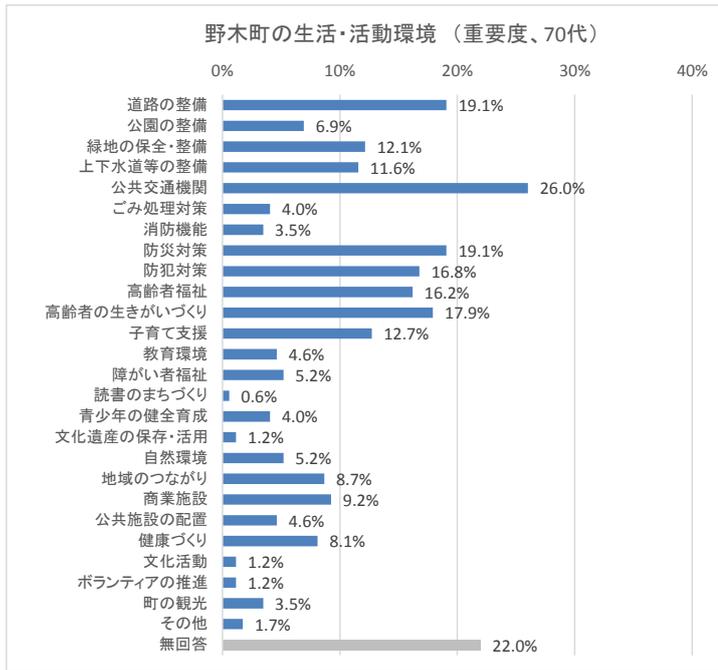
●50代 (N=122)



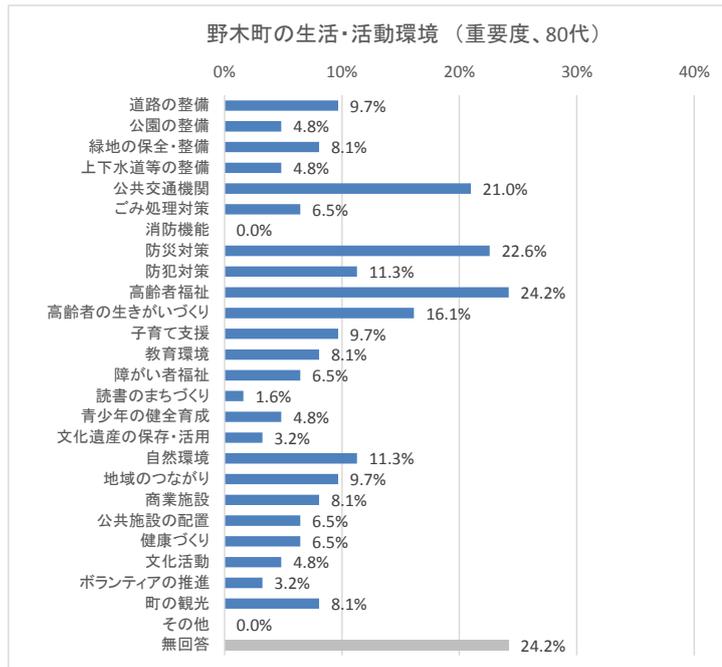
●60代 (N=247)



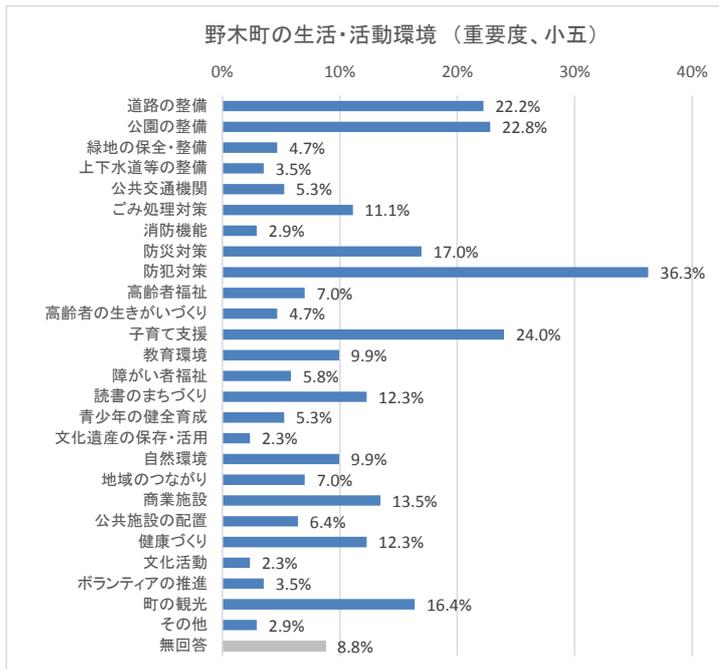
●70代 (N=173)



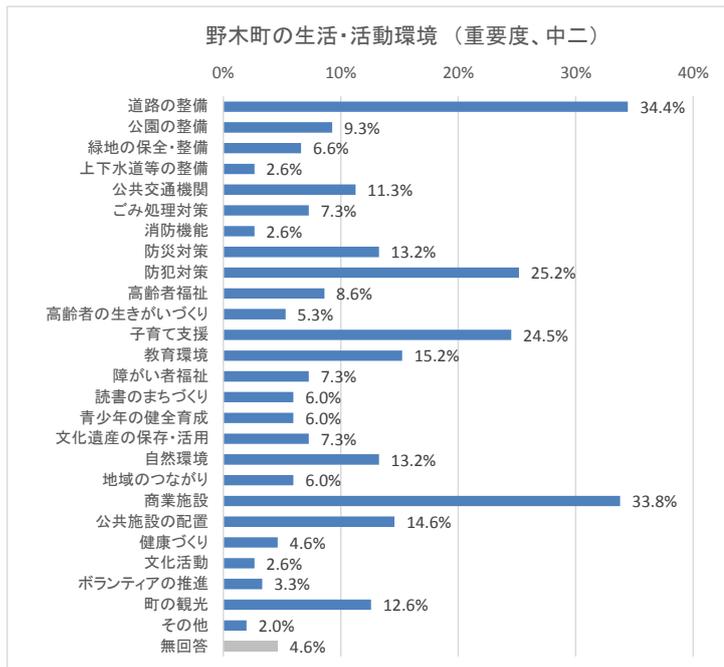
●80代以上 (N=62)



●【参考】小学五年生 (N=171)

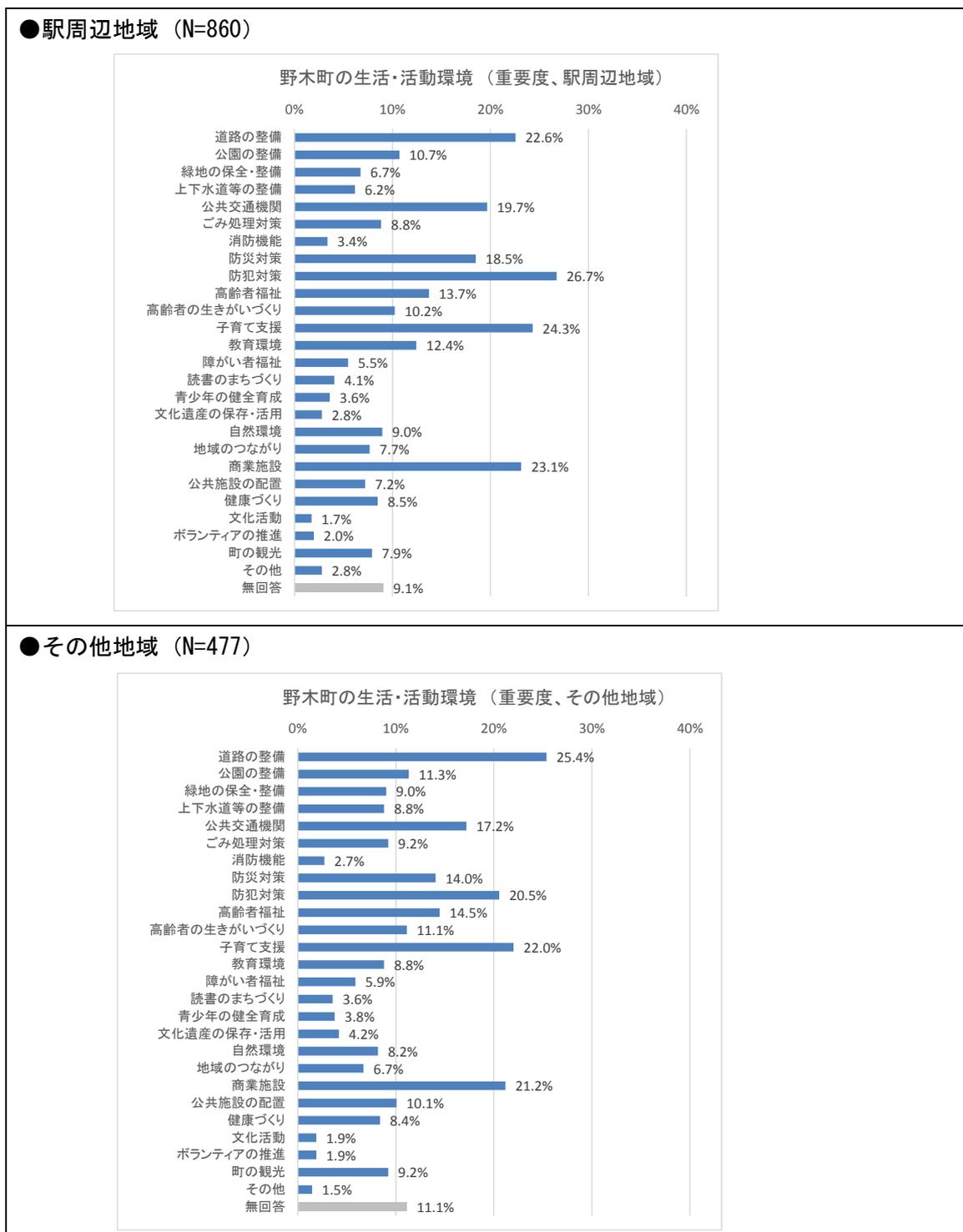


●【参考】中学二年生 (N=151)



<地域別>

- ・ 駅周辺地域では、「防災対策」、「防犯対策」の重要度が高い一方、その他地域では、「公共施設の配置」、「道路の整備」の重要度が高くなっている。

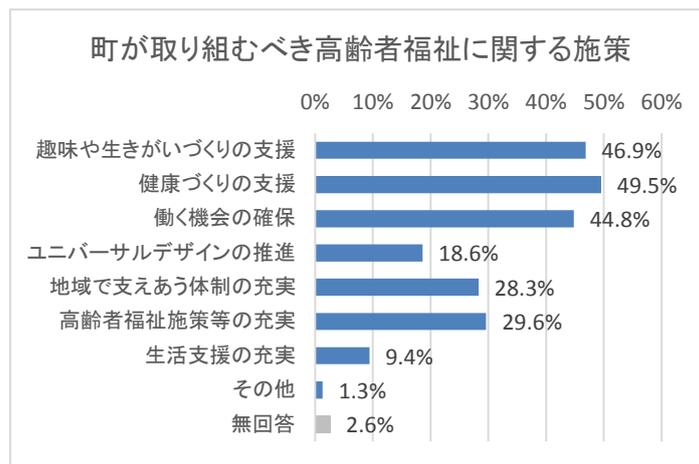


※友沼・松原・新橋・丸林東・丸林西の各地区を駅周辺地域、野木・野渡・南赤塚・中谷・潤島・若林・佐川野・川田の各地区をその他地域とした。

(3) 高齢者福祉について

【設問5】 今後、本町が取り組むべき高齢者福祉に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は3つまで）

- ・取り組むべき高齢者福祉に関する施策については、「健康づくりの支援」が49.5%と最も多く、次いで「趣味や生きがいがづくりの支援」が46.9%となっている。



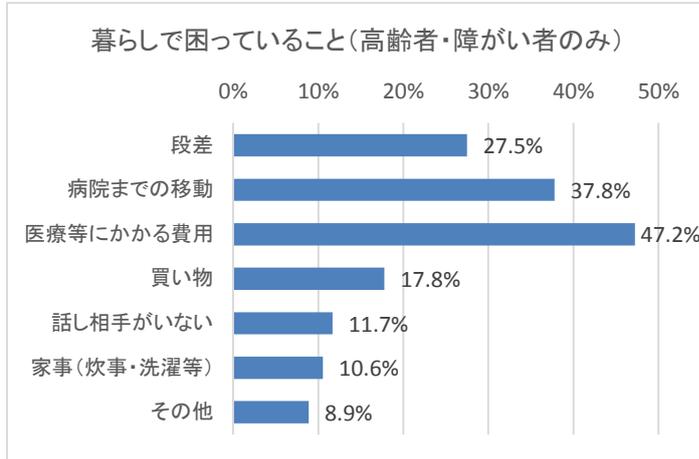
	回答比率	回答数
趣味や生きがいがづくりの支援	46.9%	647
健康づくりの支援	49.5%	684
働く機会の確保	44.8%	619
ユニバーサルデザインの推進	18.6%	257
地域で支えあう体制の充実	28.3%	391
高齢者福祉施策等の充実	29.6%	409
生活支援の充実	9.4%	130
その他	1.3%	18
無回答	2.6%	36

■その他の内容（主なもの）

交通手段の充実（10件）、買い物や家事の代行（4件）、金銭の給付（4件）

【設問6】高齢者や障がい者の方にお聞きします。毎日の暮らしのなかでどのようなことにお困りですか。次の該当する番号に○印を付けてください。(○は2つまで)

- ・高齢者や障がい者の方が毎日の暮らしで困っていることについては、「医療等にかかる費用」が47.2%と最も多く、次いで「病院までの移動」が37.8%となっている。



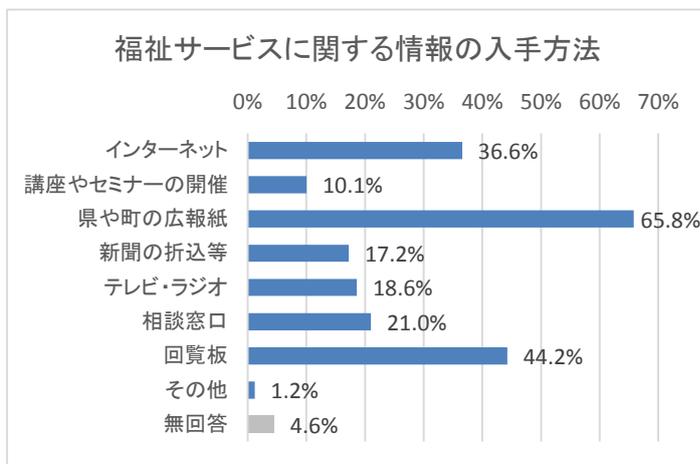
	回答比率	回答数
段差	27.5%	99
病院までの移動	37.8%	136
医療等にかかる費用	47.2%	170
買い物	17.8%	64
話し相手がない	11.7%	42
家事(炊事・洗濯等)	10.6%	38
その他	8.9%	32

■その他の内容(主なもの)

交通手段(5件)

【設問7】福祉サービスに関する情報等についてどのような方法により入手したいですか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- ・福祉サービスに関する情報の入手方法については、「県や町の広報紙」が65.8%と最も多く、次いで「回覧板」が44.2%となっている。



	回答比率	回答数
インターネット	36.6%	505
講座やセミナーの開催	10.1%	139
県や町の広報紙	65.8%	909
新聞の折込等	17.2%	238
テレビ・ラジオ	18.6%	257
相談窓口	21.0%	290
回覧板	44.2%	611
その他	1.2%	17
無回答	4.6%	63

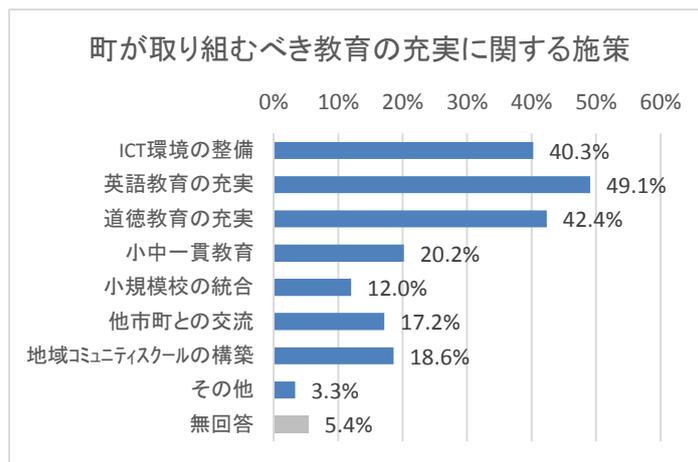
■その他の内容(主なもの)

スーパーや駅の掲示板(3件)、民生委員等の訪問(3件)

(4) 教育について

【設問8】 今後、本町が取り組むべき教育の充実に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は3つまで）

- ・町が取り組むべき教育の充実に関する施策については、「英語教育の充実」が49.1%と最も多く、次いで「道徳教育の充実」が42.4%となっている。



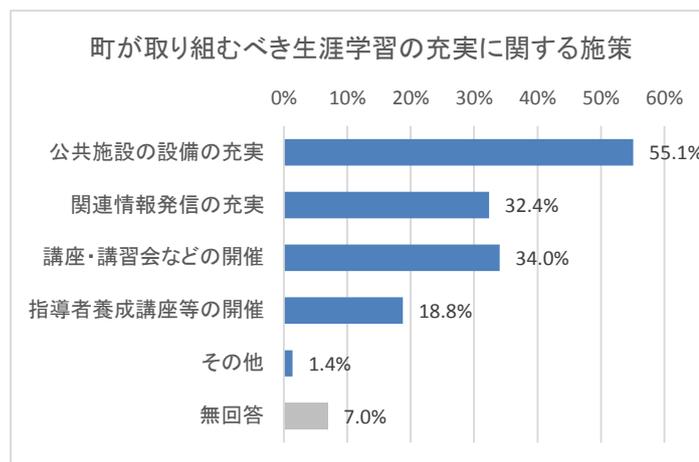
	回答比率	回答数
ICT環境の整備	40.3%	556
英語教育の充実	49.1%	678
道徳教育の充実	42.4%	585
小中一貫教育	20.2%	279
小規模校の統合	12.0%	166
他市町との交流	17.2%	237
地域コミュニティスクールの構築	18.6%	257
その他	3.3%	46
無回答	5.4%	75

■その他の内容（主なもの）

いじめ対策（2件）、教育者の質の向上（2件）、理科の充実（2件）、投資教育の充実（2件）、インターナショナルスクールの誘致（2件）

【設問9】 今後、本町が取り組むべき生涯学習の充実に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は2つまで）

- ・町が取り組むべき生涯学習の充実に関する施策については、「公共施設の設備の充実」が55.1%と最も多く、次いで「講座・講習会などの開催」が34.0%となっている。



	回答比率	回答数
公共施設の設備の充実	55.1%	761
関連情報発信の充実	32.4%	447
講座・講習会などの開催	34.0%	470
指導者養成講座等の開催	18.8%	259
その他	1.4%	19
無回答	7.0%	96

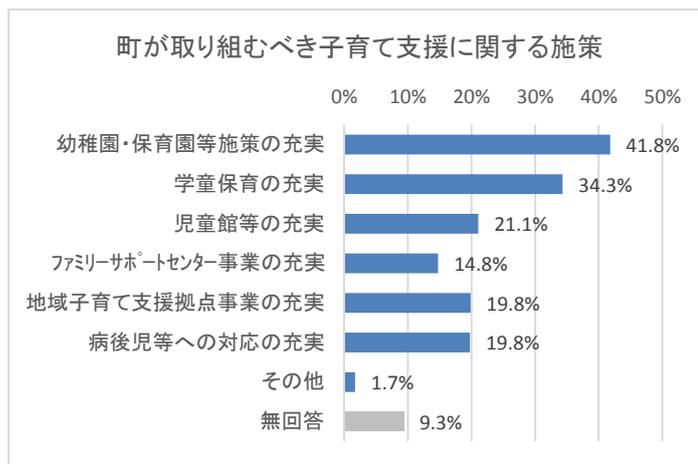
■その他の内容（主なもの）

生涯学習は不要（3件）、町民による自主講座開設への支援（2件）

(5) 子育て支援について

【設問10】 今後、本町が取り組むべき子育て支援に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は2つまで）

- ・町が取り組むべき子育て支援に関する施策については、「幼稚園・保育園等施策の充実」が41.8%と最も多く、次いで「学童保育の充実」が34.3%となっている。



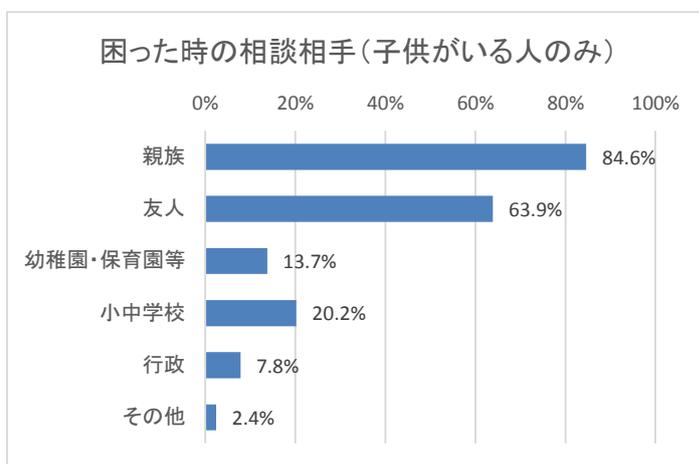
	回答比率	回答数
幼稚園・保育園等施策の充実	41.8%	577
学童保育の充実	34.3%	474
児童館等の充実	21.1%	291
ファミリーサポートセンター事業の充実	14.8%	204
地域子育て支援拠点事業の充実	19.8%	274
病後児等への対応の充実	19.8%	273
その他	1.7%	24
無回答	9.3%	129

■その他の内容（主なもの）

保育園等への補助（2件）、下校後の子ども支援（2件）、
子どもが少ない地域での子育て施設の統合、再利用（2件）

【設問 1 1】（現在お子様が中学 3 年生までの方）困った時の相談相手について、次の該当するもの全てに○印を付けてください。

- ・困った時の相談相手については、「親族」が 84.6%と最も多く、次いで「友人」が 63.9%となっている。



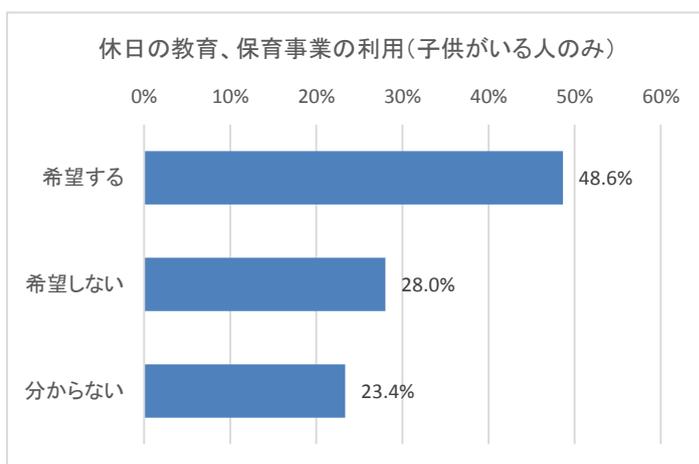
	回答比率	回答数
親族	84.6%	314
友人	63.9%	237
幼稚園・保育園等	13.7%	51
小中学校	20.2%	75
行政	7.8%	29
その他	2.4%	9

■その他の内容（主なもの）

職場の同僚（2件）

【設問 1 2】（現在お子様が中学 3 年生までの方）お子さんの長期休暇中や土曜・日曜の教育、保育事業の利用希望について、次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。

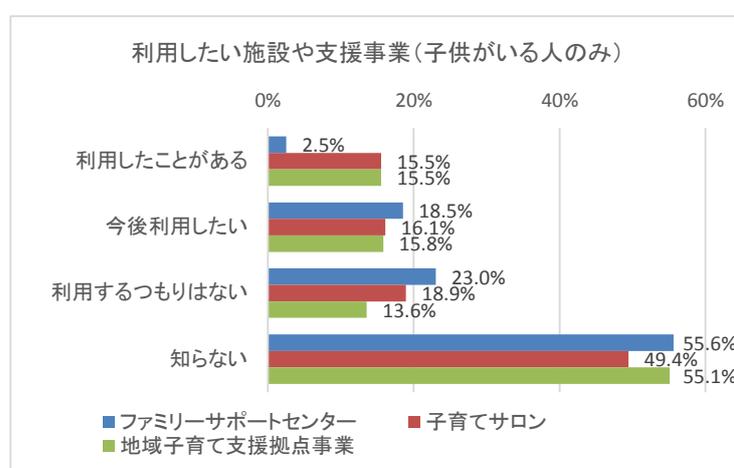
- ・お子さんの長期休暇中や土曜・日曜の教育、保育事業の利用希望については、「希望する」が 48.6%、「希望しない」が 28.0%となっている。



	回答比率	回答数
希望する	48.6%	177
希望しない	28.0%	102
分からない	23.4%	85

【設問 1 3】(現在お子様が中学3年生までの方) 利用したことがあるまたは利用したい施設や支援事業について、次の該当する番号それぞれ1つに○印を付けてください。

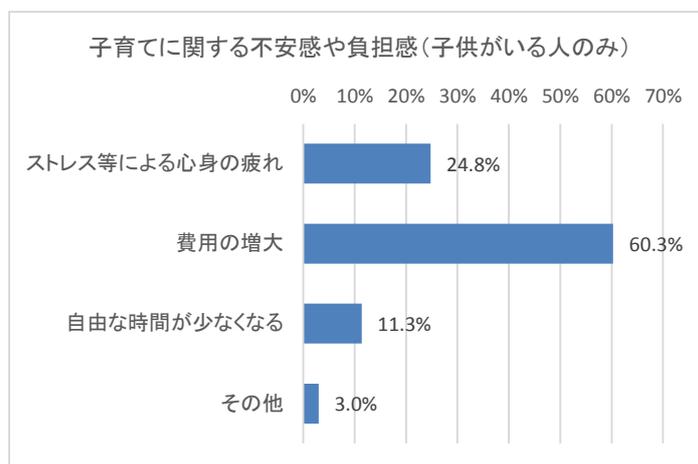
- ・子育て施設や支援事業の利用状況については、「ファミリーサポートセンター」が2.5%、「子育てサロン」、「地域子育て支援拠点事業」が15.5%となっている。また、今後利用したいとの回答は、「ファミリーサポートセンター」が18.5%、「子育てサロン」が16.1%、「地域子育て支援拠点事業」が15.8%となっている一方、利用するつもりはないとの回答も同数程度みられる。
- ・認知状況については3つとも、知らないが半数程度に達している。



	回答比率			回答数		
	ファミリーサポートセンター	子育てサロン	地域子育て支援拠点事業	ファミリーサポートセンター	子育てサロン	地域子育て支援拠点事業
利用したことがある	2.5%	15.5%	15.5%	9	55	55
今後利用したい	18.5%	16.1%	15.8%	66	57	56
利用するつもりはない	23.0%	18.9%	13.6%	82	67	48
知らない	55.6%	49.4%	55.1%	198	175	195

【設問 1 4】(現在お子様が中学 3 年生までの方) 子育てに関する不安感や負担感について、次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。

- ・子育てに関する不安感や負担感については、「費用の増大」が 60.3%と最も多く、次いで「ストレス等による心身の疲れ」が 24.8%となっている。



	回答比率	回答数
ストレス等による心身の疲れ	24.8%	83
費用の増大	60.3%	202
自由な時間が少なくなる	11.3%	38
その他	3.0%	10

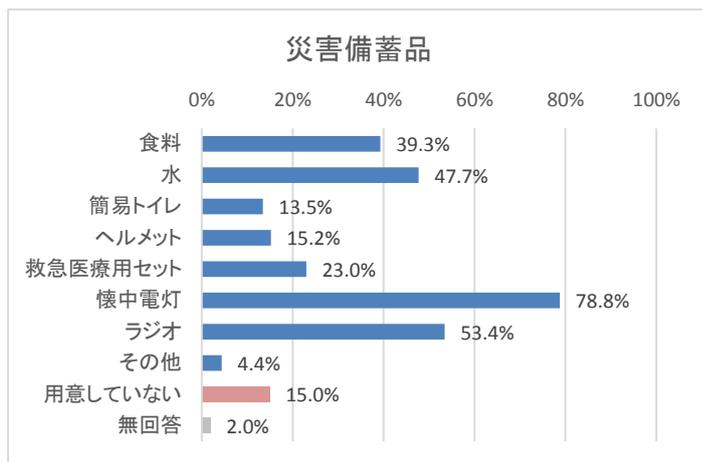
■その他の内容(主なもの)

特になし(2件)

(6) 防災について

【設問 15】 現在お住まいの住居で用意している災害備蓄品について該当するもの全てに○を付けてください。

- ・災害備蓄品については、「懐中電灯」が 78.8%と最も多く、次いで「ラジオ」が 53.4%、「水」が 47.7%、「食料」が 39.3%となっている。一方で、「用意していない」が 15.0%となっている。



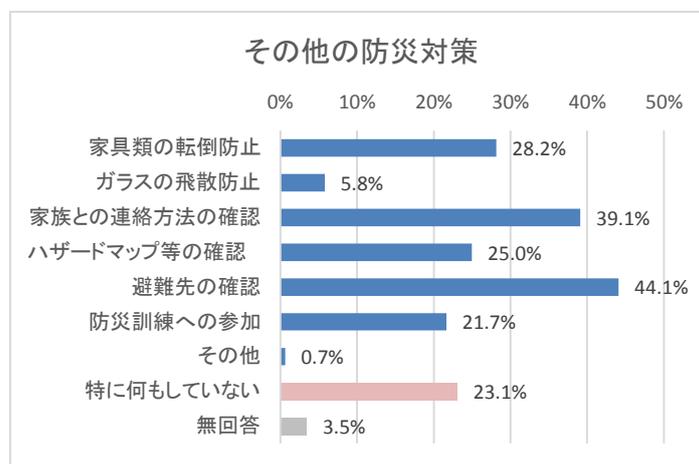
	回答比率	回答数
食料	39.3%	543
水	47.7%	659
簡易トイレ	13.5%	186
ヘルメット	15.2%	210
救急医療用セット	23.0%	318
懐中電灯	78.8%	1088
ラジオ	53.4%	738
その他	4.4%	61
用意していない	15.0%	207
無回答	2.0%	27

■その他の内容（主なもの）

衣類（8件）、防寒着（5件）、カセットコンロ（4件）、ブルーシート（3件）

【設問 16】 その他の防災対策について、あてはまるもの全てに○を付けてください。

- その他の防災対策については、「避難先の確認」が 44.1%と最も多く、次いで「家族との連絡方法の確認」が 39.1%、「家具類の転倒防止」が 28.2%となっている。一方で、「特に何もしていない」が 23.1%となっている。



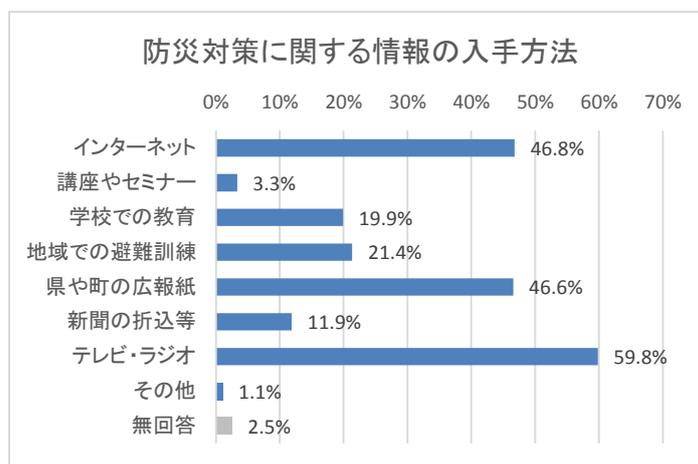
	回答比率	回答数
家具類の転倒防止	28.2%	389
ガラスの飛散防止	5.8%	80
家族との連絡方法の確認	39.1%	540
ハザードマップ等の確認	25.0%	345
避難先の確認	44.1%	609
防災訓練への参加	21.7%	299
その他	0.7%	9
特に何もしていない	23.1%	319
無回答	3.5%	48

■その他の内容（主なもの）

耐震補強（2件）

【設問 17】防災対策に関する知識等についてどのような方法により情報を入手しますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- ・防災対策に関する入手方法については、「テレビ・ラジオ」が 59.8%と最も多く、次いで「インターネット」が 46.8%、「県や町の広報紙」が 46.6%となっている。



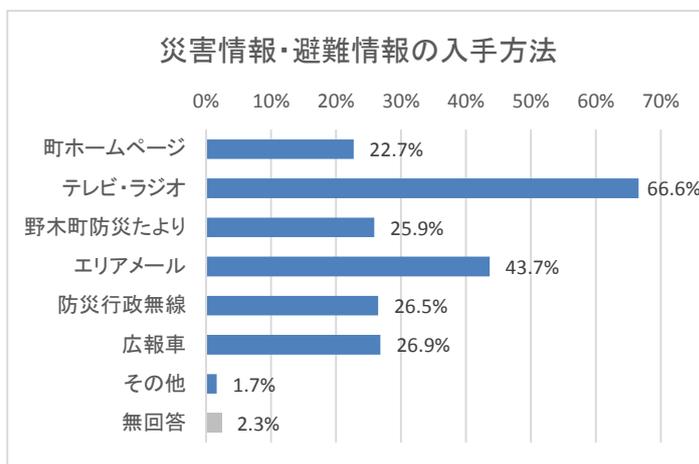
	回答比率	回答数
インターネット	46.8%	646
講座やセミナー	3.3%	46
学校での教育	19.9%	275
地域での避難訓練	21.4%	295
県や町の広報紙	46.6%	643
新聞の折込等	11.9%	164
テレビ・ラジオ	59.8%	826
その他	1.1%	15
無回答	2.5%	35

■その他の内容（主なもの）

会社（6件）、友人（3件）、本（3件）

【設問 18】 災害情報・避難情報についてどのような方法により情報を入手しますか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

- ・災害情報・避難情報に関する入手方法については、「テレビ・ラジオ」が 66.6%と最も多く、次いで「エリアメール」が 43.7%となっている。



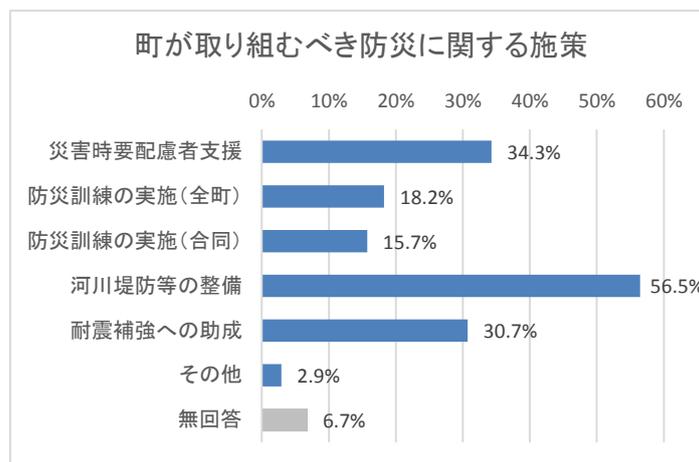
	回答比率	回答数
町ホームページ	22.7%	314
テレビ・ラジオ	66.6%	920
野木町防災たより	25.9%	358
エリアメール	43.7%	603
防災行政無線	26.5%	366
広報車	26.9%	371
その他	1.7%	23
無回答	2.3%	32

■その他の内容（主なもの）

インターネット（5件）、SNS（2件）

【設問 19】 今後、本町が取り組むべき防災に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は2つまで）

- ・町が取り組むべき防災に関する施策については、「河川堤防等の整備」が 56.5%と最も多く、次いで「災害時要配慮者支援」が 34.3%となっている。



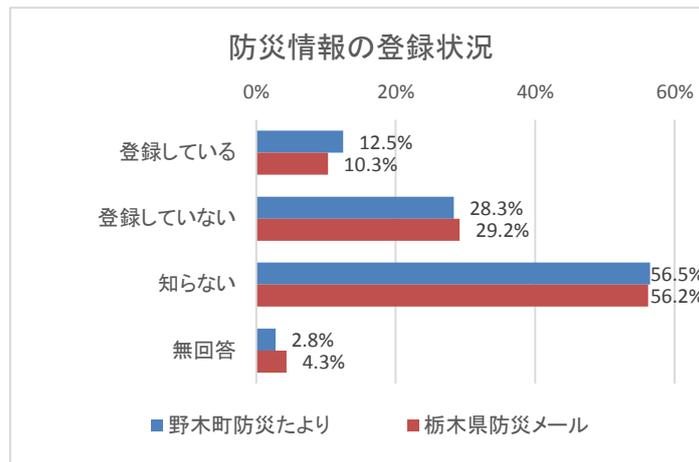
	回答比率	回答数
災害時要配慮者支援	34.3%	473
防災訓練の実施(全町)	18.2%	252
防災訓練の実施(合同)	15.7%	217
河川堤防等の整備	56.5%	780
耐震補強への助成	30.7%	424
その他	2.9%	40
無回答	6.7%	93

■その他の内容（主なもの）

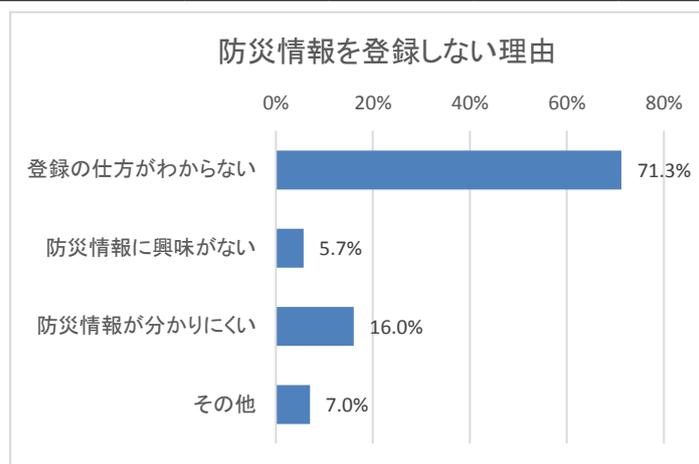
聞き取りやすい防災行政無線（8件）、インターネット等での情報発信（5件）

【設問 20】 防災情報の登録状況について、次の該当する番号それぞれ 1 つに○印を付けてください。

- ・ 防災情報の登録状況については、「野木町防災だより」が 12.5%、「栃木県防災メール」が 10.3%となっている。一方で、知らないとの回答は、「野木町防災だより」、「栃木県防災メール」とも半数以上となっている。防災情報を登録しない理由については、「登録の仕方がわからない」が 71.3%と最も多い。



	回答比率		回答数	
	野木町防災だより	栃木県防災メール	野木町防災だより	栃木県防災メール
登録している	12.5%	10.3%	172	142
登録していない	28.3%	29.2%	391	403
知らない	56.5%	56.2%	780	776
無回答	2.8%	4.3%	38	60
合計	100.0%	100.0%	1381	1381



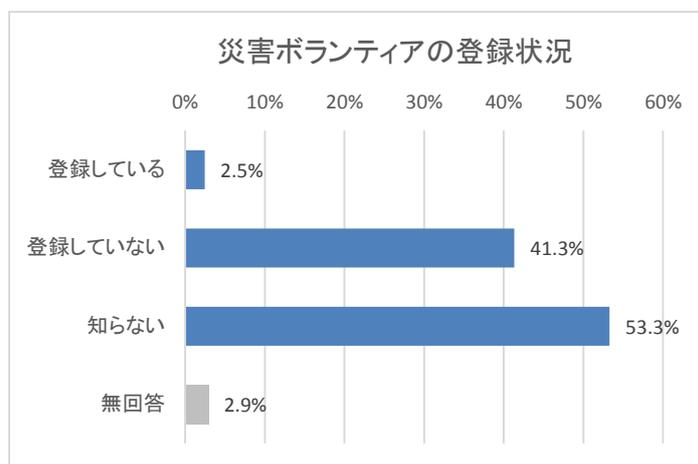
	回答比率	回答数
登録の仕方がわからない	71.3%	600
防災情報に興味がない	5.7%	48
防災情報が分かりにくい	16.0%	135
その他	7.0%	59

■その他の内容（主なもの）

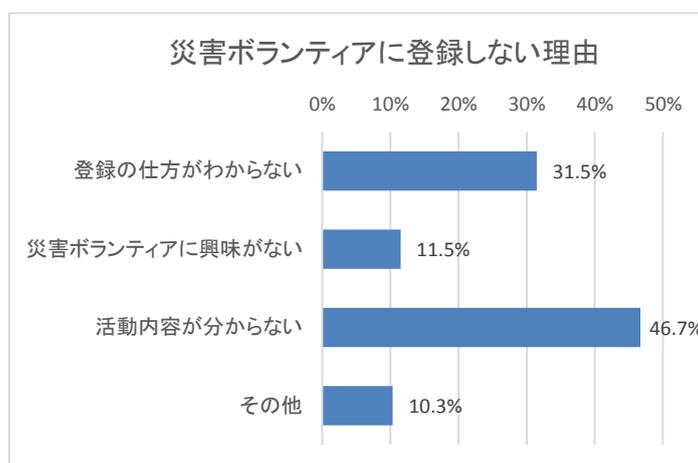
知らなかったから（27件）、他から情報を得られるから（9件）

【設問 2 1】災害ボランティアの登録について、次の該当する番号それぞれ 1 つに○印を付けてください。

- ・災害ボランティアの登録状況については、「登録している」が 2.5%、「登録していない」が 41.3%、「知らない」が 53.3%となっている。災害ボランティアに登録しない理由については、「活動内容がわからない」が 46.7%と最も多い。



	回答比率	回答数
登録している	2.5%	34
登録していない	41.3%	571
知らない	53.3%	736
無回答	2.9%	40
合計	100.0%	1381



	回答比率	回答数
登録の仕方がわからない	31.5%	274
災害ボランティアに興味がない	11.5%	100
活動内容がわからない	46.7%	406
その他	10.3%	90

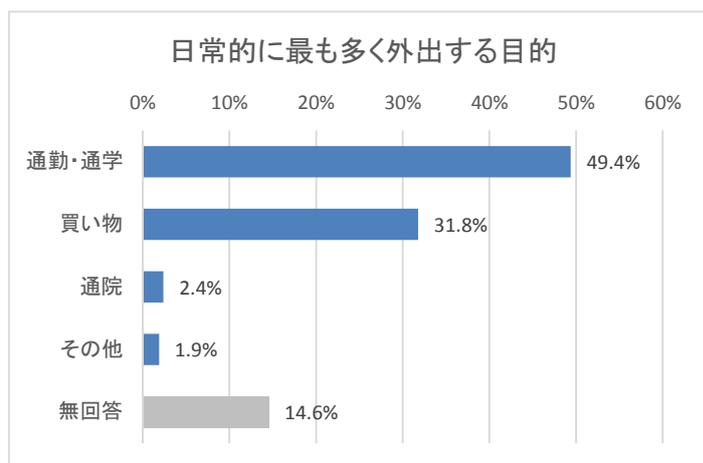
■その他の内容（主なもの）

高齢のため（17件）、多忙のため（6件）、親の介護等のため（3件）、子どもがいるため（3件）

(7) 公共交通について

【設問 2 2】 日常的に最も多く外出する目的はなんですか。次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。また、その時の移動手段について、該当する番号全てに○印を付けてください。

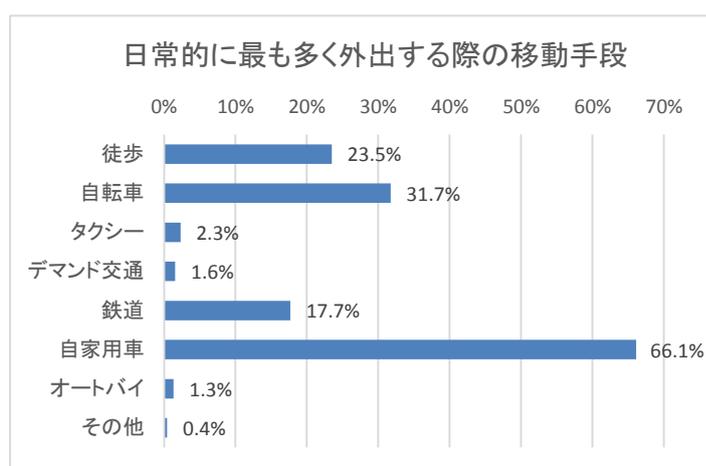
- ・ 日常的に最も多く外出する目的については、「通勤・通学」が 49.9%と最も多く、次いで「買い物」が 31.8%となっている。その際の移動手段については、「自家用車」が 66.1%と最も多く、次いで「自転車」が 31.7%となっている。



	回答比率	回答数
通勤・通学	49.4%	682
買い物	31.8%	439
通院	2.4%	33
その他	1.9%	26
無回答	14.6%	201
合計	100.0%	1381

■その他の内容 (主なもの)

趣味・遊び (3件)、子どもの送迎 (2件)



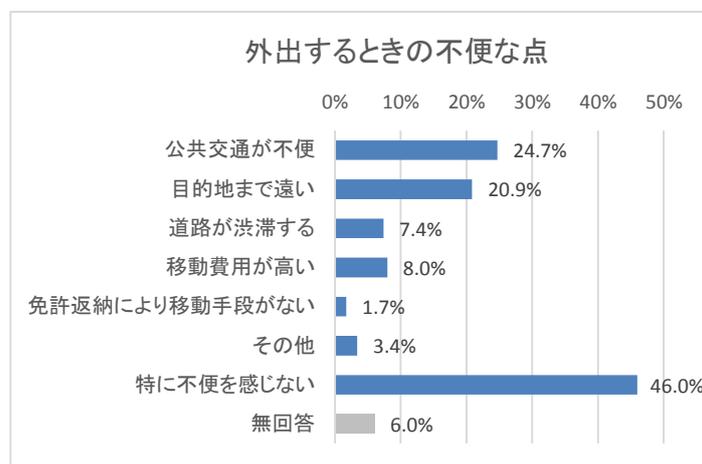
	回答比率	回答数
徒歩	23.5%	316
自転車	31.7%	427
タクシー	2.3%	31
デマンド交通	1.6%	21
鉄道	17.7%	238
自家用車	66.1%	890
オートバイ	1.3%	18
その他	0.4%	6

■その他の内容 (主なもの)

家族の車 (3件)、バス (2件)

【設問23】外出するときどのようなことで不便を感じますか。次の該当する番号に○印を付けてください。(○は2つまで)

- ・外出するときの不便な点については、「特に不便を感じない」が46.0%と最も多い一方、「公共交通が不便」が24.7%、「目的地まで遠い」が20.9%となっている。



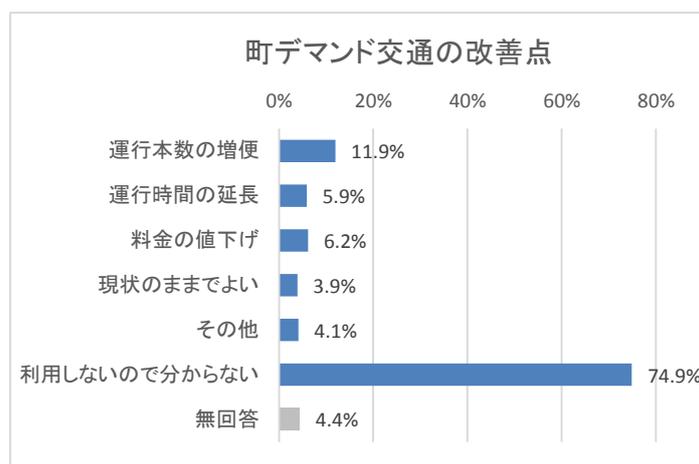
	回答比率	回答数
公共交通が不便	24.7%	341
目的地まで遠い	20.9%	288
道路が渋滞する	7.4%	102
移動費用が高い	8.0%	110
免許返納により移動手段がない	1.7%	24
その他	3.4%	47
特に不便を感じない	46.0%	635
無回答	6.0%	83

■その他の内容（主なもの）

国道4号まで出にくい（2件）、電車が遅れる（2件）、踏切が危険（2件）、歩道がない・狭い（2件）、タクシーがない（2件）

【設問24】町デマンド交通「キラ輪号」で改善してもらいたい点について、次の該当する番号に○印を付けてください。（○は2つまで）

- 町デマンド交通の改善点については、「利用しないので分からない」が74.9%と最も多い一方、「運行本数の増便」が11.9%、「料金の値下げ」が6.2%、「運行時間の延長」が5.9%となっている。



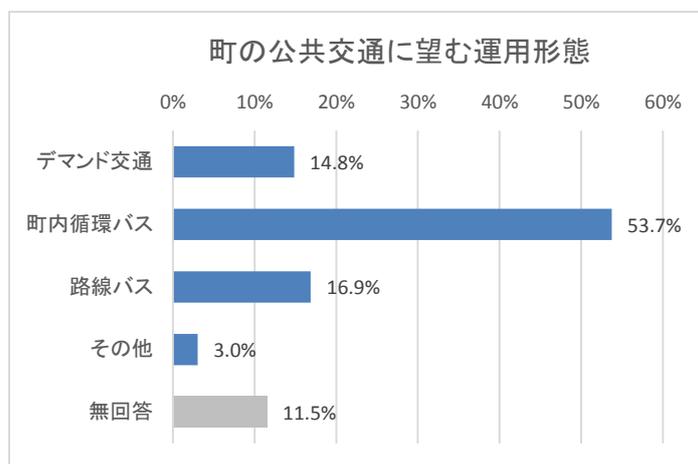
	回答比率	回答数
運行本数の増便	11.9%	165
運行時間の延長	5.9%	81
料金の値下げ	6.2%	85
現状のままでよい	3.9%	54
その他	4.1%	57
利用しないので分からない	74.9%	1034
無回答	4.4%	61

■その他の内容（主なもの）

古河市など運行範囲の拡大（6件）、土日の運行（5件）、当日予約（2件）、定時運行（2件）、運転が荒い（2件）

【設問 2 5】 今後、町の公共交通に望む運用形態について、次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。

- ・町の公共交通に望む運用形態については、「町内循環バス」が 53.7%と最も多く、次いで「路線バス」が 16.9%、「デマンド交通」が 14.8%となっている。



	回答比率	回答数
デマンド交通	14.8%	205
町内循環バス	53.7%	742
路線バス	16.9%	233
その他	3.0%	42
無回答	11.5%	159
合計	100.0%	1381

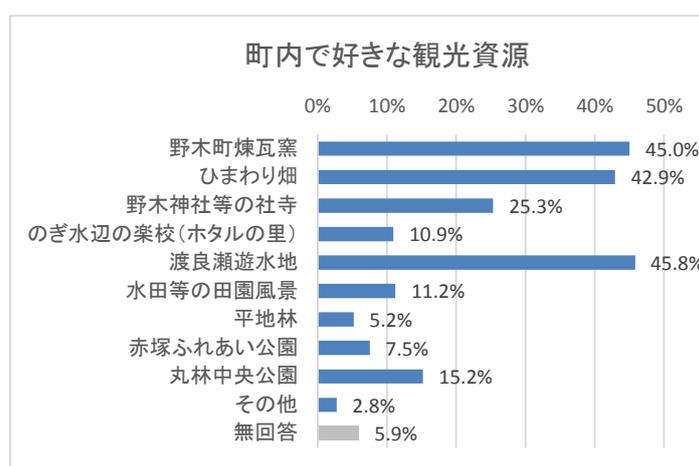
■その他の内容（主なもの）

必要なし（8件）、古河市など町外にも行けるバス（6件）

(8) 観光について

【設問26】町内で好きな観光資源について、次の該当する番号に○印を付けてください。(○は3つまで)

- ・町内で好きな観光資源については、「渡良瀬遊水地」が45.8%と最も多く、次いで「野木町煉瓦窯」が45.0%、「ひまわり畑」が42.9%となっている。



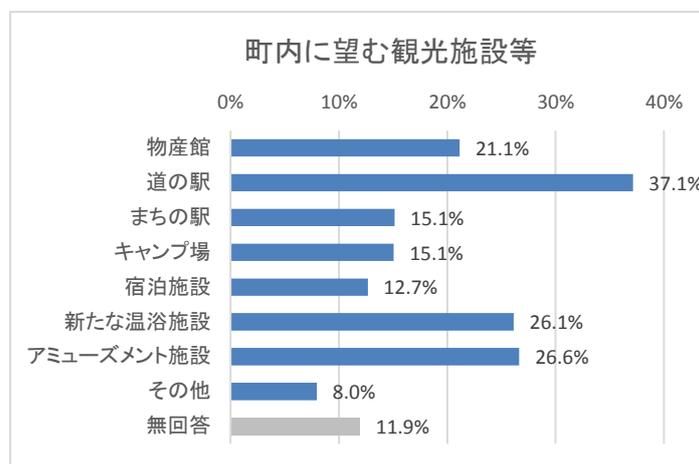
	回答比率	回答数
野木町煉瓦窯	45.0%	622
ひまわり畑	42.9%	593
野木神社等の社寺	25.3%	350
のぎ水辺の楽校(ホタルの里)	10.9%	151
渡良瀬遊水地	45.8%	633
水田等の田園風景	11.2%	155
平地林	5.2%	72
赤塚ふれあい公園	7.5%	104
丸林中央公園	15.2%	210
その他	2.8%	38
無回答	5.9%	82

■その他の内容（主なもの）

特になし（18件）、野木総合運動公園（3件）、エニスホール（2件）

【設問 27】 町内に望む観光施設等について、次の該当する番号に○印を付けてください。(○は3つまで)

- ・町内に望む観光施設等については、「道の駅」が37.1%と最も多く、次いで「アミューズメント施設」が26.6%、「新たな温浴施設」が26.1%となっている。



	回答比率	回答数
物産館	21.1%	292
道の駅	37.1%	513
まちの駅	15.1%	209
キャンプ場	15.1%	208
宿泊施設	12.7%	175
新たな温浴施設	26.1%	361
アミューズメント施設	26.6%	368
その他	8.0%	110
無回答	11.9%	165

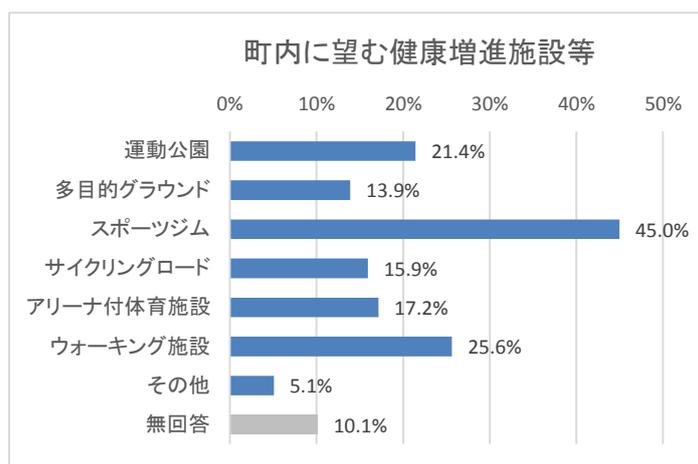
■その他の内容（主なもの）

必要ない（7件）、ショッピングモール（3件）、スポーツ施設（3件）、今ある施設の充実（2件）

(9) 健康づくりについて

【設問28】 町内に望む健康増進施設等について、次の該当する番号に○印を付けてください。(○は2つまで)

- ・町内に望む健康増進施設等については、「スポーツジム」が45.0%と最も多く、次いで「ウォーキング施設」が25.6%、「運動公園」が21.4%となっている。



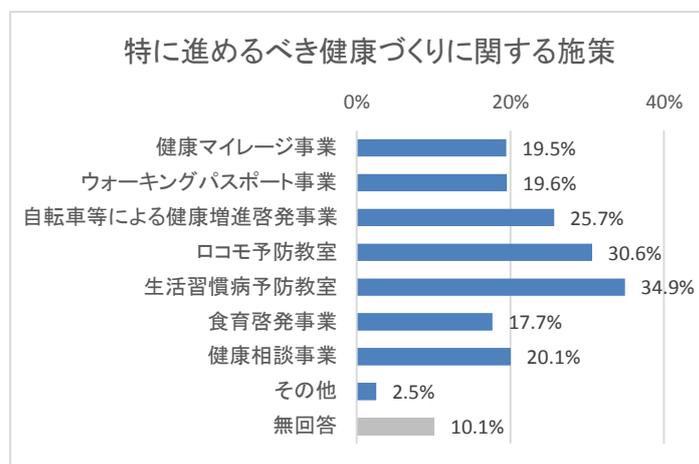
	回答比率	回答数
運動公園	21.4%	296
多目的グラウンド	13.9%	192
スポーツジム	45.0%	621
サイクリングロード	15.9%	220
アリーナ付体育施設	17.2%	237
ウォーキング施設	25.6%	354
その他	5.1%	70
無回答	10.1%	140

■その他の内容（主なもの）

プール（3件）、犬も利用できる公園（2件）

【設問29】健康づくりに関する施策について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。(〇は3つまで)

・特に進めるべき健康づくりに関する施策については、「生活習慣病予防教室」が34.9%と最も多く、次いで「ロコモ予防教室」が30.6%となっている。



	回答比率	回答数
健康マイレージ事業	19.5%	269
ウォーキングパスポート事業	19.6%	270
自転車等による健康増進啓発事業	25.7%	355
ロコモ予防教室	30.6%	423
生活習慣病予防教室	34.9%	482
食育啓発事業	17.7%	244
健康相談事業	20.1%	277
その他	2.5%	35
無回答	10.1%	140

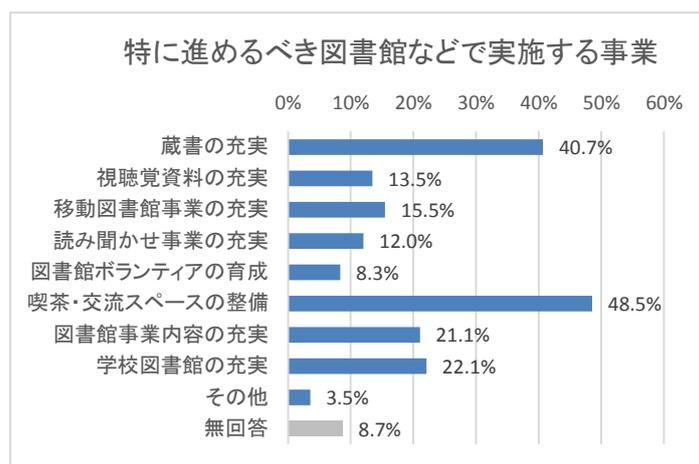
■その他の内容（主なもの）

スポーツジム（4件）

(10) 読書のまちづくりについて

【設問30】読書のまちづくり事業の一環として図書館などで実施する事業について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。(〇は3つまで)

- ・特に進めるべき図書館などで実施する事業については、「喫茶・交流スペースの整備」が48.5%と最も多く、次いで「蔵書の充実」が40.7%となっている。



	回答比率	回答数
蔵書の充実	40.7%	562
視聴覚資料の充実	13.5%	186
移動図書館事業の充実	15.5%	214
読み聞かせ事業の充実	12.0%	166
図書館ボランティアの育成	8.3%	115
喫茶・交流スペースの整備	48.5%	670
図書館事業内容の充実	21.1%	291
学校図書館の充実	22.1%	305
その他	3.5%	49
無回答	8.7%	120

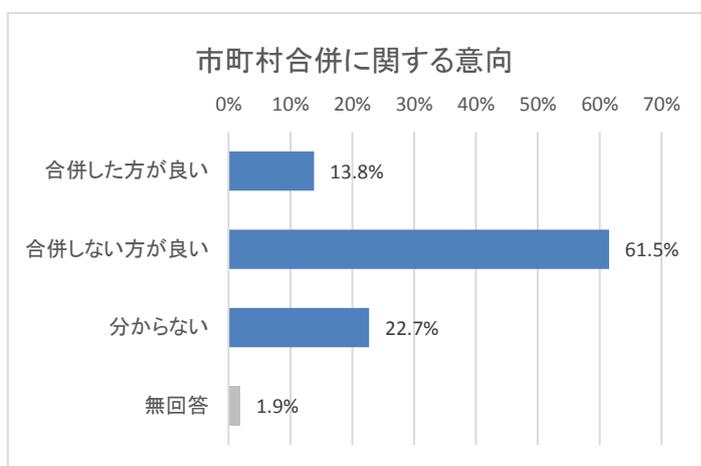
■その他の内容（主なもの）

学習スペースの充実（3件）

(11) 市町村合併について

【設問31】市町村合併についておたずねします。あなたは野木町と他の市町村との合併について、今後どのようにすることが良いと思いますか。次の該当する番号1つに○印を付けてください。

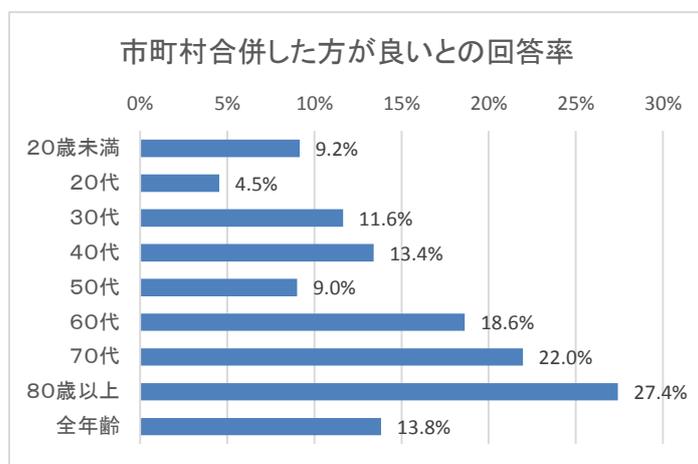
- ・市町村合併については、「合併しない方が良い」が61.5%と最も多く、次いで「合併した方が良い」が13.8%となっている。
- ・「合併しない方が良い」との回答率は、前回調査（平成26年）が55.9%、前々回調査（平成24年）が47.7%となっており、増加傾向となっている。
- ・「合併した方が良い」との回答率は、前回調査（平成26年）が21.7%、前々回調査（平成24年）が27.8%となっており、減少傾向となっており、過去5年間で半減している。



	回答比率	回答数
合併した方が良い	13.8%	191
合併しない方が良い	61.5%	850
分からない	22.7%	314
無回答	1.9%	26
合計	100.0%	1381

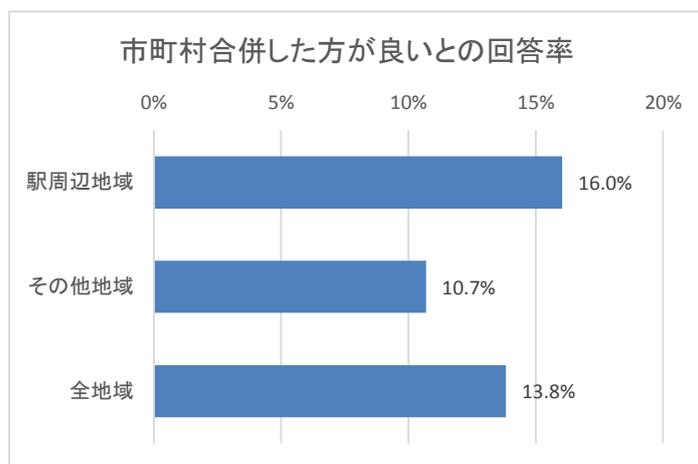
<年齢別>

- ・市町村合併した方が良いと回答した人の割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向となっている。



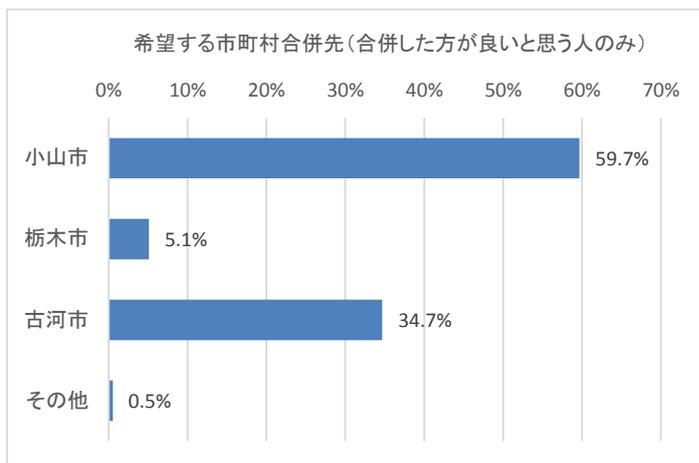
<地域別>

- ・市町村合併した方が良いと回答した人の割合は、駅周辺地域が16.0%と、その他地域の10.7%よりも高くなっている。



【設問 3 2】（設問 3 1 で①（合併した方が良い）を選択した方にお聞きします）市町村合併について、野木町がどの市町と合併することが望ましいと思いますか。次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。

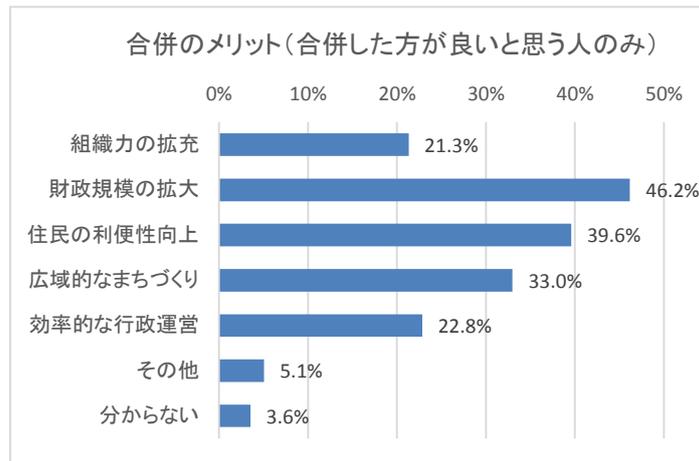
- ・合併先については、「小山市」が 59.7%と最も多く、次いで「古河市」が 34.7%となっている。
- ・「小山市」との回答率（「合併した方が良い」の回答者数に占める割合）は、前回調査（平成 26 年）が 61.8%、前々回調査（平成 24 年）が 52.2%となっており、「合併した方が良い」と考える人の過半を維持している。
- ・「古河市」との回答率（「合併した方が良い」の回答者数に占める割合）は、前回調査（平成 26 年）が 35.9%、前々回調査（平成 24 年）が 35.3%となっており、横ばいの傾向である。



	回答比率	回答数
小山市	59.7%	117
栃木市	5.1%	10
古河市	34.7%	68
その他	0.5%	1

【設問33】（設問31で①（合併した方が良い）を選択した方にお聞きします）市町村合併については、一般的に次のようなメリット・効果があると考えられています。あなたのお考えに近いものに○印を付けてください。（○は2つまで）。

- ・合併のメリットについては、「財政規模の拡大」が46.2%と最も多く、次いで「住民の利便性向上」が39.6%となっている。



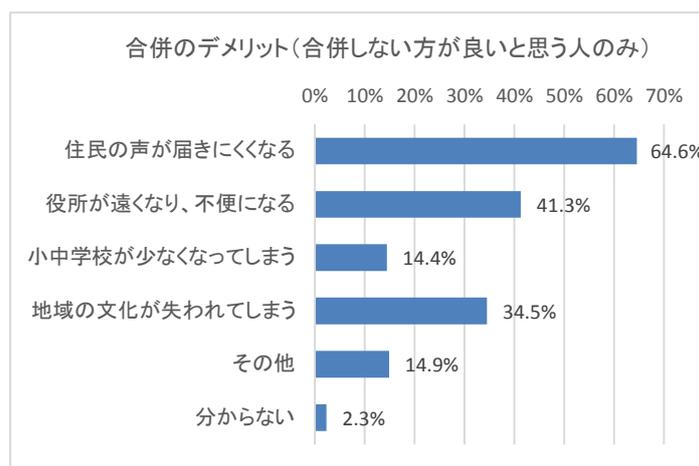
	回答比率	回答数
組織力の拡充	21.3%	42
財政規模の拡大	46.2%	91
住民の利便性向上	39.6%	78
広域的なまちづくり	33.0%	65
効率的な行政運営	22.8%	45
その他	5.1%	10
分からない	3.6%	7

■その他の内容（主なもの）

子育て支援の充実（2件）

【設問3 4】（設問3 1で②（合併しない方が良い）を選択した方にお聞きします）市町村合併については、一般的に次のようなデメリット・悪影響があると考えられています。あなたのお考えに近いものに○印を付けてください。（○は2つまで）。

- ・合併のデメリットについては、「住民の声が届きにくくなる」が64.6%と最も多く、次いで「役所が遠くなり、不便になる」が41.3%となっている。



	回答比率	回答数
住民の声が届きにくくなる	64.6%	550
役所が遠くなり、不便になる	41.3%	352
小中学校が少なくなってしまう	14.4%	123
地域の文化が失われてしまう	34.5%	294
その他	14.9%	127
分からない	2.3%	20

■その他の内容（主なもの）

今のままで問題がない（5件）、野木に愛着がある（4件）、市の中心部にばかり財政支出が集中してしまう（4件）

(12) 自由意見

【自由意見】今後のまちづくり等に関するご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

●商業施設等の誘致

- ・レストラン、カフェを増やしてほしい。(10件)
- ・他の市町へ行かなくても用が足りるように商業施設を拡充してもらいたい。(8件)
- ・大型商業施設があるとよい。(4件)
- ・若者の呼び込みのため、娯楽施設を増やしてほしい。(3件)
- ・商業施設が分散しているが、それを一か所に集められないか。(2件)
- ・近い距離にコンビニ、薬局、ガソリンスタンドがあり、便利ではあるが人口に対して多すぎる気がする。(2件)

●観光の活性化

- ・イベントやお祭りを増やしてほしい。(2件)
- ・野木町で農産物や名産品の販売、PRをしてほしい。(2件)
- ・煉瓦窯を渡良瀬遊水地と水辺の楽校等を統合整備し、外部から観光誘致してはどうか。(2件)
- ・観光も企業見学など協力してもらってもよいのではないか。
- ・駅前のイルミネーション以外で何か季節ごとの飾りつけがあると楽しみが増えると思う。
- ・駅前のイルミネーションの規模を大きくして人をもっと呼べるようにすればよいのではないか。
- ・遊園地、水族館を作してほしい。
- ・夏はひまわりフェスティバルで来ている人が多いが、その他の季節は活気がない。メロディー道路にするなどして夏以外でも観光目的で通る車が増やせないか。
- ・町のお祭りなどのイベントが多いので、集約、大規模化して大きな効果が出るよう内容を精査したほうがよいのではないか。
- ・ボランティアは町が中心になっているのをサポートする形が本来の形だと思う。ボランティアに頼りすぎていると思う。もっと職員の方たちが情熱をもってまちづくりをしてほしい。
- ・エニスホールをもっと活用すると良いと思う。
- ・町内には犬を飼っている人が多いので町活性化に生かせないか。
- ・歴史博物館を作って土器を展示してほしい。
- ・地場の蕎麦を使った「そば祭り」で野木町を県内外へPRしてはどうか。
- ・観光コースをつくってはどうか。
- ・煉瓦窯の所にもう少しお店を増やして休日への風土づくりに力を入れると町の活性化につながるのではないか。イベントでピザ作りは現在も行っているが、バーベキューの施設も増やしてもらおうと子供や家族など楽しめると思う。
- ・例えば「ひまわり型」の太陽光パネルをJR宇都宮線電車内から見えるような場所に設置しひまわりフェスティバルの認知を高めるなどもっとPRしてはどうか。

●運動施設

- ・健康増進につながるプール施設やスポーツジムなど建設してもらいたい。(8件)
- ・運動施設の予約をインターネットで取れるようにしてほしい。(2件)
- ・運動施設の当日利用申し込みができるようにしてほしい。
- ・遊歩道を作ってほしい。
- ・野木中学校室内プールを一般開放してほしい。

●企業の誘致

- ・企業を誘致して「安心して働ける町」にしてほしい。(2件)
- ・子供が保育園等に行っている間に主婦がパートで働けるようなところが増えると嬉しい。

●定住の促進

- ・空き家バンク等を使って、若い人たちでも手に入るような条件で土地を格安に提供するような町内事業を展開してもらいたい。

●公園の整備

- ・昔からある公園は遊具も古くなっているので、点検の強化やブランコ等のパーツ交換などをしてほしい。(3件)
- ・公園に体力増強のための設備を設置してほしい。(3件)
- ・公園のイベント活用をもう少し考えてもらいたい。(2件)
- ・公園の雑草はまめに刈ってもらいたい。(2件)
- ・公園が多くてありがたい。
- ・公園を作ってほしい。
- ・広い林をそのまま利用し一日中遊んでいられるような大きな公園を作ってほしい。今のままのひまわりフェスティバルや煉瓦窯では多くの人を集められないのではないか。
- ・公園に、防犯カメラ設置、トイレの蛇口や水道の蛇口を節水タイプに変更、全ての出入りにチェーン設置(夜間)を希望する。
- ・公園で中学生や高校生がサッカーや硬いボールを使って野球で遊んでおり、小さい子や高齢者は怖い。
- ・公園にバスケット用のボードを設置して子供がもっと屋外に出て遊べるようにしてほしい。

●道路の整備

- ・歩道の雑草やゴミの処理をしっかりしてほしい。(8件)
- ・新4号国道や小山市とのアクセス強化をお願いしたい。(6件)
- ・最近道路の劣化によるアスファルトの穴などが多くみられるので大がかりな改修を希望する。(4件)
- ・町道の砂利道は歩行や自転車が歩きづらいので舗装をお願いしたい。(2件)
- ・信号を設置してほしい。(2件)

- ・道路沿いの生け垣、庭木の路上へのはみ出しや路上の駐車違反をなくしてほしい。(2件)
- ・その道路の通行量にあった信号の時間配分してほしい。(2件)
- ・野木土地改良区及び鎌倉街道の路肩が崩れていて危険である。
- ・歩道を整備してほしい。
- ・植栽が道路にはみ出している家が多いので改善を指導してほしい。

●公共交通

- ・町内循環バスがあるとよい。(5件)
- ・キラリン号の運転が荒い。(2件)
- ・エニスホールの活用(主にコンサートやライブ)、それに伴う野木駅までの送迎バス等の交通整備をしてほしい。(2件)
- ・小山市や古河市の商業施設や病院間を便利に往来できる循環バスの運行が可能になるともっと住みよい町になると思う。
- ・野木駅終電までのタクシーがあるとよい。
- ・どこに行くにも車を使わなくてはならず不便である。

●駅前の整備

- ・駅前の開発を充実してほしい。(2件)
- ・駅前の自転車置き場は無料で誰でも使えるため、ありがたい。このまま続けてほしい。
- ・野木駅東口に横断歩道が無く危険である。

●自然

- ・太陽光発電で林などを切り開くなど野木町の自然をこれ以上減らさないでほしい。(3件)
- ・今や減りつつある平地林は野木町の宝であり、町から少しずつでも買い上げ整備してほしい。
- ・家が増えることは良いことですが、畑とかを減らさないでほしい。
- ・動物も住みやすいまちづくりをお願いしたい。

●環境

- ・家畜のにおいがひどい。(9件)
- ・休耕地が増えていくと思うので有効な活用方法を町として取り組んでほしい。

●防災

- ・防災無線を聞いたことがないので、改善をお願いしたい。(14件)
- ・河川堤防・雨水排水施設を早急に整備してほしい。(5件)
- ・道路の冠水場所をなくしてほしい。(3件)
- ・もし野木町は災害避難時にペット受入は禁止ならばその旨事前に広報をお願いしたい。
- ・町民に防災グッズを配ってほしい。
- ・防災に関しては「助け合い」ばかり強調すると現代人には敬遠されるのではないか。ハード面を充実させ近所づきあいがいない人々でも確実に避難できるシステムがほしい。

- ・全町避難訓練は気候の良い季節での実施を望む。
- ・防災メールシステムをもっと広報誌に載せるなどをしてメール登録を促すべきだと思う。
- ・強風による農地や工場からの砂塵を抑える対策をお願いしたい。
- ・狭い道をトラック等が道路ぎりぎりを通る為、歩行者、自転車が危険。
- ・線路沿いに夏はひまわり畑を作った方がいい。
- ・思川氾濫時の水位表示をもっと増やしてほしい。
- ・空き家など崩れそうな建物を何とかしてほしい。地震が来たとき巻き込まれるかもしれないと思うと怖い。

●防犯

- ・住宅地の街灯が少ない。(18件)
- ・昼間町内の見回りをしてほしい。(2件)
- ・防犯カメラを設置してほしい。
- ・空き家が少し怖い。
- ・最近近所で空き巣の被害が相次いでいるので、防犯対策、不審者対策に力を入れてほしい。

●教育

- ・高校を誘致してほしい。(4件)
- ・専門学校等を誘致してほしい。(2件)
- ・将来、英語を使う職業に就くか全くわからない中学生になぜ税金を使うか理解できない。
- ・町内の学校のトイレをすべて洋式に変更してほしい。
- ・小学校や中学校が遠い地区をスクールバスの導入で遠い自転車通学をなくせないか。
- ・小中学校の教員への評価が低いのでどうかしてほしい。
- ・特に英語など塾に行かなくてもよい教育を望む。そして、このことが町の特色として人が集まってくれたらと思う。

●図書館の充実

- ・読書のまちづくりにするなら蔵書を大幅に増やして付属の施設として子供が遊べる場所とかカフェを作ってほしい。高齢の男性が多くいるようなので快適に過ごせたらいいのかなと思う。
- ・DVDの鑑賞をする際に視聴できるTVの充実、最新型のTVでより良い映像で見られるとよい。
- ・図書館の本・DVD・CDをたくさん購入してほしい。
- ・図書館にある本を新しくしてほしい
- ・図書館の中に喫茶店を作ってほしい。
- ・図書館の閉館時間を延ばしてほしい。

●ごみ

- ・カラスなどによるゴミの散乱が見苦しい。(3件)
- ・生ごみの処理が面倒である。(3件)
- ・ゴミの不法投棄をなくしてほしい。(2件)

- ・生ごみの処理で新聞を取っていない家庭への対策を検討してほしい。
- ・公園内での資源ごみ回収をしているのは危ないのではないか。
- ・ゴミ捨て場を増やした方がよい。
- ・町で山林を綺麗に清掃してもらいたい。
- ・分別ポスターが分かりにくい。

●子育て支援

- ・子供の医療費や妊婦の医療費助成なども充実している。これからも住みやすい野木町であってほしい。(3件)
- ・子どもを増やすことを第一に考えるのであれば病児保育は絶対に必要。(2件)
- ・小児専門のクリニックが町内にはないので誘致してほしい。(2件)
- ・シングルマザーに対してもっと充実してほしい。
- ・待機児童問題を何とかしてほしい。
- ・少子化にもかかわらず子供が3人いる世帯が野木町には多いと認識している。これが事実かどうか調査し、それがなぜか公表してほしい。
- ・教育の充実、古河市では古河塾や学びの広場などの放課後授業学習の場が多くあります。図書館に学習スペースを設け、ボランティアの勉強サポーター(元教員や学生など)を募集してほしい。
- ・妊産婦がわざわざ役場に行って申請するのが面倒である。病院や薬局でいちいち支払わずに済んだら楽なのと思う。
- ・出産祝い金は、できれば居住から3か月以上、長くても半年以上に緩和したほうがいいと思う。

●福祉

- ・空き家など利用し、デイケアを開きお年寄りと子供と一緒に過ごせる場を作れたら交流が広く楽しい場になるのではないか。
- ・民生委員がなかなか来てもらえない。
- ・認知症対策として、予防的にガンや認知症などの検査を町が費用負担してできないか。
- ・障害者や高齢者窓口相談室が遠い。
- ・福祉施設(老人ホーム)が他市町村に比べ多くあるが、さらに誘致の促進と低価格の入居に努力してほしい。
- ・病院を増やしてほしい。

●合併

- ・小さい町なりの身の丈に合った行政運営をしながら県内で最も都内へのアクセスに優れているという地の利を生かす施策を進めてほしい。
- ・「ちいさくてもキラリと光る町」の野木町がとても気に入って定住することに決めた。合併せず、このままでいてほしい。

●町会

- ・広報を届けてほしい。自治会に入っていないと配ってもらえないのは不公平だと思う。(2件)
- ・自治会はいらない。半ば強制的に入らされる意味が分からない。
- ・催し事に参加したくても回覧(各自治会)で参加者を集うこともあり、個人情報(年齢、電話番号等)を考えると躊躇してしまう。

●行政

- ・行政サービスについて、町職員の意識改革が必要である。(2件)
- ・町職員の数が多いと思う。
- ・他の市町村と職員の期限付き人事交流を推進してはどうか。
- ・何事をするにも町民にきちんと説明の上実施してほしい。
- ・財政難にならないように町の運営をしてほしい。

●その他

- ・水道水の水質が悪い。(2件)
- ・下水道工事をいまだにやっていない地域があり、対応してもらいたい。(2件)

町民アンケートにご協力ください

～ 野木町が目指すべきこれからのまちづくり ～

町民の皆様へ

平素から町政に対しまして、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

現在、野木町では、第8次野木町総合計画「キラリのぎプラン」をもとに、「水と緑と人の和でうまいのあるまち」を将来像に掲げ、この将来像の実現に向けて、「小さくてもキラリと光るまち」をキャッチフレーズに、分野別計画に位置づける各施策を推進しているところです。

このアンケート調査は、皆さまの町政に対する考えやご意見をお聞きし、今後のまちづくりの方向性や課題を検討するために実施するものです。

調査にご協力いただきます方は、町内にお住まいの方の中から、3,000人を抽出し、選ばせていただきました。

なお、ご回答いただきました内容は、統計的に処理し、本調査の目的以外で利用することはありません。

大変お忙しいとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、別紙調査票のご記入及びご返送にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月 野木町長 真瀬 宏子

《ご記入にあたってのお願い》

1. このアンケートのご回答は、封筒の宛名ご本人（答えられない場合はご家族の方）にお願いいたします。
2. ご回答の方法は、特に指定のない場合、設問ごとにあてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
3. この調査の結果は、統計的に処理いたします。無記名調査ですので、お名前やご住所を書いていただく必要はありません。
4. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れて、切手を貼らずに **平成 29 年 11 月 24 日（金）まで** にポストに投かんしてください。
5. この調査に関してご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 野木町役場 総合政策部 政策課 政策係 ☎ 0280 (57)

※本アンケートの対象者については、平成 29 年 10 月 1 日現在、野木町に住居登録されている方から抽出しております。この日以降の住民票異動等があった場合はご了承ください。

町民アンケート 用語の解説

設問 1	
自主防災組織	地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織。
地産地消	地域で生産された様々な生産物や資源をその地域で消費すること。
設問 2	
地域子育て支援拠点事業	地域で子育てを支えるため、子育ての不安や悩みを相談し、助言や援助を受けられる場所を設置する事業。
設問 3	
オープンガーデン	個人の庭を一定期間、一般の人に公開するという活動。
空き家バンク	空き家の売却等を希望する所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利用したいと考える人に紹介する制度。
設問 8	
ICT環境の整備	コンピュータの整備や校内 LAN の整備、電子黒板の整備などが挙げられる。
地域コミュニティスクール	保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組みや考え方のこと。
設問 10	
ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を受けたい人で行いたい人の会員登録や事前研修、マッチングなどをする事業。
設問 16	
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、被害範囲を地図化したもの。
設問 24	
デマンド交通	利用者が電話などで乗車を予約し、乗り場や行き先はエリア内なら希望できる運行形態。
設問 29	
健康マイレージ事業	町民の健康づくりを応援する仕組みであり、町で決定した健康づくりメニューを行った住民が特典を受けられる制度。
ウォーキングパスポート事業	町民の健康づくりを応援するため、ウォーキングを行った距離に応じて達成賞を贈呈する事業。

町民アンケート調査票

I 現在進めている野木町の重点政策課題について

【設問1】『安全・安心のまちづくり』について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。
(○は3つまで)

1. 自主防災組織じしゅぼうさいそしきの支援など防災対策の推進
2. 住宅の耐震化の推進
3. 防災行政無線ぼうさいぎょうせいむせんや携帯端末等を有効活用した災害情報の発信
4. 小山市消防本部野木分署や町消防団、自主防災組織じしゅぼうさいそしきなどとの連携強化による防災体制の充実
5. 災害発生時における減災及び救助体制の確立
6. 地域での子どもや高齢者など社会的弱者がいる世帯などの見守り・支援体制の強化
7. 街路灯・防犯灯・防犯カメラの設置による防犯対策の強化
8. 学校の危機管理体制きまかんりたいせいの確立に向けた地域住民との連携強化
9. 道路や歩道などのインフラ整備
10. 上水道や下水道施設などライフラインの整備
11. 環境と安全に配慮したごみ処理施設等の整備
12. 安全で新鮮な農産物の地産地消ちさんちしょうの推進
13. 安全安心のまちづくり見守りネットワーク
14. その他（具体的：)

【設問2】『少子高齢化対策』について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。
(○は3つまで)

1. 保育所や学童保育の充実
2. 休日保育や延長保育、病児保育など、多様な保育サービスの充実
3. 障がい児・者への支援施策の拡大
4. 虐待防止対策ぎゃくたいぼうしだいたくの充実
5. 親同士の情報交換やリフレッシュの場となる子育てサークルへの支援
6. 地域の子育てネットワークの拠点となる地域子育て支援拠点事業しえんきよてんじぎょうりようそくしん利用促進
7. 18歳までのこども医療費の助成継続
8. 結婚・妊娠・出産に対する支援事業の充実
9. 若者の出会い応援事業の充実
10. 妊婦・乳幼児健診や子育て相談事業など母子への保健サービスの充実
11. 施設の改修や設備の更新など学校施設の充実
12. 高齢者の生きがいや健康づくりに向けた生活支援・介護予防施策かいごよぼうしきくの拡充
13. 地域全体で助け合える体制づくり
14. 住宅のバリアフリー化の促進及び公共施設のユニバーサルデザイン化(※1)の推進
15. その他（具体的：)

※1 ユニバーサルデザインとは、年齢や身体能力に関わらず全ての人に適合するデザインのことをいう。

【設問3】『町の活性化策』について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。

(○は3つまで)

1. 農業者の後継者対策など営農支援の充実
2. 新規企業の誘致など地域内雇用の創出・確保
3. 大学や専門学校、研究機関等の誘致
4. 町の核となる大型店舗（ショッピングモール）等の誘致
5. 町内に道の駅を新規に整備
6. 宿泊研修ができるような複合施設の整備
7. のぎまちれんがかましゅうへんせいび野木町煉瓦窯周辺整備による活性化
8. 野木駅周辺を活性化し、人が集う場の創出
9. イベント（ひまわりフェスティバル等）の拡大・充実による観光振興
10. 観光果樹・農園等の整備
11. 観光案内所の整備や観光ルート・観光マップの作成などによる観光PRの充実
12. 観光ボランティアガイドの養成など観光客の受け入れ体制の整備
13. 花と緑いっぱい運動の推進やオープンガーデンの拡充による町のイメージアップ
14. 町内への定住促進施策の展開（ていじゅうそくしんしさく空き家バンクの活用・若者の出会い応援事業の実施等）
15. 町内で生産される製品や農産物等を活用した新たな「野木ブランド」の創出
16. 活発なボランティア活動やNPO活動などによる協働のまちづくりの推進
17. うるおいとやすらぎを与える緑豊かな平地林の利活用
18. 町のマスコットキャラクターの活用
19. その他（具体的：)

Ⅱ 野木町の生活・活動環境について

【設問4】現在の野木町の生活・活動環境について、①～⑳の項目にお答えください。

(該当する番号それぞれ1つに○印を付けてください)

項目	満足	まあ満足	ふつう	多少不満	不満
① 道路の整備	5	4	3	2	1
② 公園の整備	5	4	3	2	1
③ 緑地の保全・整備 (平地林・田畑等)	5	4	3	2	1
④ 上下水道等の整備	5	4	3	2	1
⑤ 公共交通機関 (JR・デマンドタクシー)	5	4	3	2	1
⑥ ごみ処理対策	5	4	3	2	1
⑦ 消防機能	5	4	3	2	1
⑧ 防災対策	5	4	3	2	1
⑨ 防犯対策	5	4	3	2	1
⑩ 高齢者福祉	5	4	3	2	1
⑪ 高齢者の生きがいづくり	5	4	3	2	1
⑫ 子育て支援	5	4	3	2	1
⑬ 教育環境	5	4	3	2	1
⑭ 障がい者福祉	5	4	3	2	1
⑮ 読書のまちづくり	5	4	3	2	1
⑯ 青少年の健全育成	5	4	3	2	1
⑰ 文化遺産の保存・活用	5	4	3	2	1
⑱ 自然環境	5	4	3	2	1
⑲ 地域のつながり	5	4	3	2	1
⑳ 商業施設	5	4	3	2	1
㉑ 公共施設の配置	5	4	3	2	1
㉒ 健康づくり	5	4	3	2	1
㉓ 文化活動	5	4	3	2	1
㉔ ボランティアの推進	5	4	3	2	1
㉕ 町の観光	5	4	3	2	1
㉖ その他 ()	5	4	3	2	1

①～㉖のなかで特に重要だと思う項目を3つ挙げ、番号を記入してください。

--	--	--

Ⅲ 高齢者福祉について

【設問5】今後、本町が取り組むべき高齢者福祉に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は3つまで）

- ①趣味や生きがいづくりの支援 ②健康づくりの支援（健康診断の促進、生活習慣の改善等）
③働く機会の確保 ④ユニバーサルデザイン（※1）を取り入れたまちづくりの推進
⑤高齢者を地域で支えあう体制の充実や社会参加の促進 ⑥高齢者福祉施策等の充実
⑦生活支援の充実（具体的： ） ⑧その他（具体的： ）

※1 ユニバーサルデザインとは、年齢や身体能力に関わらず全ての人に適合するデザインのことをいう。

【設問6】高齢者や障がい者の方にお聞きします。毎日の暮らしのなかでどのようなことにお困りですか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は2つまで）

- ①屋内・道路・バス・タクシー・電車等の段差 ②病院までの移動 ③医療等にかかる費用
④日用品・生活用品等の買い物 ⑤話し相手がいない ⑥家事（炊事・洗濯等）
⑦その他（具体的： ）

【設問7】福祉サービスに関する情報等についてどのような方法により入手したいですか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- ①インターネット ②講座やセミナーの開催 ③県や町の広報紙
④新聞の折込等 ⑤テレビ・ラジオ ⑥相談窓口（総合サポートセンター）
⑦回覧板 ⑧その他（具体的： ）

Ⅳ 教育について

【設問8】今後、本町が取り組むべき教育の充実に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は3つまで）

- ①ICT（情報通信技術）環境の整備 ②英語教育の充実 ③道徳教育の充実
④義務教育学校（小中一貫教育）の設置 ⑤小規模校の統合 ⑥他市町との交流
⑦地域コミュニティスクールの構築 ⑧その他（具体的： ）

【設問9】今後、本町が取り組むべき生涯学習の充実に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は2つまで）

- ①公共施設の設備の充実 ②関連情報発信の充実 ③講座・講習会などの開催
④指導者養成講座等の開催 ⑤その他（具体的： ）

V 子育て支援について

【設問 10】 今後、本町が取り組むべき子育て支援に関する施策（現在実施中の施策も含む）としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は2つまで）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ①幼稚園・保育園・認定こども園施策の充実 | ②学童保育の充実 |
| ③児童館・児童センター・子育てサロンの充実 | ④ファミリーサポートセンター事業の充実 |
| ⑤地域子育て支援拠点事業の充実 | ⑥病後児等への対応の充実 |
| ⑦その他（具体的： _____） | |

☆現在お子様が中学3年生までの方は設問 11 から 14 にお答えください。

該当しない方は次のページの設問 15 にお進みください。

【設問 11】 困った時の相談相手について、次の該当するもの全てに○印を付けてください。

- 【相談先】 ①親族 ②友人 ③幼稚園・保育園・認定こども園 ④小中学校
⑤行政 ⑥その他（具体的： _____）

【設問 12】 お子さんの長期休暇中や土曜・日曜の教育、保育事業の利用希望について、次の該当する番号1つに○印を付けてください。

- ①希望する ②希望しない ③分からない

【設問 13】 利用したことのあるまたは利用したい施設や支援事業について、次の該当する番号それぞれ1つに○印を付けてください。

- | |
|--|
| ファミリーサポートセンター：
①利用したことがある ②今後利用したい ③利用するつもりはない ④知らない |
| 子育てサロン：
①利用したことがある ②今後利用したい ③利用するつもりはない ④知らない |
| 地域子育て支援拠点事業：
①利用したことがある ②今後利用したい ③利用するつもりはない ④知らない |

【設問 14】 子育てに関する不安感や負担感について、次の該当する番号1つに○印を付けてください。

- ①ストレス等による心身の疲れ ②費用の増大 ③自由な時間が少なくなる
④その他（具体的： _____）

Ⅵ 防災について

【設問 15】 現在お住まいの住居で用意している災害備蓄品について該当するもの全てに○を付けてください。

- ① 食料 (日分) ② 水 (日分) ③ 簡易トイレ (トイレシート) (日分)
④ ヘルメット・防災ずきん ⑤ 救急医療用セット ⑥ 懐中電灯 ⑦ ラジオ
⑧ その他 (具体的:) ⑨ 用意していない

【設問 16】 その他の防災対策について、あてはまるもの全てに○を付けてください。

- ① 家具類の転倒防止 (固定等) ② ガラスに飛散防止フィルムの貼付
③ 家族との連絡方法の確認 ④ ハザードマップ等の確認
⑤ 避難先の確認 ⑥ 防災訓練への参加
⑦ その他 (具体的:) ⑧ 特に何もしていない

【設問 17】 防災対策に関する知識等についてどのような方法により情報を入手しますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- ① インターネット ② 講座やセミナー ③ 学校での教育 ④ 地域での避難訓練
⑤ 県や町の広報紙 ⑥ 新聞の折込等 ⑦ テレビ・ラジオ
⑧ その他 (具体的:)

【設問 18】 災害情報・避難情報についてどのような方法により情報を入手しますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- ① 町ホームページ ② 報道機関 (テレビ・ラジオ) ③ 野木町防災たより
④ エリアメール ⑤ 防災行政無線 ぼうさいぎょうせいむせん ⑥ 広報車
⑦ その他 (具体的:)

【設問 19】 今後、本町が取り組むべき防災に関する施策 (現在実施中の施策も含む) としてどのようなことが重要だと思いますか。次の該当する番号に○印を付けてください。(○は2つまで)

- ① 災害時要配慮者 さいがいじようはいりよしゃ (※1) への支援対策 ② 防災訓練の実施 (全町避難訓練) ぼうさいくんれん
③ 防災訓練の実施 (自衛隊・消防機関・自治組織・ボランティア等の合同訓練)
④ 河川堤防・雨水排水施設の整備 かせんていぼう うすいはいすいしせつ ⑤ 耐震補強への助成 たいしんほきょう
⑥ その他 (具体的:)

※1 災害時要配慮者とは、高齢者、障がい者、乳幼児等防災施策において特に配慮を要する方をいう。

【設問 2 0】防災情報の登録状況について、次の該当する番号それぞれ 1 つに○印を付けてください。

野木町防災たより : ①登録している ②登録していない ③知らない

栃木県防災メール : ①登録している ②登録していない ③知らない

【登録していない理由】

ア 登録の仕方がわからない イ 防災情報に興味がない ウ 防災情報が分かりにくい

エ その他（具体的： _____）

【設問 2 1】災害ボランティアの登録について、次の該当する番号それぞれ 1 つに○印を付けてください。

災害ボランティア : ①登録している ②登録していない ③知らない

【登録していない理由】

ア 登録の仕方がわからない イ 災害ボランティアに興味がない ウ 活動内容が分からない

エ その他（具体的： _____）

Ⅶ 公共交通について

【設問 2 2】日常的に最も多く外出する目的はなんですか。次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。また、その時の移動手段について、該当する番号全てに○印を付けてください。

①通勤・通学 ②買い物 ③通院

④その他（具体的： _____）

【移動手段】

ア 徒歩 イ 自転車 ウ タクシー エ デマンド交通 オ 鉄道 カ 自家用車

キ オートバイ ク その他（具体的： _____）

【設問 2 3】外出するときどのようなことで不便を感じますか。次の該当する番号に○印を付けてください。（○は 2 つまで）

①公共交通が不便 ②目的地まで遠い ③道路が渋滞する ④移動費用が高い

⑤免許を返納したため移動手段がない ⑥その他（具体的： _____） ⑦特に不便を感じない

【設問 2 4】町デマンド交通「キラ輪号」で改善してもらいたい点について、次の該当する番号に○印を付けてください。（○は 2 つまで）

①運行本数の増便 ②始発時間の繰り上げ・最終時間の繰り下げ ③料金の値下げ

④現状のままでよい ⑤その他（具体的： _____）

⑥利用しないので分からない

【設問 2 5】 今後、町の公共交通に望む運用形態について、次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。

- ①デマンド交通 ②町内循環バス ③路線バス ④その他（具体的： ）

VIII 観光について

【設問 2 6】 町内で好きな観光資源について、次の該当する番号に○印を付けてください。

（○は 3 つまで）

- ①野木町煉瓦窯 ②ひまわり畑 ③野木神社等の社寺 ④のぎ水辺の楽校（ホタルの里）
⑤渡良瀬遊水地（ラムサール条約登録湿地）
わたらせゆすいち ⑥水田等の田園風景 ⑦平地林
じょうやくとうろくしっち
⑧赤塚ふれあい公園 ⑨丸林中央公園 ⑩その他（具体的： ）

【設問 2 7】 町内に望む観光施設等について、次の該当する番号に○印を付けてください。

（○は 3 つまで）

- ①物産館 ②道の駅 ③まちな駅 ④キャンプ場 ⑤宿泊施設
⑥新たな温浴施設 ⑦アミューズメント施設 ⑧その他（具体的： ）

IX 健康づくりについて

【設問 2 8】 町内に望む健康増進施設等について、次の該当する番号に○印を付けてください。

（○は 2 つまで）

- ①運動公園 ②多目的グラウンド ③スポーツジム ④サイクリングロード
⑤アリーナ付体育施設 ⑥ウォーキング施設 ⑦その他（具体的： ）

【設問 2 9】 健康づくりに関する施策について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。

（○は 3 つまで）

- ①健康マイレージ事業 ②ウォーキングパスポート事業
③自転車等を活用した健康増進啓発事業
けんこうぞうしんけいはつじぎょう ④ロコモ予防教室（※1） ⑤生活習慣病予防教室
⑥食育啓発事業
しょくいくけいはつじぎょう ⑦健康相談事業 ⑧その他（具体的： ）

※1 ロコモ予防とは、高齢化に伴う筋力の低下等を予防することをいう。

X 読書のまちづくりについて

【設問 3 0】 読書のまちづくり事業の一環として図書館などで実施する事業について、あなたが特に進めるべきと考えるものは何ですか。（○は 3 つまで）

- ①蔵書の充実
ぞうしょ ②視聴覚資料の充実
しちょうかくしりょう ③移動図書館事業の充実 ④読み聞かせ事業の充実
⑤図書館ボランティアの育成 ⑥喫茶・交流スペースの整備 ⑦図書館事業内容の充実
⑧学校図書館の充実 ⑨その他（具体的： ）

XI 市町村合併について

【設問 3 1】市町村合併についておたずねします。あなたは野木町と他の市町村との合併について、今後どのようにすることが良いと思いますか。次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。

- ①合併した方が良い ②合併しない方が良い ③分からない

【設問 3 2】(設問 3 1 で①(合併した方が良い)を選択した方にお聞きします)市町村合併について、野木町がどの市町と合併することが望ましいと思いますか。次の該当する番号 1 つに○印を付けてください。

- ①小山市 ②栃木市 ③古河市 ④その他(具体的:)

【設問 3 3】(設問 3 1 で①(合併した方が良い)を選択した方にお聞きします)市町村合併については、一般的に次のようなメリット・効果があると考えられています。あなたのお考えに近いものに○印を付けてください。(○は 2 つまで)。

- ①小規模な市町村に比べると、各種の専門職の採用などにより組織力の拡充ができる
②財政規模が拡大し、小規模な財政ではできない施設や、行政サービスが受けられる
③合併した市町村の各種の施設が利用できるなど、住民の利便性が向上する
④道路や公共施設の整備など広域的な視点にたったまちづくりができる
⑤合併にともない管理部門の統合など効率的な行政運営ができるようになる
⑥その他(具体的:)
⑦分からない

【設問 3 4】(設問 3 1 で②(合併しない方が良い)を選択した方にお聞きします)市町村合併については、一般的に次のようなデメリット・悪影響があると考えられています。あなたのお考えに近いものに○印を付けてください。(○は 2 つまで)。

- ①規模が大きくなることで住民の声が届きにくくなる
②役所が遠くなり、不便になる
③統廃合により小中学校が少なくなってしまう
④それぞれの地域の歴史や文化、伝統が失われてしまう
⑤その他(具体的:)
⑥分からない

XII 回答されたあなた自身について

【設問35】あなた自身についてお答えください。それぞれ該当する番号1つに○印を付けてください。

(1) 性別・年齢

- 【性別】 ①男性 ②女性
- 【年齢】 ①20歳未満 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代
⑦70代 ⑧80歳以上

(2) 家族（同居）構成

- 【家族】 ①ひとり暮らし ②夫婦だけ ③親と子（2世代） ④祖父母と親と子（3世代）
⑤その他（具体的：_____）
- 【結婚】 ①未婚 ②既婚 ③離別、死別等により単身
- ※既婚を選択した方にお聞きします。あなたと配偶者の仕事状況についてお答えください。
- ①夫婦共働いている ②夫又は妻だけ働いている ③夫婦共働いていない

(3) 職業と通勤・通学先

- 【職業】 ①農業 ②自営業（商工業・サービス業） ③自由業（医師・弁護士等）
④会社員・会社役員 ⑤公務員・団体職員 ⑥パート・アルバイト
⑦学生 ⑧主婦・主夫 ⑨無職
⑩その他（具体的：_____）
- 【通勤・通学先】 ①町内 ②県内市町 ③東京都内 ④都内以外の県外市町
⑤その他（具体的：_____）

(4) 現在お住まいの地区

- ①友沼 ②松原 ③新橋 ④野木 ⑤野渡 ⑥南赤塚 ⑦中谷 ⑧丸林東 ⑨丸林西
⑩潤島 ⑪若林 ⑫佐川野 ⑬川田

(5) 野木町に住んでからの年数

- ①30年以上 ②20～29年 ③10～19年 ④5～9年 ⑤1～4年 ⑥1年未満

(6) あなたはこれからも野木町内に住み続けると思いますか。

- ①住み続けたい ②住み続けると思う ③将来移転すると思う
④条件がゆるせば移転したい ⑤早いうちに移転したい ⑥分からない

【自由意見】 今後のまちづくり等に関するご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

Blank area for free comments with horizontal dashed lines.

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

皆様からのご意見は、今後のまちづくりに活かして参ります。

お手数でもアンケート票は、11月24日（金）までにご投函く

ださいますようお願いいたします。